

始



311
21

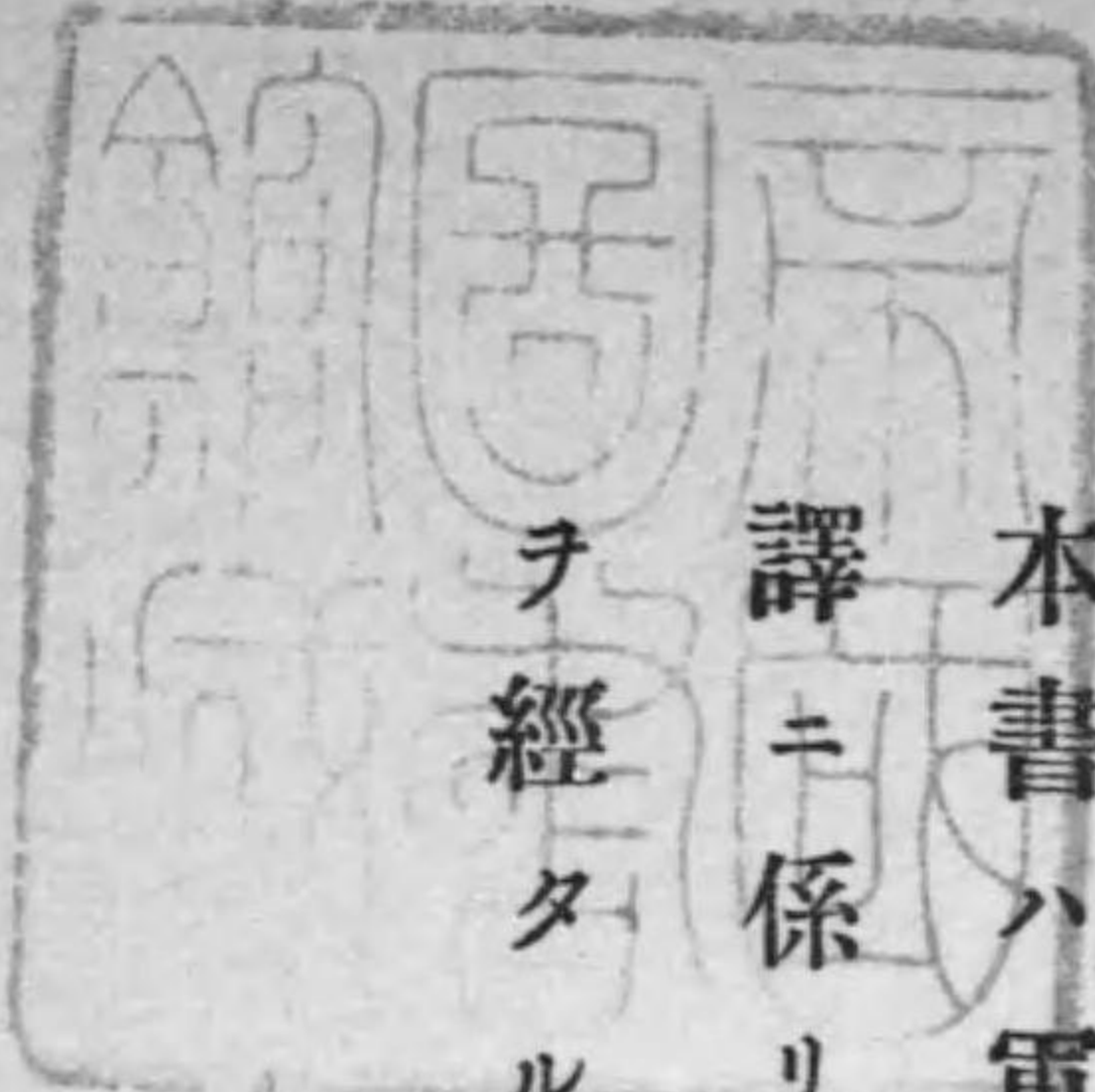


千九百二十二年發行

佛軍大部隊戰術的用法教令草案

(佛國統帥綱領案)

318-499



緒言

本書ハ軍事調査委員今村歩兵大尉(勝次)ノ翻譯ニ係リ當校兵學教官久納騎兵少佐ノ校正ヲ經タルモノナリ

陸軍大學校研究部



緒言

佛軍大部隊戰術的用法教令草案

(佛軍統帥綱領)

目次

陸軍大臣宛報告

總則

第一編 指揮

第一款 指揮ノ系統

第二款 指揮機關

第二編 戰鬥手段

第一章 各兵種各部ノ特性及一般ノ編制

目次

一

七

七

三

一

一

各 兵 種 七

第一款 步兵及戰車 七

第二款 砲 兵 一一

第三款 騎 兵 一四

第四款 工 兵 一六

第五款 航空隊 一七

各 部 二一

第六款 通 則 二一

第七款 通信部 二二

第八款 補給部 二三

第九款 輸送部 二四

第十款 秩序維持部 二五

第十一款 警戒、間諜豫防、新聞、宣傳部 二五

第二章 大部隊ノ特性及一般ノ編制 二五

第一款 步兵師團 二六

第二款 軍 團 二八

第三款 軍 支隊 三一

第四款 軍 三二

第五款 騎兵師團 三四

第六款 騎 兵 團 三五

第七款 航空師團 三六

第八款 總 豫 備 三八

第三編 大隊部ノ戰術的用法 四一

第一章 指揮官、計畫、命令 四一

第一款 指揮官 四一

目次 四一

第二款 計 畫 四二

第三款 訓令及命令 四五

第四款 連 絡 四六

第五款 作戰ノ秘匿 四七

第一章 警 戒 四八

第一款 警 戒 隊 四八

第二款 搜索機關 四九

第三款 行軍ノ警戒 五一

第四款 駐軍ノ警戒 五三

第五款 空中防禦 五四

第二章 輸送、行軍、駐軍 五四

第一款 輸 送 五四

第二款 行 軍 五七

第三款 駐 軍 六二

第四章 會 戰 六四

第一款 通 則 六四

第二款 會戰ノ概況 六六

第三款 會戰ノ要素 六九

第五章 軍ノ會戰 七五

其一、攻 擊 七五

第一款 緒 言 七五

第二款 觸接ノ保持及戰鬪開始 八一

第三款 會戰指導 八三

第四款 戰果ノ擴張 八八

其二、防 禦 九〇

第一款 防禦編成 九〇

第二款 會戰指導 九七

第三款 交代 一〇二

第四款 機動的退却 一〇二

第五款 滯陣 一〇四

第六章 軍團ノ會戰 一〇五

其一、攻 擊 一〇五

第一款 接敵行進 一〇六

第二款 觸接ノ保持及戰團開始 一〇八

第三款 會戰指導 一〇九

第四款 行動スル敵ニ對スル場合(遭遇戰) 一一三

其二、防 禦 一一五

第一款 防禦編成 一一五

第二款 會戰指導 一一九

第七章 師團ノ戰團 一二三

其一、攻撃戰團 一二三

第一款 接敵行進 一二四

第二款 觸接ノ保持及戰團開始 一二六

第三款 攻 擊 一二七

第四款 戰果ノ擴張 失敗ノ場合ノ動作 一三五

第五款 火 力 一三八

第六款 指 揮 一四三

第七款 行動スル敵ニ對スル場合(遭遇戰) 一四六

其二、防禦戰團 一四八

第一款 防禦編成	一四八
第二款 戰鬪指導	一五六
第三款 退却	一六〇
第四款 機動的退却	一六一
第八章 地形ノ作戰ニ及ホス影響	一六二
第九章 山地戰	一六七
第十章 夜戰	一六九
第四編 各部ノ動作	一七三
第一章 通則	一七三
第二章 通信部	一七五
第一款 通信部ノ編成及其用法ニ關スル原則	一七五

第二款 各種ノ作戰ニ於ケル通信部ノ動作	一七七
第三章 補給部	一七八
第一款 通則	一七九
第二款 砲兵部	一八〇
第三款 工兵部	一八二
第四款 經理部	一八五
第五款 衛生部	一八七
第六款 航空部	一八八
第七款 獸醫部	一八九
第八款 軍馬補充部	一九〇
第九款 郵便部	一九〇
第十款 出納部	一九一
第十一款 兵站部	一九二

第四章 輸送部一九二

 第一款 輸送部長ノ責務一九二

 第二款 狹軌鐵道部一九四

 第三款 自動車部一九五

 第四款 馬曳車輛部一九六

 第五款 道路部一九六

第五章 秩序維持部一九八

 第一款 軍事裁判部一九八

 第二款 憲兵部一九八

第五編 大部隊ノ教育一九九

序 言

佛國ノ加入セル國際契約ニ敬意ヲ表スル佛蘭西政府ハ戰
 争ノ初期先ツ同盟國ト協力シテ敵國政府ヨリ戰鬥兵器ト
 シテ毒瓦斯ヲ使用セサルコトノ契約ヲナス、此ノ契約ヲ
 得ル能ハサル時ハ佛國ハ狀況ニ依リ行動スルコトヲ保留
 ス

陸軍大臣宛報告

武器

戰爭ノ著明ナル事實ハ軍用兵器ノ偉大ナル進歩ヲ示セルコトニアリ而シテ其結果ハ戰術的範圍ニ於ケルト等シク戰略的範圍ニモ直接影響スル所大ナリ

舊式兵器ハ完備セラレ各種ノ新式兵器ハ創造セラレタリ而シテ新舊ヲ問ハス總テ迅速ナル消耗ト濫用トニ陥リタリ茲ニ於テ工業的及經濟的生産力並作業力ノ發達ヲ要求シ漸次國家ノ全資源ヲ戰爭ニ充當スルニ至レリ即チ國民ノ生活ハ軍隊ノ生活ト緊密ニ一致シ武装セル國民ノ趨勢ハ大ニ發展スルニ至レリ、戰爭ニ從事シ之カ苦痛ヲ感スルモノハ是レ全國民ナリ而シテ此觀念ハ將來ノ戰爭ニ重大ナル影響ヲ及ホシ戰略上ニモ亦甚大ナル關係ヲ及ホスモノナリ戰術上ニ於テハ此ノ完備セル兵器ノ戰場ニ現出シタルニ依リ軍隊ノ運用上ニ神速ナル變化ヲ促セリ現時此ノ變化發達ハ停止ノ時期ニ會セルモ科學ノ進歩ハ兵器ノ改良ニ直ニ應用セラルヘキヲ以テ此ノ停止期間ハ長期ニ亘ルコ

トナカルヘシ

委員ハ戦争ノ經驗ニ基キ大部隊ノ用法ヲ規定スルニ決セリ抑、此規定タルヤ更ニ兵器カ重大ナル改良ヲ受クルヤ直ニ再審議ヲ行フヘキモノトス
戦争ノ經驗ハ若干ノ原則ノ不變ナルコトヲ證シ兵器ノ一層完全スルニ從ヒ一層周到ナル教育ヲ要スルコトヲ示セリ又精神の要素ノ大ナル價值ヲ有スルコトヲ證シ即チ勇氣、軍紀心、愛國心ハ軍ノ主要ナル武力ニシテ犧牲的精神及戰勝ノ意志カ決定的戰勝ノ保證タル事ヲ確證セリ

各兵種ノ構成

武器ノ進歩ハ諸兵種ノ構成ニ影響ヲ及ホス所アリ步兵聯隊ハ獨リ小銃ヲ有スルノミニ非スシテ重機關銃隊、歩兵砲隊、通信及連絡隊等近世步兵ノ威力増加ニ缺クヘカラサルモノヲ有ス

砲兵ハ中隊ノ傍ラニ觀測、通信、連絡、補給機關ヲ有シ此等ヲ缺クトキハ其任務ヲ達成スル事不可能ナリ

騎兵ハ戰鬥力ノ主要素タル重機關銃隊、裝甲自動車砲隊、裝甲自動車機關銃隊ヲ包含スルニ至レリ

其他完全ナル新兵器ハ戰場ニ於テ創設セラルルニ至レリ即チ步兵ニ攻撃威力ヲ附加スヘキ戰車、移動性ノ大ナルノミナラス重機關銃、爆彈、將來ハ火炮ヲモ使用スルニ至ルヘキ航空機是ナリ

火器ノ威力

正確ニ使用セラレタル場合ノ兵器ノ效力ハ完全ニ證明セラレ之カ效力ハ軍隊ノ運用ニ關スル規定ヲ編纂スルニ當リ基礎タルヘキモノナリ

火器ノ效力ノ殲滅的ナル事ハ確證セラレタリ
巧ミニ自動兵器ヲ配置シ且充分ナル彈藥ヲ供ヘタル砲兵ノ支援ヲ受クル戰線ハ少クモ之ト同等ノ威力ヲ有スル兵器材料ヲ使用スル部隊ヲ以テスルニ非レハ拔ク能ハス之ニ

反シ狭少ノ地區ニ對シ各種ノ射撃ヲ集中スルトキハ其火力ハ常ニ威力大ニシテ且屢、抵抗スヘカラサル壓倒的效果ヲ發揚スヘシ

「火力」ナル言辭ニ於テハ單ニ彈丸、爆彈ノミナラス戰爭末期殆ト一般的ニ使用シタル瓦斯彈ヲ含ムコトヲ了解セサルヘカラス此等各種彈丸ハ火砲、航空機、戰車及迫撃砲ヲ以テ發射スルノミナラス携帶兵器ヨリモ發射シ得ルコトニ注意スヘシ、其他速射兵器ノ發達ト共ニ彈藥ノ補給ハ兵器ノ效力發揚上主要ナル要素ヲ占ムルコトヲ度外視スヘカラス

火力ハ作戰ノ形式ニ大ナル影響ヲ及ホセリ。

兵器ノ效力ハ先ツ野戰築城ニ卓越セル抵抗力ヲ與ヘタリ故ニ小數ノ部隊ヲ以テ大ナル正面ヲ有效ニ占領スルヲ得シメタリ、堅固ナル戰線ノ後方ニ於テ控置セラレタル部隊ハ鐵道、自動貨車ニ依リ大規模ノ戰線平行運動ヲ實施スルヲ得ルニ至レリ此等廣範圍ノ機動ハ攻撃防禦共ニ大ナル價值ヲ有ス

運動戰ニ於テモ亦自動兵器及各種砲兵ノ使用ハ防者ヲシテ廣大ナル地域ニ一連ノ火網

ヲ構成スルヲ得セシメ之カ突破ハ計畫的攻撃ニ依ルニ非レハ拔ク能ハサラシメタリ攻者ノ觸接保持、防者ノ主ナル抵抗ヲ準備セル陣地ノ偵察ハ頗ル困難トナレリ其他觸接保持ノ方法カ滯陣間ヨリ持續セルモノナルカ或ハ攻撃間ニ行ヘルモノナルヤノ如何ニ關セス物質的威力即砲兵、戰車、彈藥等ヲ集中シタルモノニ非レハ攻撃ヲ良好ニ實施スルヲ得ス

故ニ攻撃ハ此等兵器ヲ集中シ且之ヲ運用スル爲長時間ノ準備期間ヲ必要トスヘシ訓練ノ良好、奇襲ノ效果ヲ大ナラシメントスル希望殊ニ指揮官ノ正當ナル判斷ハ此ノ準備期間ヲ短縮スルヲ得セシム然レトモ該期間ハ頗必要ナルヲ以テ全然之ヲ省略スルヲ得サルモノトス而シテ攻勢作戰ハ多大ノ戰鬪器材ヲ使用スル關係上作戰ハ一進一止ノ狀態ヲ呈スルモノトス

戰鬪線ニ於ケル猛烈ナル射撃、新式砲兵ノ延伸セル射程ハ更ニ航空機ノ爆撃ニ依リ延伸セラレタル爲後方火制地帯ノ延長、空中ヨリスル不斷ノ脅威ハ戰鬪中或ハ單ニ觸接ヲ保持シアル部隊ノ行動ヲ大ニ困難ナラシメ、兵力ノ消耗ヲ迅速ナラシメタルヲ以テ

此ノ部隊ヲ僅小ノ期間後ニ交代セシムルヲ要ス之ヲ以テ交代法ハ作戰指導上注目スヘキ重要ナル要素ノ一トナレリ

新兵器

火力カ戰鬪力ヲ増加スル一方航空機ハ空中戰鬪ノ路ヲ開キ偉大ナル發展ヲナスニ至レリ
晝間、飛行機ハ駐軍、行軍、戰鬪中ノ部隊ヲ搜索シ各種砲兵ノ射撃ヲ容易ナラシメタリ
夜間、飛行機ハ其固有ノ火力ヲ以テ軍隊ヲ粉碎シ晝夜敵ヲ監視シ且空中ヨリ不斷ノ脅威ヲ爲ス

故ニ飛行機ノ攻撃的用法ト同時ニ指揮官ハ敵機ニ對シ其地帯ノ掩護及部隊ノ防禦法ヲ講セサルヘカス

搜索能力及戰鬪力ノ漸次ノ發展ト共ニ飛行隊ノ責務ハ益々擴張スルニ至ルヘキヲ豫想ス
既ニ飛行機ハ遠距離偵察ノ任務ニ於テ騎兵ノ地位ヲ奪ヘリ戰鬪ニ關シテハ單ニ戰鬪兵ニ對スルノミナラス漸次後方地區又ハ全國內ニ對シ打擊ヲ與ヘ得ルノ状態ニ在リ、
大部隊ノ統帥ニ當リテハ飛行機ノ安定、著陸ノ容易性ノ増大、近キ將來ニ於テ人員ノ輸送ヲ爲シ得ルコトニ注目スルヲ要ス戰車ハ敵ノ對抗セシムヘキ受動的障壁及活動的抵抗ヲ破碎シ步兵ノ前進ヲ容易ナラシム

指揮

戰術的決心ハ新兵器及其戰鬪上ニ於ケル效果ニ合致シ又部隊ノ大小及時機ニ適合セルモノナラサルヘカラス其他指揮官ノ決心カ長大ニシテ且勢力ヲ要スル材料ヲ戰場ニ招致スルカ如キ時ニアリテハ指揮官ハ益々迅速ニ情況ヲ判斷スルヲ要ス、指揮官ノ計畫ニ基キ適時適切ナル手段ヲ實施シ得ル爲該計畫ハ可成長期ニ亘リ豫想シ立案セラレサルヘカラス

明瞭ニシテ秩序アル考案、執拗ニシテ氣力アル意志ハ現時益々必要ヲ認ムルニ至レリ即指揮官ノ責務ハ更ニ重大トナレリ

戰爭ハ指揮官ヲシテ益々作戰計畫ノ重要ナル所以ヲ知ラシムルニ至レリ
 長大且複雑ナル計畫ノ作製ハ時トシテ各部隊ニ當時ノ狀況上及新式兵器ノ使用上ヨリ
 新シキ方法手段ヲ知ラシムル爲必要トセリ然レトモ各級指揮官カ漸次經驗ヲ積ムニ從
 ヒ其形式ハ一層簡略ノモノトナリ現時ニ於テハ極メテ必要ナルモノノミヲ示スヲ要ス
 故ニ教育手段ト指揮上必要ナルコトトハ明瞭ニ區分スヘシ、某々計畫ヲ立案スルハ特
 種ノ狀況ニ於テナスヘク其計畫ノ數及範圍ハ必要ノ最小限ニ制限スヘシ要ハ指揮官ノ
 考案及其意志ヲ明確ニ計畫中ニ表ハスコト是ナリ
 其他計畫ハ作戰準備及指導ノ方針ノミヲ記述シ實施ニ當リテハ命令ノミヲ以テス實ニ
 命令ハ全戰鬥間指揮官ノ意圖ヲ明瞭ニ吐露スルヲ得シムルモノナリ

作戰ノ概況

必任義務制ニ依リ動員セラレタル龐大ナル集團ヲ有スルト且同盟國ノ存在スル關係上
 最近戰役ニ於テハ翼ヲ通過スヘカラサル障礙迄延伸シ之ニ依托シテ廣大ナル一連ノ戰

線ヲ保持スルヲ得タリ火力ノ増加ニ伴ヒ防禦築城ノ價值漸次増大シ將來ニ於テモ亦同
 一ノ狀況ノ再起スルコトヲ想像シ得ヘシ

然レトモ歐洲ノ現陸軍ノ狀態ヲ觀察スルニ戰役ノ初期ニ於テ相對峙スル兵力ハ單ニ總
 動員ヲ掩護シ或ハ敵ノ總動員ヲ妨碍スルニ足ル少數ノ軍ニ過キサコトヲ豫想スルヲ
 得ヘシ此等ノ軍ハ自由地帯ヲ利用シテ機動ヲ行フヘシ又兵力ノ消耗ノ爲一連ノ戰線カ
 破壊セラレ間隙ヲ生シタル時ニ於テモ同様ノ情況ヲ呈スルモノニシテ最近戰役ノ末期
 ニ於テ白耳義方面ニ於テ特ニ此ノ情況ヲ現ハサントシ「マセドニヤ」方面ニ於テハ之
 ヲ生起セリ

故ニ大部隊ノ統帥上一連ノ戰線ノ場合ノミナラス自由地帯ノ作戰ノ方法及手段ヲ示ス
 ノ要アリ

編纂委員ハ甚シク異レル各種ノ狀況ニ合スル方則ヲ作ルコトニ努力スルハ不必要ナリ
 ト判斷シ又漠然タル法則ヲ定メ實施シ能ハサルモノヲ示スノ不可ナルコトヲ考慮セリ
 而シテ必要ナルニ從ヒ狀況ヲ區別シテ述ヘタリ

以上ノ考案ニ基キ委員ハ敵ハ吾人ト同一ノ武装及戦闘意思ヲ有スルモノトシ之ニ對スル戦闘法ヲ記載スルヲ目的トセリ而シテ武装及訓練共ニ明ニ劣等ナル敵ニ對スル作戰ハ他ノ教令ヲ以テ發布セラルヘシ

一〇

委員ノ編組

元帥ベタン、最高軍事會議副議長

將官ドブネー、最高軍事會議委員、陸軍大學校長、最高研究所長

將官ベルドゥラー、巴里總督

將官カポー、歩兵第三十六師團長

將官ブレカール、騎兵第六師團長

將官ドバレスキュー、歩兵第四十二師團長

將官ノーラン、歩兵第六師團長

將官カザリー、最高研究所幹事

將官バルトローノ、龍騎兵第四旅團長

大佐ド、ピゴ、ドユ、グランリユー、アルゼリヤ撤兵第一聯隊長

大佐モアラン、陸軍大學校兵學教官

中佐ゴッドフロア、最高研究所長附參謀

少佐フェカン、航空局附

佛軍大部隊戰術的用法教令草案

總 則

大部隊トハ同一指揮官ノ許ニ諸兵種及之ニ必要ナル各部ノ編合セシモノヲ謂フ
大部隊左ノ如シ

步兵師團
軍支隊
軍
騎兵師團
騎兵團

諸兵種ヨリ成ル軍隊ハ戰鬥ヲ指導スルノ任ヲ有ス
諸兵種左ノ如シ

統帥綱領草案

步兵及戰車
砲兵
騎兵
工兵
航空兵

各部ハ諸種ノ狀況ニ於テ軍隊ノ需要ニ應スルヲ任トシ其主ナル責務ハ軍隊ヲシテ生存シ且戰鬪ヲ遂行シ得シムルニ在リ大部隊ノ構成要素左ノ如シ

指揮官及其幕僚

諸兵種ノ部隊

各部

第一編 指揮

第一款 指揮ノ系統

一、大部隊ハ中將ノ階級ヲ有スル將官ニ依リ統率セラルルヲ通常トス然レトモ該將官ノ序列及權能ハ指揮スル部隊ニ依リ變化ス

大部隊ノ指揮官缺員トナリタルトキハ該部隊將校中最高級故參ノ將校ハ一時之ヲ代理スルモノトス時宜ニ依リ豫メ他ノ一將校ニ此ノ部隊ノ指揮ヲ任命スルコトアリ然ルトキハ該將校ハ之ニ關スル辭令ヲ受クルモノトス

大部隊指揮官ノ任務ハ高等統帥ヨリ指示セラレシ任務ノ範圍内ニ於テ考案シ準備シ且大部隊ノ作戰ヲ指導スルニ在リ

二、指揮官ノ意志ハ決心ニ依リ發現セラレ決心ハ戰爭行爲ノ基礎ヲナス、部隊長ノ決心ハ部下ニ其意志ヲ明ニシ且各部隊ノ努力ヲ命スルモノトス、各部隊ニ於テ獨リ指揮官ノミ決心ヲ爲スノ權利ヲ有ス此權限ハ指揮官ニ責任ヲ課シ此ノ責任アル爲指揮

官ノ權能ヲ増大スルモノナリ

二

決心ニ際シ大部隊ノ指揮官ハ先ツ高等統帥ヨリ受ケタル命令又ハ訓令ヲ玩味シ十分之ニ適合シ最後迄其委任セラレタル任務ヲ實施遂行セサルヘカラス
指揮官ハ極度ニ戰術的可能性ヲ感知スル能力ヲ保有シ且部下ヲシテ絶エス其精神状態ヲ優越ナラシムヘシ精神上卓越ナレハ如何ナル大膽ナル行爲ヲモ敢行スルヲ得ヘシ又旺盛ナル獨斷專行ヲ拘束スルカ如キ狹範圍ノ命令ヲナシ部下ヲ掣肘スルカ如キコトアルヘカラス

三、作戰準備ハ物質的又精神的兩方面共ニ之ヲ行フヘシ

精神的準備ハ嚴肅ナル軍紀及賢明竝ニ公平ナル職權ノ行使、賞罰ノ適切ナルニ依リテ得ラルヘシ此等準備ニ依リ部下ヲシテ名譽心、愛國心其他精神ヲ向上スルニ足ル感情ヲ抱カシムルモノトス平素部下ヲ愛惜シ徒勞ヲ避ケシムルハ所望ノ時機ニ彼等ニ最大ノ努力ヲ要求スルヲ得シムルモノトス

物質的準備ハ指揮官カ軍隊及各部ニ下スヘキ訓令及一般又ハ特別ノ命令ニ依リテ示

サルヘシ

四、作戰指導ハ指揮官ノ企圖セル當初ノ計畫ニ適應スル如ク戰鬥ヲ進捗セシムルモノナリ而シテ此計畫ノ一般要領ヲ恪守シツ、情況ニ適スル如ク指揮シ且決定セラレタル目的ニ向ヒ機動ヲ行フニ在リ

第二款 指揮機關

幕僚

五、大部隊ノ指揮官ハ幕僚ヲ有ス

幕僚ハ自ラ偵察、作業等ヲナシ指揮官ニ作戰、兵員及材料ノ處置竝ニ運輸、補給、後送ニ關シ決心ヲナスノ資料ヲ準備ス
又部下軍隊及各部ニ課スヘキ命令ノ起案ニ任ス又其命令ノ實施ヲ監視シ且部下軍隊ノ狀況及需要竝ニ各部ノ行動ニ關シ指揮官ヲシテ通曉セシムル爲必要ナル連絡ヲ確實ニス

幕僚勤務ハ其將校ニ軍事上最高ノ知識其他機敏、犧牲及獻身的精神ノ最上ヲ要求

スルモノトス

四

幕僚ハ指揮官ノ補助機關ナリ又幕僚ハ個人的ノ機關ニアラスシテ軍隊及各部ニ對シ何等ノ權能ナシ而シテ大部隊ニ於テ責任ヲ有スル實行機關ハ所屬大部隊ノ指揮官及各部長ナリトス

六、各幕僚一般ノ勤務ハ參謀長ニ依リ指導セラル軍、軍團ニ於テハ參謀副長之ヲ輔佐ス

參謀長ハ指揮官ノ直接輔佐官ニシテ指揮官ノ信賴厚ク且有能者タラサルヘカラス

參謀長ハ指揮官ノ機務ニ參畫シ適時ニ決心ノ基礎ヲ豫察シ且之ヲ準備スルモノトス

指揮官決心ヲナスヤ參謀長ハ其ノ實行方法ヲ研究シ且提議ス

參謀長ハ命令ニ依リ署名スルノ權利ヲ有ス而シテ若干ノ書類ニ於テハ責任ヲ以テ自己ノ署名權ヲ部下參謀將校ニ委スルコトアリ但シ此場合ニハ明確ニ其權限ノ範圍ヲ指示スヘシ又指揮官ノ委任ニ依リ各部ノ指導ニ任ス

參謀長ハ各幕僚ノ業務ヲ指導シ且特ニ情報ノ審査及研究ニ從事ス

各兵種及各部ノ指揮

七、大部隊ノ指揮官ハ其指揮ヲ容易ナラシムル爲一般ニ幕僚ノ外自己ノ近傍ニ若干兵種ノ指揮官及各部長ヲ有スルモノトス

八、指揮官ノ近傍ニ位置スル各兵種ノ指揮官トハ砲、工兵、航空指揮官ニシテ時宜ニ依リ戰軍隊長、師團ニ在リテハ步兵指揮官是ナリ

九、各部ノ人員トハ大部隊内ニ於ケル部長ヲ含有スルモノトス各部長ハ指揮官ノ隸下ニ屬シ該指揮官ニ所要ノ意見具申ヲナスノ權限ヲ有シ且各部ノ使用ニ關シ命令ヲ受クルモノトス其他各部長ハ上級部隊ノ各部長ヨリ其職務實行ニ關シ專門的訓令ヲ受クルモノトス

各兵種（砲、工兵等）ノ指揮官ハ同時ニ部長ノ職權ヲ行使ス

司令部ノ編制

十、幕僚、各兵種ノ指揮官、各部長相合シテ大部隊ノ司令部ヲ編成ス

一般司令部ノ勤務ニ必要ナル部隊（通信、観測、衛兵及行李等）ハ司令部ト共ニ行進ス

司令部ハ作戰間二群ニ分割スルヲ得即チ第一群ハ指揮群ニシテ第二群ハ各部ノ群ナリトス

第二編 戦闘手段

第一章 各兵種各部ノ特性及一般ノ編制

各兵種

第一款 歩兵及戰車

十一、歩兵ハ戦闘ノ主ナル任務ヲ負擔ス

歩兵ハ砲兵火ニ依リテ誘導、掩護及推進セラレ時宜ニ依リ戰車及航空隊ニ依リテ支援セラル又歩兵ハ土地ヲ奪取シ、占領シ、編成シ且之ヲ確保スルヲ得

戰場ニ於ケル歩兵ノ責務ハ特ニ大ナリ然レトモ名譽亦モ全兵種ヲ通シ最モ大ナリ戰鬥間損耗最モ大ナルハ歩兵ナリ故ニ攻撃前指揮官ハ歩兵ノ使用ヲ節約シ徒勞ヲ避ケシメ其精神力ヲ向上保持セシメサルヘカラス

十二、歩兵ハ戰場ニ於ケル各種ノ要求ニ應シ得ル兵器、器材ヲ以テ裝備セラル

歩兵ハ自動兵器及歩兵ノ火力ヲ最大ナラシムル隨伴兵器ヲ有ス其他近接戰團用トシテ小銃、手榴彈、銃劍ヲ有シ土地ヲ占領スル爲器具ヲ有シ毒瓦斯用覆面ヲ携行シ且戰團間指揮ヲ確實ナラシムル爲通信器材ヲ有ス

歩兵ハ射撃及運動ヲ以テ戰團ニ任ス射撃ハ敵ヲ破碎シ或ハ敵ヲシテ地上ニ擡頭スル能ハサラシメ運動ハ漸次敵ニ向ヒ之ヲ打破スヘキ強大ナル火力ヲ前進セシムルモノトス

十三、攻撃前ニ於ケル接敵行進間歩兵ハ敵砲火竝ニ飛行機ノ攻撃ヲ避クルコトヲ努ム之カ爲メ或ハ暗黒ヲ利用シ或ハ疎開セル隊形ヲ應用シ又ハ蔭蔽セル進路ヲ撰擇スルモノトス

攻撃間歩兵ハ射撃ト運動トノ調和ニ依リ絶エス其ノ有スル兵器ノ威力ヲ向上シ敵ニ向ヒ前進シ之ニ肉迫シテ敵ヲ數線陣地ヨリ撤退セシムルコトヲ努ム敵ト近ク肉迫シ敵兵退却スルコトナクンハ白兵及手榴彈ヲ使用スルモノトス

機動ニ富メル歩兵ハ連續セサル陣地ニ依レル防者、組織的防禦火力ヲ編成セサル敵

ニ對シテハ自力ヲ以テ著シキ攻撃力ヲ有スト雖之ニ反シ射撃準備良好ニシテ連續セル防禦陣地及築城編成優良ナル敵ニ對シテハ歩兵ハ砲兵ノ有效ナル協同アルニ非レハ奏效スルコト困難ナリ

防禦ニ於テハ歩兵ハ極度ニ地形ノ特性ヲ利用シ其兵器ノ威力ヲ發揚シ以テ火網ヲ編成セサルヘカラス此等ノ射撃ハ特ニ砲兵火ト有效密接ニ協力シアルニ從ヒ効力ヲ増加スルモノナリ歩兵ハ射撃ト障碍物ノ調和ニ依リテ防禦抵抗力ヲ増大シ又敵砲火ニ掩蔽スル爲掩蔽部又ハ地下室ヲ利用ス

十四、歩兵ノ基本的部隊ハ戰團群ニシテ一自動兵器ヲ有スルヲ特性トス

戰團群ノ若干ヲ以テ中隊ヲ、若干中隊及重機關銃中隊ノ集團ヲ以テ大隊ヲ編成ス聯隊ハ若干大隊及列外中隊ヨリ成ル列外中隊ハ聯隊共通ノ觀測、通信隊及射撃機關ヨリ成ルモノトス

總テノ歩兵ハ聯隊ニ編成スルヲ原則トス

十五、戰車ハ顛覆セラレタル戰場ヲ馳驅シ得ル裝甲車ニシテ歩兵ノ攻撃力ヲ増大ス、

戰鬪前進ヲ容易ナラシムヘキ戰車ハ裝甲セラレタル一種ノ歩兵ニシテ敵ト觸接シタル以後戰果ノ擴張ニ至ル迄ノ戰鬪各時期ニ參與スルモノトス

戰車ハ歩兵ノ前進ヲ遲滯セシムル敵ノ抵抗ヲ制壓シ或ハ之ヲ破碎スルニ足ル自動兵器及歩兵砲ノ運搬車タリ其裝甲ハ小銃彈及砲彈ノ破片ニ對シ之ヲ掩護シ其ノ輪帶ハ各種ノ地形ヲ跋涉スルヲ得シム

十六、戰車ハ各種ノ用途ニ應シ各種ノ制式ヲ有ス
現用ノモノ左ノ如シ

輕戰車隊、其任務ハ歩兵ニ隨伴シ且之ト緊密ニ連繫シテ戰鬪ス其運動性、柔軟性大ナルヲ特性トス

重戰車隊、其任務ハ歩兵及輕戰車隊ノ爲進路ヲ開拓シ其ノ集團威力竝ニ火力ヲ以テ堅固ニ占領セラレタル支撐點ノ抵抗ヲ破碎スルニ在リ

十七、戰車隊ハ歩兵ノ分科兵種ナリ

戰車隊ハ中隊、大隊、聯隊ニ編成ス而シテ修理、補給、應急修理班及運搬班ヲモ含ム

第二款 砲 兵

十八、砲兵ハ特ニ射擊兵種ニシテ射擊ハ唯一ノ戰鬪手段ナリ

戰鬪ニ際シ砲兵ノ主任務ハ其火力ヲ以テ歩兵ヲ支援スルニ在リ砲兵ハ歩兵攻撃ヲ準備シ、掩護シ且推進シ尙敵ノ攻撃ヲ擊退スルモノトス

砲兵射擊ハ其威力ヲ以テ敵ヲ制壓破壊シ其ノ射程及運動性ニ依リテ火力ノ集中ヲ容易ナラシム

十九、砲兵ハ戰鬪間負擔スヘキ任務ヲ有效ニ達成スル爲各種ノ火砲ヲ以テ裝備ス此等ノ火砲ハ其ノ彈道性上次ノ如ク區分ス

輕 砲、其特性ハ小口徑、迅速ナル發射速度、彈道ノ低伸、射程十一吉米ニ達シ其彈量四乃至七吉瓦ニシテ彈丸ハ曳火、著發シ得ヘク彈種ハ榴霰彈煙彈及瓦斯彈トス

短 重 砲、口徑ハ稍大ニシテ射擊速度モ迅速ナリ擲射彈道ニシテ射程十乃至十五吉米ニ達シ彈丸ハ主トシテ著發榴彈ヲ用フ

長重砲、射程十二乃至二十吉米彈道低伸シ射擊速度可ナリ大ナルヲ特性トス
大威力重砲、一般ニ大口徑砲ニシテ射程二十吉米以上ヲ有スル長加農及中距離ニ於
テ彈量一、五〇〇吉瓦ニ達スル特種彈ヲ發射シ得ル短加農ヨリ成ル而
シテ其發射速度ハ概シテ緩漫ナリ

塹壕砲、發射スル彈丸ハ偉大ナル爆裂性ヲ有スルヲ特徴トス而シテ其射程ハ短
小ニシテ移動性少ナシ、之ヲ以テ此種火砲ハ制限セラレタル使用ニ充
ツヘキ砲種ナリ

砲兵ハ以上ノ火砲ノ外近接防禦ヲ確實ナラシムルノ爲重機關銃其他各種ノ兵器ヲ有
シ毒瓦斯裝備ヲ有ス

二十、戰鬪間砲兵カ歩兵ト密接不斷ノ協力ヲ要スルコトハ絶對的必要ナリ

攻撃開始前砲兵ハ稍、長時ノ準備射擊ヲ行ヒ指揮官ニ依リ命セラレタル範圍内ニ於
テ歩兵ノ前進ヲ妨碍スル有形上ノ障礙ヲ破壊シ敵火ノ威力ヲ減殺スルコトヲ努ム
攻撃間砲兵ハ敵ノ展望ヲ有スル地點及敵ノ行動スル地點ヲ砲擊シテ歩兵ヲ掩護シ之

ニ隨伴シテ敵ヲ制壓シ或ハ敵砲兵ヲ射擊シテ歩兵ノ行動ヲ妨碍スル能ハサラシム
防禦ニ於テハ砲兵ハ攻者ノ攻撃部署ヲ擾亂スル爲攻撃準備ノ妨碍ヲナシ或ハ敵ノ出
發後其攻撃ヲ破碎シ且斷念セシムル爲阻止射擊ニ任ス適時ノ攻撃準備妨碍射擊及正
當ニ實施スル阻止射擊ハ時宜ニ依リ砲兵ノミヲ以テ敵ノ攻撃ヲ阻止スルヲ得ヘシ
攻防戰鬪間砲兵ハ敵ノ交通路ヲ遮斷シ且痛痒ヲ感スル地點ニ對シ擾亂射擊ヲ行フ
砲兵戰鬪ニ於テ其火力ヲ集中スルコトハ砲兵指揮官之ヲ掌握スルニ從ヒ愈、容易ナ
ルモノトス砲兵指揮官ハ明確ニ定メラレタル任務達成ノ爲砲兵ヲ集團ニ分ツ即チ歩
兵ノ直接支援、掩護砲兵、對砲兵砲兵、遮斷砲兵等はナリ若干ノ特別ノ場合ニ於テ
砲兵ノ一部隊ヲ歩兵部隊ニ一時配屬スルコトヲ得

二十一、砲兵ノ一般編成ハ火力ノ最大效果ヲ收ムルニ在リ
砲兵ハ中隊、大隊、聯隊ニ編成シ各、其用途ニ關シテハ限定シタル任務ヲ有ス其他
一時ニ指揮官ノ下ニ統一スル集團ヲ編成スルコトヲ得即チ共同ノ任務ノ爲若干大隊
ヲ合一スルモノニシテ原則トシテ集團ニハ聯隊本部ヲ必要トス

砲兵亦等シク補給機關（段列、馬曳及自動車彈藥縱列、輸送自動車班）ヲ有シ戰場ニ於ケル需要ヲ満足セシムルモノトス

又偵察及觀測機關（地上觀測班、測量班、音響測定班及重砲兵隊用飛行隊）並通信機關ヲ有シ兵器ノ特性ヲ發揮スルコトヲ得セシム

第三款 騎 兵

二十二、騎兵ハ他兵種ト連繫シテ搜索、掩蔽、戰鬥ニ任ス

騎兵ハ敵情ヲ偵察シ前進部隊ノ情況ヲ確實ニシ指揮官ニ所望ノ情報ヲ得セシム、一般ニ偵察ハ戰鬥スルニ非レハ求メ難シ

同時ニ騎兵ハ大部隊カ孤立又ハ併列戰鬥スルニ應シ或ハ正面前及側面ニ於テ或ハ單ニ正面前ノ掩蔽ニ任ス

騎兵カ偵察、掩蔽、他兵種ト連絡上ノ必要ヨリ戰鬥スルニ際シ火力ヲ以テスル徒歩戰ハ正規ノ戰鬥法則ニシテ白兵ヲ以テスル乘馬戰ハ小部隊、特種ノ狀況ニ於テノミ可能ナリ

二十三、騎兵ハ大ナル火力ヲ發揮スル自動兵器ヲ有シ大部隊ニ在リテハ其戰鬥力ヲ増援スル爲裝甲自動車、火炮及自轉車歩兵ヲ有ス其他近接戰鬥用トシテ騎銃及銃劍ヲ有シ歩兵ノ如ク器具及覆面ヲ有ス

特ニ騎兵ハ乘馬戰用トシテ軍刀ヲ携帯ス

二十四、騎兵ノ用法ハ編成ニ依リテ差アリ

師團及軍團騎兵ハ主トシテ警戒騎兵ニシテ騎兵師團ハ偵察機關及火力ノ遊動豫備ナリ騎兵團ハ孤立シテ戰鬥シ之カ戰果ヲ擴張シ得ル大戰鬥部隊ナリ

騎兵ノ運動性及團結ノ強固ハ廣大ナル正面ニ戰鬥スルヲ得セシメ且同時ニ火器ノ全威力ヲ發揮セシメ得ルモノニシテ此機動性ハ奇襲ノ效果ヲ大ナラシムルモノトス

二十五、騎兵ノ編成ハ徒歩戰及乘馬移動ノ二個ノ要求ニ應セサルヘカラス

徒歩戰ヲナス騎兵ノ基礎的部隊ハ戰鬥群ニシテ歩兵ノ如ク一自動兵器ヲ有スルヲ特性トス

基礎ノ部隊ハ中隊ニシテ若干ノ戰鬥群ヲ有シ且重機關銃ヲモ有スルヲ得

騎兵ニハ中隊ノ外聯隊、旅團ヲ編成ス其他装甲自動車隊ヲ有ス

第四款 工 兵

二十六、工兵ノ根本任務ハ交通路ヲ新設、整備、補修スルニアリ其他各種ノ築設作業ニ任ス

通信勤務ニ従事スル部隊ハ工兵科ニ屬ス

工兵ハ特種作業ヲ實施スル爲諸種ノ器具、兵器、器材ヲ有シ自衛ノ爲ニ必要ナル武裝ヲ有ス

二十七、戰場ニ於テハ工兵ハ他兵種ト協同シテ動作ス

攻撃ニ在テハ指揮官ノ決定シタル緩急順序ニ依リ交通路並ニ障礙物ノ通路ヲ開設シ其迅速ナル作業ハ攻撃部隊ノ前進ヲ迅速ナラシメ且戰果擴張ノ機動ヲ容易ナラシム防禦ニ在テハ戰場ノ交通路ヲ補修開設シ敵ノ前進ヲ遲滯セシムル破壊ヲ準備シ陣地編成ニ參與シテ特種ノ工事ヲ實施ス滯陣間ニ於テハ坑道戰ニ任スルヲ得ヘシ戰場ニ於ケル工兵ノ作業ハ一般ニ歩兵ノ掩護ヲ受クルモノトス

工兵ハ通常其ノ部隊長ノ指揮下ニ在リテ小部隊毎ニ作業ヲ實施シ且工兵ニ配屬セラレシ補助作業隊ヲ指導ス

二十八、工兵ハ各種ノ部隊ヨリ成ル

或モノハ全般ノ爲ノ作業ヲ實施スル爲總軍司令官ノ直轄トナリ或モノハ時ノ必要ニ依リ一時軍ニ屬セラレ或ハ大部隊ニ編制上配屬セラル即工兵中隊、工兵廠中隊及架橋材料中隊ノ如シ

第五款 航空 隊

航空隊ハ飛行隊、氣球隊及空中防禦隊ヨリ成ル

二十九、飛行隊ハ空氣ニ比シ重キ飛行機ヲ使用シ偵察、爆撃及空中戰闘ニ任ス其戰闘手段ハ移動性及射撃トス

飛行機ノ移動性ハ現時尙大氣ノ狀況特ニ著陸場ノ關係ニ依リテ掣肘ヲ受ク

飛行機ハ敵機ノ妨碍ヲ受クル場合ヲ除キ其行動半徑内ニ於テハ隨所ニ飛行シテ射撃シ得ルヲ特色トス

飛行機ハ地上目標攻撃ノ爲爆彈ヲ、空中戦闘並ニ某地上目標攻撃ノ爲重機關銃及小口徑加農ヲ有ス

飛行機ハ無線電信、落下筒、火箭並信號ニ依リテ地上ト連絡ヲナス

三十、飛行機ニ課スヘキ任務ニ應シ部隊ヲ偵察飛行隊及戰鬥飛行隊ニ編成ス而シテ戰鬥飛行隊内ニ爆撃飛行隊及驅逐飛行隊ヲ有ス

偵察飛行隊ハ砲兵及歩兵指揮官ノ爲ニ行動シ遠距離偵察ニ任シ視察及寫真ニ依リ晝夜ヲ論セス敵情、敵ノ施設及其編成等ヲ偵知ス又砲兵ノ目標偵察並ニ觀測及射撃ノ修正ニ協力ス偵察飛行隊ハ戰鬥歩兵ニ隨伴シ其ノ前進方向ヲ搜索シ且歩兵ト後方トノ連絡ニ任ス

爆撃飛行隊ハ戰場目標ヲ攻撃シ砲兵ノ及ハサル地域ニ威力ヲ延伸シ射程ノ許ス限リ敵ノ交通線及諸建築物ヲ破壊シ晝夜ヲ論セス著大ナル效果ヲ發揚スル爲常ニ集團シテ行動ス

驅逐飛行隊ハ偵察及爆撃隊ヲシテ戰場ニ於テ行動ノ自由ヲ得シメ又敵機ノ企圖ニ對

シ我戰線ヲ掩護ス又敵航空機ヲ求メテ戰鬥ヲナシ之ヲ破壊スルコトヲ努ム

爆撃及驅逐隊ハ其自動兵器ヲ以テ地上戰鬥ニ參與ス

三十一、偵察隊ハ大部隊及總豫備重砲聯隊ニ編成上配屬スルヲ原則トス然レトモ戰鬥隊ハ之ニ反シ特別部隊ヲ組織シ軍ニ配屬セラル、モノトス

中隊ハ一般ノ場合ニ於ケル基本單位ニシテ飛行機、自動貨車、牽引自動車及輕自動車若干ヨリ成ル

爆撃中隊及驅逐中隊ハ大隊、聯隊ヲ編成シ此等ノ若干ヲ以テ航空旅團及師團ヲ編成ス

三十二、氣球隊ハ空氣ヨリ重カラサル器材即繫留氣球及時宜ニ依リ航空船ヲ使用ス繫留氣球ハ空中偵察ニ任ス其特性ハ偵察ノ連續的ナルコト及地上ト不堪且容易ニ連絡シ得ルコトニ在リ但シ之ニ反シ特ニ敵ノ損傷ヲ蒙リ易キ目標ヲ呈スルモノトス氣球ハ敵飛行機ニ對シ自衛ノ爲重機關銃ヲ有ス

氣球ハ偵察隊ト協同動作ヲナシ偵察隊ノ如ク砲兵及歩兵指揮用トシテ行動ス又一般

監視、射撃及連絡ノ任務ヲ有スルモ其ノ主ナル任務ハ砲兵ノ射撃觀測ナリトス
 氣球中隊ハ戰術單位ニシテ一氣球、車輛及運搬用自動車ヨリ成ル、氣球ヲ使用スル
 ニハ特種補給ヲ要スルモノニシテ特種部隊之ニ任ス

三十三、空中防禦ハ飛行隊ト協同シテ敵機ノ侵略ニ對抗スルヲ目的トス之カ爲監視及
 通信勤務ヲ必要トス

空中防禦隊ハ上空、中空ヲ射撃シ得ル對航空機加農及低空用小口徑自動兵器ヲ以テ
 裝備ス又探照燈、聽音機、偽裝材料ヲ有シ某高度ニ於ケル夜間飛行ヲ遮斷スル爲掩
 護氣球ヲ配屬ス

空中防禦隊ハ其任務達成ノ爲メ其ノ有スル各種ノ材料ヲ併用シ特ニ探照燈及聽音機
 ヲ利用シ射撃動作ヲナスモノトス一方敵機ノ驅逐ノ爲協同スヘキ友軍飛行機ト連絡
 スルコト緊要ニシテ飛行機ハ夜間特ニ空中防禦用探照燈ト連絡スルモノトス

空中防禦隊ハ空中防禦砲兵中隊、大隊、聯隊ニ編成シ小口徑自動兵器、探照燈、掩
 護氣球、偽裝隊及補給廠ヲ有ス

空中防禦隊ハ必要ニ應シ各種大部隊ニ若干ヲ配屬ス某場合ニ於テハ空中防禦隊ノ一
 小部分ヲ防禦用トシテ小部隊ニ配屬スルコトアリ

各 部

第六款 通 則

三十四、各部ハ軍隊ノ需要ニ應スルヲ任務トス其主ナル任務ハ必要ナル材料、物件ヲ
 調辨給養シ且各部隊ニ確實ニ之等ヲ分配スルニ在リ

各部長ハ各部ノ使用ニ關シ指揮官ノ命ヲ受ケ其實施ヲ確實ニシ其責ニ任ス又各部長
 ハ部ノ使用ニ關シ指揮官ニ意見ヲ具申スルコトヲ得

其他部長ハ上級部隊ノ部長ヨリ指示セラレタル專門的訓令ニ應シ部内ノ勤務ノ運轉
 ヲ規定ス

特ニ專門的困難ヲ生シタル場合ニ於テ各部ノ用法ニ關シ如何ナル程度迄各部ノ要求
 ヲ容ルヘキヤハ指揮官ノ責任トス

各部ノ實行機關ハ補給品ヲ受領シ其管理ヲ確實ニシ且各部隊ニ交附ス

此等ノ機關ハ特業部隊、各種ノ建築物及時宜ニ依リ特種ノ運搬材料ヲ有ス

三十五、總括シテ各部ハ其目的ニ從ヒ左ノ四種ヨリ成ル

通信部、各指揮官ヲシテ迅速且容易ニ意見ヲ交換セシメ以テ指揮ノ實施ノ根本的條件ヲ可能ナラシム

補給部、後方ヨリ前方及前方ヨリ後方ニ二重ノ補給、後送ヲナシ各部隊ヲ給養ス

輸送部、補給實施ノ爲ノ輸送材料ヲ提供ス

秩序維持部、秩序ノ保持ヲ確實ニシ且軍事裁判ニ任ス

第七款 通信部

三十六、通信部ハ命令、通報、報告ノ傳達ニ必要ナル資材ノ用法ヲ確定ス

部内各單位ハ大部隊内ニ於テ通信部長ノ隸下ニ統一ス

部長ハ其ノ用法ヲ規正協力セシムルヲ任トス

通信部隊ハ戰鬪部隊トス

第八款 補給部

補給部ノ主ナルモノハ砲兵部、工兵部、經理部及衛生部トス

三十七、砲兵部ハ部隊ニ彈藥ヲ補給シ武器、輜重材料、瓦斯防具ヲ交換修理シ且馬具蹄鐵ヲ補給ス

大部隊砲兵指揮官ハ該部隊ノ砲兵補給部長タリ

主ナル補給實施機關ハ砲兵部隊ノ段列及彈藥廠、器材及彈藥縱列並修理工場ニシテ之等ノモノハ砲兵廠ヲ形成ス

三十八、工兵部ハ各兵種ニ器具、防禦材料、建築材料ヲ供給ス軍ニ在リテハ左ノ三補

助部ヲ工兵部ニ附屬セラル即チ森林部、給水部及宿營部是ナリ

其實施機關ハ特種部隊ノ大部及材料廠並倉庫トス

三十九、經理部ハ糧食、馬糧及燃料ノ補給ニ任シ各部隊ニ被服及陣營具ヲ供給ス其他俸給ノ支拂、部隊ノ出納ヲ監視シ諸法規ノ規定スル範圍内ニ於テ會計事務ヲ管理ス之等ハ各大部隊内ニ於テ經理官之ヲ指導ス

實施機關ハ經理部ノ傭人隊、職工隊、麵麩製造所、倉庫、購買組合、食獸班及生肉補給自動車班ヨリ成ル

四十、衛生部ハ衛生、防疫、病者ノ治療、傷者及瓦斯窒息者ノ治療、收容入院、後送等ニ關スル一切ノ業務ニ任シ衛生材料及人員ノ補給ヲ掌ル衛生部ハ各大部隊内ニ於テ大部隊衛生部長タル一軍醫之ヲ指導ス

其主ナル實施機關ハ野戰病院、豫備病院、中央病院及衛生自動車班トス

四十一、其他補給部ハ航空部及戰車部（此部ハ要スレハ特種部隊、修理及保存機關ヨリ成ル）戰醫部、馬廠、會計部、郵便部、兵站部等ナリ

第九款 輸送部

四十二、輸送部ハ鐵道、水路及道路ノ建設、保存、運用ニ關スル總テノ兵員及器材ヲ包含ス

輸送部ハ鐵道部、船舶部、狹軌鐵道部、自動車部、馬曳縱列部及道路部ヨリ成ル

鐵道及船舶部ハ總司令官ニ專屬シ狹軌鐵道部及道路部ハ軍ニ屬ス自動車縱列及動物

縱列ハ各大部隊ニ屬ス

各軍ニ於テ輸送部長ハ軍ニ關スル諸材料ノ輸送實施ヲ掌ル故ニ軍ノ狹軌鐵道部長、自動車縱列部長、馬曳縱列部長ハ輸送部長ニ隸屬ス

軍ノ輸送部長ハ其他軍ノ地域内ニ於ケル道路ノ建設保持ノ爲道路部長ヲ區處ス

第十款 秩序維持

主ナル秩序維持部ハ憲兵部及軍法會議ヨリ成ル

四十三、憲兵部ハ軍内ニ於ケル一般警察、司法警察及軍事警察ノ實施ニ任ス

四十四、軍法會議ハ軍ノ地域内ニ於ケル軍事裁判ノ權限ニ關スル重罪、輕罪ヲ探索、

訓戒及判決ヲナス

第十一款 警戒部、間諜、新聞、宣傳部

警察部、間諜、新聞、宣傳部ハ若干指揮官ノミニ屬ス

第二章 大部隊ノ特性及一般ノ編制

第一款 歩兵師團

二六

四十五、歩兵師團ハ獨力ヲ以テ某程度ノ重要ナル攻撃ヲ指導シ得ル最小ノ單位ナリ然レトモ連續長日月長距離戰闘ヲ持續スルコト能ハスシテ某限度ヲ有ス其他歩兵師團ハ大部隊ノ基礎單位ニシテ各兵種ノ行動ヲ律スル最小部隊ナリ又常ニ分割シテ使用スヘカラス而シテ一般ニ師團ノ編制上多數ノ増援隊ヲ受クルコトヲ得サルモノトス

指揮

四十六、師團長ハ諸兵種指揮官及各部長ニ命令ヲ與フ

戰闘ノ爲師團長ハ師團ヲ三個ノ部隊ニ區分スルヲ通常トス即第一線部隊、砲兵主力及師團豫備之ナリ而シテ師團長ハ戰闘指導ノ爲ニ之等指揮官ニ命令ヲ與フ
第一線部隊ハ戰闘ニ加入セル歩兵、時宜ニ依リ戰車及砲兵ノ小部隊ヨリ成ル、師團長ハ第一線部隊指揮官ヲ任命ス該指揮官ハ所屬部隊ノ戰闘指導ニ任ス第一線部隊ノ指揮ハ師團歩兵指揮官ニ委任スルヲ通常トス

師團砲兵ノ全部（一時歩兵ノ隷下ニ入りアル小部隊ヲ除ク）ハ師團砲兵指揮官ノ隷

下ニ屬ス該砲兵指揮官ハ師團長ノ命スル任務ノ範圍内ニ於テ砲兵戰闘ヲ指導ス
豫備隊ハ戰闘ニ加入セサル歩兵及戰車ヨリ成ル師團長ハ豫備隊ノ指揮ヲ適確ナラシムル爲所要ノ要件ヲ指示ス

戰 闘 部 隊

四十七、師團歩兵ハ三乃至四聯隊ヨリ成リ師團歩兵指揮官ニ屬ス

師團騎兵ハ騎兵一中隊ヨリ成ル

師團砲兵ハ繫駕砲兵二聯隊ヨリ成ル其一ハ輕砲兵ニシテ他ノ一ハ短重砲兵トス

砲兵指揮官ハ此ノ二聯隊時宜ニ依リ師團ニ増加セラレタル砲兵ヲモ指揮ス

師團工兵ハ工兵二中隊ヨリ成ル

師團航空隊ハ偵察一中隊及一氣球中隊（一氣球）ヨリ成ル其他師團ハ鐵兵一大隊及

師團教育部隊ヲ有ス此等ノ部隊ハ師團長ノ直轄トス

尙師團ハ通信隊及觀測班ヲ有ス

各 部

四十八、歩兵師團ハ師團直接ノ需用ヲ充足スルニ必要ナル各部ヲ有ス

砲兵部ハ砲兵廠ヲ有シ専ラ第一ノ彈藥補給ニ任ス

工兵部ハ工兵廠一中隊ヨリ成リ材料及器具ノ第一ノ豫備タリ

經理部ハ開拓班、食獸班及生肉補給班ヨリ成ル

衛生部ハ衛生班及衛生自動車班ヨリ成ル

獸醫部ハ移動收容班ヨリ成ル

其他師團ニハ會計部、郵便部、憲兵及常設軍法會議ヲ有ス

一般輸送機關トシテハ動物輻重ヲ有スルニ過キス

第二款 軍 團

四十九、軍團ハ廣正面ヲ以テ戰鬪シ決戰ニ至ル迄會戰ヲ指導シ得ル單位ナリ

軍團長ハ若干師團及軍團直屬部隊ヲ有ス軍團長ハ各師團ノ戰鬪ヲ指導調節シ且直屬

部隊ヲ以テ某師團ノ戰鬪ヲ支援シ或ハ發展セシメテ直接戰鬪ニ參與スルモノトス

軍團ハ良好ニ編成セラレタル指揮機關ヲ有スルヲ以テ獨立師團及各兵種ノ部隊等ノ

増援ヲ受ケ且之カ戰鬪間ニ於ケル運用ヲ規畫スルヲ得ヘシ斯ノ如クシテ軍團ハ其ノ所命ノ任務ヲ容易ニ達成スルヲ得ヘシ

指 揮

五十、軍團長ハ師團長、直屬各部隊長及軍團内ノ各部長ニ命令ス

戰鬪ニ際シ軍團長ハ戰鬪中ノ師團ヲ指揮シ之ヲ協同セシメ、砲兵ノ用法ヲ規正シ、

豫備隊ヲ運用ス其他軍團内ノ航空偵察隊ノ協力ヲ確實ナラシム砲兵戰鬪ノ計畫及指

揮ノ爲直接補助官トシテ軍團砲兵司令官ヲ有シ航空機ノ使用ニ關シテハ軍團航空指

揮官之ニ任ス

軍團砲兵司令官ハ軍團固有ノ重砲兵ヲ指揮ス又軍團ニ配屬セラレタル増加砲兵ハ軍

團長ノ意圖ニ基キ師團砲兵及軍團長ノ隸下ニ在ル砲兵ノ二部ニ區分ス而シテ軍團内

ノ射擊指導ヲ確實ニシ特ニ師團砲兵相互間ノ動作及師團砲兵ト軍團砲兵トノ戰鬪ヲ

協力セシメ且軍團内ニ於ケル彈藥補給ノ責ニ任ス

軍團航空指揮官ハ軍團配屬航空隊ヲ指揮シ軍團長ノ意圖ニ合スル如ク之等航空部隊

ト師團航空隊及重砲兵隊航空部隊トヲ協力セシム

戰團部隊

五十二、軍團ハ二師團及軍團直屬部隊若干ヨリ成ル

戰團ニ際シ軍團内ノ師團數ハ三又ハ四個トナスヲ得

軍團直屬部隊ハ規定ノ各兵種ヲ以テ編成ス戰團ニ際シ此等ノ部隊ハ砲兵、航空機、戰車ノ増援ヲ受クルコトヲ得

軍團ノ編成内直屬部隊左ノ如シ

戰車隊 通常二大隊ヨリ成ル輕戰車一聯隊

騎兵 一聯隊（師團騎兵中隊ハ此聯隊中ヨリ取ルコトヲ得）

砲兵 繫駕長重砲兵一聯隊

工兵 工兵二中隊

航空隊 偵察飛行機一、二中隊及氣球一中隊（一氣球）

其他軍團ニ鐵兵一聯隊、及通信隊並ニ觀測隊ヲ有ス

各部

五十二、軍團各部ハ主トシテ指導機關ヨリ成リ各師團相當各部ノ業務ヲ指導シ且連繫セシムルノ責務ヲ有ス

直屬部隊ノ需用ニ應スル如ク實施機關ヲ有ス

砲兵部ハ修理班及時宜ニ依リ彈藥廠ヨリ成ル砲兵廠ヲ以テ編成セラレ

工兵部ハ架橋一中隊及時宜ニ依リ材料廠ヨリ成ル

經理部ハ師團ト同一ノ機關及職工、傭人ノ豫備ヨリ成ル

衛生部ノ主ナル機關ハ野戰病院、外科輕野戰病院、衛生補給班及衛生自動車班トス

戰醫部ハ野戰獸醫病院ヨリ成ル

特業ニアラサル輸送班ハ材料輸送班（釋者曰ク自動車式ナリ）及動物輻重トス其他軍團ニハ會計部、郵便部及憲兵部アリ

第三款 軍支隊

五十三、軍支隊ハ特種ノ狀況ニ應スル一時的ノ集團トス任務ニ應シ其ノ内容各様ナリ

其幕僚及各部ハ當時ノ決定ニ基キ編成セラレ

第四款 軍

五十四、軍ハ戰略單位タリ

軍司令官ハ軍團若干、騎兵ノ大部隊及航空隊ノ行動ヲ全般ノ任務ノ範圍内ニ於テ統帥ス

軍ハ専ラ指揮及編合ノ機關ニシテ原則トシテ司令部、特種部隊及各部ノミヲ編成ス然レトモ軍ノ任務ニ應シ軍團、師團、騎兵師團、騎兵團、砲兵部隊、工兵、航空隊戰車隊ノ配屬ヲ受クルコトヲ得
軍ハ總司令官ニ屬シ或ハ軍集團司令官ヲ經テ之ニ隸屬ス

指 揮

五十五、軍司令官ハ軍團長、直屬スル他ノ大部隊、砲兵、工兵、航空及戰車隊指揮官ニ命令ヲ下シ作戰ヲ指導ス

軍砲兵司令官ノ訓令ニ基キ總豫備砲兵ヲ各軍團ニ配當シ且ツ軍直屬砲兵ノ指揮ニ任ス又軍團砲兵相互ノ動作及軍砲兵トノ協同動作ヲ規正シ彈藥補給ノ一般指導ニ任ス

軍工兵司令官ハ兵科ニ關スル特種作業ノ實施ヲ確實ニシ且交通整備ニ關シテハ軍ノ輸送部長ニ援助ヲ與フルモノトス

軍航空指揮官ハ全航空部隊及對空防禦隊ヲ指揮シ司令官ノ訓令ニ合スル如ク此等部隊ノ用法ヲ規定ス但シ軍團航空隊ト連絡スルヲ要ス

特ニ敵機ノ企圖ニ對シ此等諸隊ノ掩護並ニ遠距離搜索ニ任ス

軍戰車隊指揮官ハ軍司令官ノ意圖ニ基キ軍團ニ配屬セラレヘキ戰車隊ヲ部署シ且軍所屬戰車隊ヲ指揮ス其他戰車隊ニ材料、彈藥等ノ特別補給及收容並修理ヲ確實ニス

各部及特種部隊

五十六、隸下部隊ノ需要ニ應スル爲軍ニハ多數且有力ナル各部ヲ有ス各部ノ大部ハ軍ニ在リ

指導機關ハ軍ニ於テ最モ有力ニ編成セラレ

實施機關ハ軍ノ情況之ヲ要スルトキ増加セラレルモノニシテ重要ナルモノアリ
主ナル實施機關左ノ如シ

各部ニ屬スル諸廠及建築物（各種補給品、諸廠、倉庫、工場、病院等）

特業ニアラサル大輸送材料（狹軌鐵道、材料輸送班、動物輻重）

各部固有ノ特種部隊及一般作業隊

軍編組内ノ各部ノ部隊ハ他ノ勤務令ニ明示ス

第五款 騎兵師團

五十七、騎兵師團ハ装甲自動車ヲ有スル大單位ナリ而シテ砲兵、自轉車步兵、自轉車
工兵及飛行隊ノ増援ヲ受クルヲ以テ此等相合シテ有力ナル火器ヲ備フル一團ヲ形成
ス

騎兵師團ノ特性ハ各種ノ地形ニ於ケル運動性ナリ而シテ戰鬪機關トシテ火力ヲ有シ
運動機關トシテ迅速ナル馬脚ヲ利用ス

戰鬪前騎兵師團ハ遠隔セル敵情ノ搜索ニ任シ指揮官ニ必要ナル情報ヲ呈ス戰鬪間地
域之ヲ許セハ一般ニ翼側ニ使用シ側面ヲ掩護シ或ハ敵ノ側背ニ機動ス又連續セル戰
線ノ後方ニ於テ火力ノ移動豫備ヲ形成ス

師團長ハ騎兵旅團長、砲兵指揮官及所屬各兵科指揮官ニ命令ヲ下ス

騎兵師團ハ騎兵三旅團、輕砲兵一、二大隊、機關銃ヲ有スル自轉車隊、装甲自動車
隊、自轉車工兵一小隊時宜ニ依リ偵察飛行機一中隊ヨリ成ルヲ原則トス
步兵師團ノ如ク騎兵師團ハ直接ノ需用ヲ充足セシムルニ足ル各部ヲ有ス

騎兵師團ハ總司令官ノ豫備ニシテ軍ニ配屬シ又ハ騎兵團ニ編合スルコトヲ得

第六款 騎兵團

五十八、騎兵團ハ騎兵師團若干ニ他ノ戰鬪部隊ヲ附屬セラレタル大單位ナリ即步兵部
隊、戰車隊、輕、重砲兵、航空隊及工兵トス

騎兵團ハ騎兵師團ト同一ノ特性ヲ有ス然レトモ一層大ナル指揮機關ヲ有シ射擊威力
及戰鬪力一層大ナリ

騎兵團ノ編組ハ臨時的ノモノニシテ定規ノモノナシ騎兵團ハ同一任務ヲ以テ同一地方ニ使用セラレタル各種ノ部隊ヲ必要ニ應シ統一指揮官ノ隸下ニ置クモノナリ
騎兵團ハ幕僚ヲ有スル中將之ヲ指揮ス

戦闘ニ際シ騎兵團長ハ隸下騎兵師團ヲ協力セシメ騎兵團直屬歩兵、砲兵及各種部隊ノ任務ヲ定メ且豫備隊ヲ運用ス

情況ニ依リ騎兵團ヲ編成シタルトキ之ヲ使用スル高等統帥ハ之カ分割使用ヲ避クヘシ

第七款 航空師團

五十九、航空師團ハ眞ノ大部隊ト稱スル能ハサルモ其ノ有力ナル火力ヲ以テ戦闘ニ參與シ得ル飛行機ノ大編合部隊ナリ

航空師團ハ主トシテ晝間爆撃旅團一、此ノ旅團ノ任務達成ヲ妨害スル敵機ニ對シテ掩蔽スル驅逐飛行機隊若干ヨリ成ル其他電信隊、無線電信隊、若干ノ部及自動車隊ヲ有ス

航空師團ハ總司令官ノ總豫備ヲ形成ス而シテ師團ハ總司令官ノ掌中ニ在リテ著陸場ヲ充分ニ有スル時ハ迅速且大規模ノ移動ヲ爲ス最高統帥ハ其ノ會戰計畫ニ應スル如ク之ヲ若干軍ニ配屬シテ使用スルモノトス

六十、航空師團ハ軍ノ範圍内ニ於テ戦闘ニ従事ス而シテ軍司令官ノ射撃機關タルヘシ其爆撃ハ有形、無形上ノ著大ナル效果ヲ齎シ其射程ハ情況良好ナル場合ニ於テ飛行機ノ活動半徑ト同一範圍ニ到達スヘシ又機動部隊ニシテ其瞬間的ノ戦闘加入ハ戦闘ノ某時機ニ重大ナル效果ヲ及ホスコトヲ得ヘシ

危急ノ時機ニ於テハ諸部隊ハ低空飛行ヲナシ機關銃ヲ以テ地上戦闘參與ヲ命スルヲ得ヘシ

一般ニ航空師團ハ集團シテ使用ス然リト雖軍司令官ノ規定スル手段方法ヲ以テ戦線ノ空中掩蔽ニ協力セシムルヲ得ヘシ其他航空師團ハ軍所要ノ情報蒐集ノ爲使用ス
航空師團ノ配屬セラレタル軍ニ夜間爆撃隊存スルトキハ該隊ハ之ヲ航空師團ニ其使用ヲ命スルヲ利トス之レ晝間及夜間爆撃隊ヲ協力戦闘セシムルヲ得レハナリ

航空師團ハ大氣ノ情況ニ掣肘セララルヲ以テ豫メ正確ナル之カ使用時期ヲ規定スル
コト能ハサルコトアリ故ニ該師團長ハ明ニ軍司令官ノ計畫ヲ熟知シアルコト重要ナ
リ之レニ依リ師團長ハ其方法手段ヲ周到ニ準備研究シ適時師團ヲ發動スルノ準備ニ
アルヲ得ヘシ其他師團長ハ絶エス情況ヲ熟知シ最良ノ條件ヲ以テ實行ニ移リ得ル如
クナシアルヲ要ス

第八款 總 豫 備

六十一、總豫備ハ總司令官ニ屬シ左ノ部隊ヨリ成ル

軍團、師團若干（情況ニ依リ其數一定セス）

各特科兵種及各部（各特科及各部ノ總豫備タリ）

總豫備ハ總司令官ヲシテ隸下大部隊ヲ迅速ニ支援セシメ得ルモノナリ

各兵種ノ總豫備隊

六十二、主ナル總豫備隊ハ左ノ編組ヲ有ス

歩兵、歩兵豫備隊ハ兵站大隊及重機關銃隊若干ノミ

戰車隊、輕戰車隊若干及重戰車隊全部トス

騎 兵、全騎兵師團ハ編成上總豫備トス尙總豫備隊中ニハ裝甲自動車隊ヲ有ス

砲 兵、砲兵豫備ハ編制上歩兵師團、騎兵師團及軍團ニ屬セサル全砲兵ヨリ成ル即

左ノ如シ

自動車式輕砲兵聯隊

自動車式短重砲兵聯隊

自動車牽引式長重砲兵聯隊

自動車牽引式又ハ鐵道式大威力重砲兵聯隊

塹壕砲兵、山砲兵、陣地砲兵聯隊等

砲兵豫備ハ音響測定班、地上觀測班及測量班ヲ有ス

工 兵、工兵豫備ハ工兵大隊、各種特種中隊（坑道兵、橋梁兵、電氣兵等）及作業

隊トス

航空隊、航空豫備ハ航空師團、夜間爆擊旅團又ハ聯隊、夜間驅逐隊、驅逐及偵察隊

豫備ヨリ成リ又航空船用特種部隊ヲモ包含ス

其他空中防禦砲兵隊、照明隊、掩護氣球隊及偽裝隊ハ軍豫備隊タリ

各部ノ總豫備

六十三、主ナル各部總豫備ハ通信部、輸送部、經理部及衛生部トス

通信部ハ電信、無線電信及鳩ノ豫備隊トス

輸送部ハ特種部隊（狹軌鐵道ノ建築、運轉部隊、自動車隊、道路隊等）ノ豫備、鐵道及運轉材料ノ豫備トス（狹軌鐵道材料、自動車材料、重架橋材料等）

經理部ハ職工傭人及糧秣竝物件ノ豫備トス

衛生部ハ衛生部員、野戰病院、外科野戰病院、衛生自動車班及衛生材料ノ豫備トス

第三編 大部隊ノ戰術的用法

第一章 指揮官、計畫、命令

第一款 指揮官

六十四、大部隊指揮官ハ自己ニ對スル信頼、謹嚴ナル性質、職務上及精神上ノ價值竝

ニ責任觀念等ニ依リ部下ニ對シ威嚴ヲ有セサルヘカラス

又部下ヲ識リ己レヲ識ラシメ部下ノ物質上ノ状態ヲ良好ニシ且精神的方面ヲ監視スル爲ナシ得ル限り屢、軍隊ヲ視察スルコト緊要ナリ

指揮官ノ主ナル任務ハ決心ヲナスニ在リ、其他將來ヲ先見セサルヘカラス其先見ハ階級ノ上位ナルニ從ヒ益、廣遠ナラサルヘカラス

決心緩慢ニシテ且實行部隊ヲシテ所要ノ部署ヲ爲スノ餘裕ヲ得シメサルトキハ何等價值ナキモノトス

六十五、決心、決心ハ達スヘキ目的ヲ定ム

決心ノ基礎要件ノ主ナルモノ左ノ如シ

上級指揮官ヨリ指示セラレタル任務

使用スヘキ兵力（部隊ノ實員及價值、直轄部隊長ノ性質及能力、指揮官ノ有スル器材）

敵情及隣接大部隊ノ情況

其ノ他ノ一般情況（地形、交通ノ狀態、氣候、季節等）

第二款 計畫 畫

作戰計畫

六十六、作戰ノ目的ハ指揮官ノ命スル任務達成ノ爲兵力ノ使用ヲ調和スルニアリ

作戰前大部隊指揮官ハ作戰計畫ヲ策定ス而シテ敵ノ探ルヘキ各種ノ策ヲ假想研究スルモ之カ先入主トナルヲ避ケ又指示セラレタル任務ノ範圍ヲ脱逸スルコトナク要スレハ此ノ敵ノ計畫ヲ齟齬セシメ且敵ノ如何ニ關セス吾任務ノ達成ニ努力スル如ク其ルヘキ手段ヲ豫測セサルヘカラス

指揮官ハ意志ヲ確定シ且之ヲ作戰計畫ニ示ス

作戰計畫ハ作戰一般ノ目的ヲ示シ作戰ノ大方針ヲ決定ス又最初探ル可キ方向、占領スヘキ第一ノ陣地或ハ到達スヘキ第一目標ヲ決定シ之ニ依リ最初ノ兵力部署ヲ規定ス

此ノ部署ハ不慮ノ事變アルトキ直チニ之ニ應シ得ルノ柔軟性ヲ有スルコト緊要ナリ

作戰一度開始スルヤ情報機關及戰鬪ニ依リテ得タル諸情報ハ敵ノ企圖ヲ一層明瞭ニ知ルコトヲ得シムヘシ而シテ又情況ハ絶エス變化スルモノトス

指揮官ノ責務ハ作戰計畫ノ大方針ヲ恪守スルト同時ニ變化スル情況ニ之ヲ適合セシムルニ在リ斯ノ如キ逐次ノ修正ニヨリ作戰ノ變化ヲシテ決定シタル目的ニ合スル如ク指導スルモノトス

戰爭ニ於ケル勝利ハ計畫ノ巧ミナルヨリ實施ニ於テ堅忍不拔ナルモノニ歸スヘシ

搜索計畫

六十七、敵情ヲ知ルハ指揮官ノ意志及決心確定ノ爲重大ナル一要素ヲ成ス而シテ指揮官ハ良好ナル情報ヲ得ルニ從ヒ一層意志ヲ確定シ且決心ヲ確實ナラシムルヲ得ヘシ

故ニ作戰前達成スヘキ目的ニ應シ如何ナル方針ヲ以テ搜索スヘキヤ又作戰ノ進展ニ資シ急襲ニ備ヘ且戰勝ノ好機ヲ増大スル爲知ラントスル要點ヲ指示スルヲ有利トス此等ノ要件ハ搜索計畫ニ示スモノトス
當初ノ狀況ヲ基礎トスル此ノ計畫ハ作戰經過中不慮ノ事變ニ依リ又作戰ノ進展ニ應シ修正スルヲ要ス

各部ノ使用計畫

六十八、戰鬥間ニ於ケル補給、後送ノ重大及會戰ニ要スル諸材料ノ著大ナル集積ハ指揮官ヲシテ豫メ且周到ニ各部ノ使用築設物ノ分配及輸送材料ノ使用ヲ規定スルノ已ムヲ得サラシムヘシ其他部隊及各部ノ移動ニ依リテ生スル運動ノ爲メ交通路ノ保存開拓ハ確實ニ命令セララルルヲ肝要トス

此ノ使用計畫ハ所要ニ應シ各部ニ指示ス

各部ノ使用計畫ハ單ニ當初ノ編成ノミナラス情況ニ依リ修正セララルル場合ヲモ豫想シ願慮シ措カサルヘカラス

第三款 訓令及命令

六十九、指揮官ノ決心ハ訓令又ハ命令ニ依リ指示ス

訓令ノ目的ハ部下指揮官ニ自己ノ意志ニ合スル如ク如何ナル情況ニ於テモ行動スル爲缺クヘカラサル事項ヲ指示シテ之ニ愚據ヲ與フルニ在リ訓令ニハ作戰ノ一般方針及指揮官ノ企圖ヲ示シ、達成スヘキ第一ノ目的或ハ考慮スヘキ逐次ノ目的ヲ定メ且將來ニ於ケル各種ノ場合ヲ豫想ス又訓令ハ比較的長時期ニ亘ルヲ得ヘシ
訓令ハ一般ニ軍司令官或ハ軍團長ノミ之ヲ下スヲ得

命令ハ明確ニシテ十分決定的ナルヘシ

命令ハ關係大部隊全部或ハ單ニ其若干ニ下達スルニ從ヒ一般命令或ハ特別命令ニ分ツ

準備命令ハ所要ニ際シ第一ノ配置ヲ探ルニ必要ナル指示ヲ軍隊ニ與フルモノトス
訓令及命令ハ單簡ナルヲ要ス然レトモ指揮官ノ計畫ヲ十分了解セシムル爲必要ナル
モノハ總テ包含セサルヘカラス

第四款 連絡

七十、連絡ハ指揮官ヲシテ其決心ヲ良好ニ實施スル爲必要ナル觸接ヲ各部隊ト保持セ
シムルモノニシテ之カ爲メ大部隊ノ指揮官ハ絶エス上級指揮官、直轄指揮官、及隣
接部隊指揮官ト連繫ヲ保持セサルヘカラス
連絡ハ左ノ如クス

指揮官側ヨリ、必要ナリト判断スル毎ニ自ラ直轄團隊指揮官ノ許ニ至リ且屢、幕
僚ヲシテ所要ノ點ヲ觀察シ又ハ狀況ヲ明ニスル爲一時的任務ヲ與ヘテ赴カシメ部
下團隊ノ作戰ニ隨從ス

隸屬部隊側ヨリ、上級指揮官ニ作戰及情況ニ關シ報告ス
各部隊長側ヨリ、比隣部隊指揮官ト連繫ヲ保持ス

各種ノ連絡ニ依リ指揮官ハ命令ノ實行ヲ激勵シ且明確ナル指揮官ノ企圖ニ向ヒ全部
隊ヲ協力セシムルヲ得ヘシ

第五款 作戰ノ秘匿

七十一、作戰ノ秘匿ハ指揮官ノ決心遂行ノ爲主要ナル保障ノ一ナリ
職務上作戰計畫ヲ承知シアル諸官ハ自己ノ名譽ニ懸ケ之カ秘密ヲ保持セサルヘカラ
ス

某作戰ノ準備ニ於テ秘密保持ヲ容易ナラシムル爲特種ノ豫防手段ヲ講スルコト屢、
必要ナリ然ルトキハ作戰計畫ノ研究ヲ命スル將校ヲ制限シ又ハ各人カ作業ヲ立案ス
ルニ必要ナル程度ニ於テ計畫ヲ開陳ス之ヲ要スルニ實施ヲ良好ナラシムルニ必要ナ
ル程度及期間ニ於テノミ隸屬指揮官及各部長ニ指揮官ノ意圖ヲ指示スルヲ有利トス
ヘシ

一般ニ隸下指揮官ニ與フル作戰命令ハ上級指揮官ノ命令ノ全部ヲ反覆スルヲ避ケ時
宜ニ依リ作戰ノ一般ニ關スル指示及指揮官ノ企圖ニ關スル指示ハ口頭ニテ下達スル

第二章 警戒

第一款 警戒隊

七十二、警戒ノ目的ハ指揮官ヲシテ部署ヲ爲サシムルニ在リ換言セハ兵員器材ヲ集結シ之ヲ戦闘ノ爲運用スルヲ得シムルニアリ

故ニ警戒ハ地上ノ奇襲及空中ノ危害ニ對シ部隊ノ掩護ヲ確實ニセサルヘカラス

警戒ハ搜索及部隊ノ配置ニ歸著スヘシ

搜索ハ飛行機、騎兵、觸接部隊及特種機關ニ要求ス戦闘ハ最モ精密ニシテ且確實ナル情報ヲ呈供シ得ヘシ

軍カ行動ノ自由ヲ有スルトキ大部隊ハ縦深配備ヲ採ル主力ハ行動及駐軍ノ警戒ニ專任スル掩護部隊ニ依リ掩蔽セラル此掩護部隊ノ編組及任務ハ指揮官之ヲ定ム

軍カ一連ノ戦線ニ停止セルトキ大部隊ハ抵抗陣地及機動ヲ許ス交通路上ニ梯置セラ

レ且前進陣地ニ依リ掩蔽セラル

各種ノ狀況ニ於テ空中企圖ニ對スル警戒ハ空中防禦及各部隊ノ空中脅威ニ對シ探ルヲ要スル手段トヲ同時ニ必要トス戦闘ニ依リテ得タル制空權ハ警戒ノ最良ノ保障タリ

第二款 搜索機關

飛行隊

七十三、飛行隊ハ指示セラレタル地域内ノ敵ノ行動及狀態ヲ指揮官ニ報告スルヲ任トス而シテ遠距離搜索ニ在リテハ騎兵ニ代レリ飛行機ノ活動半徑及速力、報告ヲ直ニ傳達シ得ル無線電信ノ配置ニ依リ特ニ遠距離搜索ノ優秀ナル兵種ナリ其他寫真ハ一般ニ其報告ヲ最モ公正且精確ナラシムルモノナリ然レトモ飛行機ハ連日、毎時飛翔スルニ足ル機數ヲ有スルコト能ハス一方雨天及霧ハ屢々飛行ヲ困難ナラシメ視察ヲ妨クヘシ又森林内ニ位置スル部隊ハ殆ト完全ニ飛行機ノ偵察ニ遮蔽スヘシ殊ニ晝間ニ於テ然リ又飛行機ハ一般ニ敵線ノ概要ヲ限定スルニ適セス故ニ飛行機ノ專任スル

偵察ハ制限ヲ有シ且正當ニ確定セララルルヲ要ス

騎 兵

七十四、騎兵師團ハ近距離搜索ヲ以テ警戒ニ任シ飛行隊ヨリ大ナラサル距離ニ於ケル情報ヲ蒐集シ且敵ト觸接ヲ保持ス

報告ノ蒐集ハ某點若クハ某方向ニ使用セル小部隊（支隊或ハ斥候）ニ委任ス之等ノ部隊ハ相合シテ搜索隊ヲ形成ス

敵トノ觸接ニ依リ敵ノ保持スル戰線ヲ確定スルヲ得ヘシ、觸接間騎兵師團ハ其有スル火力ノ許ス限リ遠距離ヲ正確ニ偵察ス

編成上師團及軍團内ニ配屬セラレタル騎兵ハ其正面前ノ情報蒐集及觸接維持ニ任シ且部隊ノ直接掩護ヲ爲ス

威力偵察、小奇襲

七十五、敵ト觸接シ未タ戰闘開始セサル以前指揮官ハ某點ノ敵ノ兵力、部署ヲ偵知スヲ利トスルコトアリ然ルトキハ明確ナル方法ヲ以テ戰闘ノ目的及範圍ヲ決定シ某隊

ニ實施セシムルモノトス

滯陣間ニ在リテハ此種偵察ハ一般ニ頻繁ニ行フ此偵察ハ特ニ敵ノ兵力及攻撃準備等ヲ明ニスルモノニシテ奇襲ノ形式ヲ以テ實施セララルコト多シ

第三款 行軍ノ警戒

七十六、行軍ノ警戒ハ時間及距離ニ於テ主力ト緊密ナル關係ヲ保持セル諸兵種ヨリ成ル支隊ニ依リテ行フ該支隊ノ其主力トノ關係位置ニ依リ前衛、後衛、側衛ト稱ス

前 衛

七十七、前衛トハ行進方向上主力ノ前方ニ支分セラレタル掩護部隊ヲ謂フ其動作ハ常ニ主力ノ行動ニ從屬シ主力ヲシテ其任務ノ實施ヲ容易ナラシムルモノナリ

敵ノ近傍ニ於テハ前衛ハ指揮官ニ本隊ノ展開ニ要スル時間ト場所トヲ得シメ、行軍間主力ヲシテ近距離ノ急襲ニ對シ掩護ス

其編組ハ狀況ニ依リ異ル

陣地ニ據レル敵前ニ於テハ前衛ハ先ツ接觸セル我騎兵ト連絡ス敵ノ堅固ニ且連續セ

ル抵抗ヲナスヘキ線ヲ明確ナラシムル爲慎重ナル態度ヲ以テ前進ヲ決行シ次テ主力ノ展開ヲ掩護スル如ク位置ス

運動中ノ敵ニ對シテハ前衛ハ逐次ノ躍進ニ依リテ縱隊ノ前進ヲ掩蔽シツツ前進ス而シテ騎兵ノ奪取シ能ハサリシ局地ノ抵抗ヲ迂回シ主力ノ將來ノ展開ヲ有利ナラシムルニ便ナル支撐點ヲ奪取ス敵若シ前衛ニ對シ強力ナル壓迫ヲ加フル時ハ前衛ハ土地ヲ固守シ要スレハ増援ヲ受ケ指揮官ヲシテ計畫的戰鬪部署ヲ採ラシメ得ル爲可成堅固ナル戰線ヲ構成スルモノトス
駐軍ニ於テハ前衛ハ前哨ヲ出ス

後衛

七十八、退却ヲ行フニ當リ後衛ハ主力ヲシテ戰鬪ヲ避ケシムルヲ以テ任務トス其兵力及行動ハ特ニ敵ヲ遲滯セシムヘキ時間、地形、行動スヘキ地域ニ關ス
若干ノ場合後衛ハ指定ノ陣地ニ於テ最後迄抵抗スルコトアリ其他ノ場合後衛ハ豫メ其兵力殊ニ砲兵ヲ防禦スヘキ逐次ノ陣地ニ梯置シ退却戰鬪ヲ行フ

側衛

七十九、側衛ハ行軍駐軍間部隊ノ暴露セル側面ヲ掩護スルヲ目的トス側衛ハ所要時間敵ヲ遮斷スル爲危險ナル方向ニシテ主力ヨリ十分離隔セル距離ニ位置スルモノトス

第四款 駐軍ノ警戒

八十、駐軍ニ於テ未タ敵ト觸接ヲ保持セサル時ハ主力部隊ノ掩護ハ敵方ノ主要ナル方向ニ位置スル警戒部隊之ニ任シ前方ニ前哨部隊ヲ出ス
敵ノ近傍或ハ觸接間ニ於テハ大部隊指揮官ハ敵來襲ノ際戰鬪ヲ交ヘントスル抵抗陣地ヲ決定ス而シテ主力ヲシテ武器ヲ取り且抵抗陣地ヲ占領スルノ時間ヲ得シムルニ足ル陣地ニ前哨ヲ位置セシム
前哨部隊ノ任務ハ狀況ニ依ル、一般ニ此等ノ部隊ハ監視ノ任務ヲ有スルニ過キスシテ敵ノ攻撃ニ際シテハ其主力ニ向ヒ退却スルモノトス
然レトモ或ル場合ニ於テハ撰定シタル陣地上ニテ抵抗シ或ハ犠牲トナリテ敵ノ攻撃ヲ擾亂シ且敵ヲ我抵抗陣地ノ火力下ニ置カシムル等ノ機動ヲ行フコトアリ

前哨ノ任務ハ如何ナル場合ニ於テモ明示セラレ且全員ニ知ラシムルヲ要ス

第五款 空中防禦

八十一、空中防禦ハ一般ニ左ノ如ク二個ニ區分ス

第一線ノ空中防禦 被脅威正面ニ沿ヒ多少濃密ニシテ縱深有ル彈幕ヲ構成ス

第二線ノ空中防禦 後方地帯ノ要點ノ周圍ニ火力ヲ集中ス

行進間第一線ノ空中防禦ハ正面ニ於ケル支阻射撃ノ繼續ヲ確實且有利ナラシムル如ク部隊ヲ梯次ニ躍進移動セシム

第三章 輸送、行軍、駐軍

第一款 輸送

通則

八十二、作戰間大部隊ハ一戰場ヨリ他戰場へ、同一戰場ノ一點ヨリ他ノ一點ニ迅速ニ輸送セラルルコト屢ナリ

輸送距離及輸送材料ニ應シ部隊輸送ノ爲鐵道或ハ自動車ヲ用ヒ又水路ニ依ルヲ得ル
現時空中輸送ハ單獨者、小部隊或ハ緊急ノ補給ニ限り應用シ得ルニ過キス

輸送法如何ニ關セス晝夜部隊ノ移動ヲ敵ノ情報機關及間諜ニ對シ秘匿スルコト最モ緊要ナリ故ニ視察ニ對スル偽裝軍紀ハ指揮官ノ絕對努力スヘキ事項ノ一タリ航空機關ノ發達、情報機關ノ完成及火炮射程ノ増大ト共ニ軍隊ノ警戒及奇襲實施ノ可能性ハ此偽裝軍紀ニ關スルコト大ニシテ偽裝ハ右目的ヲ達成スル爲實ニ主要ナル保證ヲ與フルモノナリ

鐵道輸送

八十三、鐵道輸送ハ諸兵種ニ適用ス其能力大ニシテ建制ヲ保持スルノ利アリ時宜ニ依リ準備ヲ要求シ乗車下車ノ爲メ殆ト常ニ行軍及集合ヲ要求スヘシ一般ニ乗車、下車ノ爲大ナル時間ヲ要ス即チ一師團ノ爲二乃至三日、一軍團ノ爲五乃至六日以下ナルコトハ稀有ナルヘシ

大部隊ノ鐵道輸送ハ相當大ナル距離（即チ軍團ニ在リテハ百吉米以上、師團ニ在リ

テハ七十五吉米以上)ノ移動ニ非レハ適當ナラス長距離ノ移動ニ在リテハ絶對的ニ鐵道輸送ヲ必要トス

鐵道輸送實施間各部隊ハ固有ノ手段ヲ以テ敵航空機ニ對シ自ラ掩護スルヲ要ス

自動貨車輸送

八十四、自動貨車ニ依ル輸送ハ柔軟性大ナルヲ特性トス然レトモ一般ニ運轉ヲ嚴格ニ規正スルヲ要シ、器材及人員ノ疲勞ニ依リ其能力ニ制限ヲ有ス其他大距離ノ輸送ヲ實行スル時ハ大部隊ノ建制ヲ分割スルノ不利アリ

自動車輸送ハ鐵道輸送ヲ補助スルヲ原則トシ之ニ代ルコトハ殆ト例外ニシテ而カモ近距離ニ於テ行フモノナリ

此ノ輸送ハ歩兵及其戰鬥器材並輕戰車ノ輸送ニ適用スルコト最モ多シ砲兵ノ爲ニモ亦等シク使用セラルヘシ但車輛ト同時ニ輸送セラルル輓馬數ハ極メテ制限セラルルモノトス

聯隊大行李及其他ノ行李ハ路上行軍ヲナスモノトス

自動貨車ヲ左ノ範圍内ニ使用スルハ一般ニ有利ナラス

輕戰車 十吉米以下

徒步部隊 二十吉米以下

砲兵 六十吉米以下

水路輸送

八十五、水路輸送ハ運河、河川、海上ニ於テ一岸ヨリ他岸ニ實施スルモノトス

運河上ニ於テハ多數ノ水門ヲ通過セサルヘカラサルヲ以テ其實施緩慢ナリ海上或ハ

航行自由ナル河川ニ於テハ著大ナル能力ヲ有ス若シ大部隊(例ヘハ大隊)ノ輸送ノ爲ニ整備セラレタル舟筏ヲ有シアルトキハ殊ニ然リトス

第二款 行軍

通則

八十六、陸路行軍ハ實施部隊ヲシテ多少大ナル疲勞ヲ感セシム故ニ行軍ハ各部隊周到ナル注意ヲ以テ準備シ規正スルヲ要ス

行軍部署、縱隊ノ編成、發進、道路ノ選定等ハ主トシテ敵ト觸接スル以前ナルカ或ハ編成セラレタル戰線ノ掩護下ニ在リテ行進スルカニ從ヒ差異アリ
前項何レノ場合ニ於テモ行軍部署ハ敵ト離隔スル距離ニ關ス

觸接前ニ於ケル行軍

八十七、敵ニ遠キ場合

敵ヲ去ルコト數日行程ナルトキ行軍部署ハ行進ヲ容易ナラシメ且行軍間部隊ノ編制的結合ヲ保持シ徒勞ヲ避ケシムルヲ主眼トス軍司令官ハ各軍團ニ其編組、將來ノ任務ヲ顧慮シテ道路網ヲ配當ス軍直屬部隊ハ軍司令官自ラ其移動ヲ規定シ或ハ行軍ノ爲メ軍團ニ配屬ス

自動車隊ハ一般ニ二乃至三日毎ニ大躍進ヲ行ヒ移動スルモノトス

軍司令官ハ著陸場ヲ顧慮シ軍及軍編組内ノ大部隊所屬航空部隊移動ニ關スル諸件ヲ規定ス、此移動ハ少クモ四十吉米ノ躍進ヲ以テ十分ナル地形ナクシテ全部隊ヲ前進セシムル能ハサル場合屢々生スヘシ此ノ場合ニ在リテハ軍司令官ハ狀況ヲ顧慮シ

移動ノ緊急順序ヲ定ム

軍團ハ師團ヲ併列シテ行進スルヲ原則トス然レトモ軍團三乃至四師團ヨリ成ルトキハ一般ニ一乃至二師團ヲ第二線トナス、軍團直屬部隊ハ某一師團ノ進路ニ集團シテ跟隨シ或ハ第一線各師團ノ後方ニ分屬ス、行軍部署ハ直轄部隊ヲシテ十分獨立セシメ且行進間所要ノ方向變換ヲ爲シ得ル如ク規定ス

師團ハ師團ニ配當セラレタル地域又ハ道路ヲ有效ニ使用スル爲メ一又ハ數縱隊トナリテ行進ス

此ノ全行軍期間屢々夜行軍ヲ強ヒラル晝間行軍ヲ實施スル場合指揮官ハ敵飛行機ノ視察ニ對抗スル爲所要ノ部署ヲナス

八十八、敵ニ近キ場合

長射程砲兵ノ威力圈内ニ入りタル縱隊ハ精神的效果大ナル敵ノ妨碍射撃ニ暴露スヘシ

此ノ時ヨリ大部隊ハ接敵行進ヲナス

部隊ハ首要ナル道路特ニ敵飛行機ノ監視スル道路ヲ避ケ諸道路及小徑ヲ利用シ要スレハ路外ヲ行進ス

砲兵ハ時機到來セハ一ハ自己ノ警戒ヲ確實ニシ他ハ遲滯ナク歩兵ノ戦闘ニ加入スルニ必要ヲ顧慮シ迅速ニ戦闘ニ加入シ得ル如ク部署スルモノトス戰場ニ必須ナラサル部隊ハ總テ後方ニ殘置ス

各級指揮官ハ縱隊數ヲ増加シ配備ノ縱長ヲ減少スルコトニ努ム
停止又ハ行進中ノ各縱隊ハ地上警戒並ニ空中脅威ニ對シ監視セサルヘカラス

八十九、敵ノ直前ノ場合

戦闘距離内即チ各種口径砲ノ射距離内ニ入ルヤ軍隊ノ行動ハ戦闘ノ目的ヲ以テ自己ノ有スル兵力ノ大部ヲ集結シ且ツ配置スルヲ目的トス此行動間大部隊ハ展開ヲ完了ス

戰線形成セラレ之ノ掩護下ニ於ケル行軍

九十、戰線ヨリ遠キ場合

安全ノ度大ナルヲ以テ諸般ノ事項ハ總テ軍隊ヲ休養スルコトヲ主眼トセサルヘカラス

此カ爲各兵種各別ノ道路ヲ利用セシメ以テ全道路網ヲ十分利用スルヲ有利トス、總テノ場合ニ於テ建制ヲ分割セサル如クシ必要ニ應シ迅速ニ大團隊ニ編合シ得ル如クスヘシ

戰線ノ近傍ニ有力ナル器材ヲ有スル飛行隊存在スルトキハ屢、夜行軍ヲ爲ササルヘカラス

九十一、砲兵ノ射程内ニ入りタル場合

行動ハ凡テ敵ノ奇襲ヲ避クル條件ヲ以テ實施セラルルト雖モ敵ハ多數ノ砲兵ヲ活動セシメ且迅速ニ其火力ヲ集中シ得ル状態ニ在リ

晝間移動ヲ命セラレタル部隊ハ微弱ナル小部隊ニ區分シ充分ナル縱長ヲ採リ敵ノ地上觀測ニ遮蔽シタル道路ヲ使用スル如ク行動スヘシ

又一方行動中ノ部隊ヲシテ敵ノ晝間爆撃隊ノ射撃ヲ避ケシムル如ク手段ヲ講ス

大部隊ノ移動スル地域附近ハ成ルヘク一時的ニテモ敵飛行機ヲ行動セシメサルヲ要ス

第三款 駐 軍

駐軍ニ關スル部署ハ軍隊ヲシテ徒勞及缺乏ヲ避ケシメ且戰術上ノ狀況ニ應シ凡テノ休養ヲ良好ナラシムル如クス

舍 營

九十二、敵ニ遠キ場合軍隊ハ宿營地域内ニ舍營ス而シテ宿營地域ハ大部隊ニ配當セラ
ルル行軍地域ト一致スルヲ原則トス、軍隊ハ當時ノ情況ニ適應スル如ク住民地ノ資
源ヲ配當セラル縦隊ハ其行軍長徑ニ應スル縦深ニ道路近傍及之ニ沿フテ停止ス之ニ
依リ軍隊ハ行進路ヨリ側面運動ヲ爲スコトナク有利ニ休宿スルヲ得ヘシ、其他縦隊
ノ諸部隊殆ト同時ニ宿營地ニ到著シ同時ニ出發シ得ルヲ以テ其ノ行軍全能力ヲ利用
スルヲ得ヘシ

軍團ノ宿營命令ハ主要ナル部隊（師團、軍團直屬部隊、諸廠及縦列）ニ宿營地ヲ配

當ス、師團長ハ部下諸隊ノ舍營區ヲ決定ス

軍隊ハ戰術的連繫ヲ破ラサル如ク宿營ス

村 落 露 營

九十三、敵ノ近傍ニ於テハ縦隊ノ長徑ヲ減少スルヲ以テ宿營地域ノ縦深モ亦減少シ村
落露營ヲ爲スヲ定規トス

宿營地域ノ縮小ハ大縦隊ノ後尾部隊ヲシテ過勞ヲ避ケシムル爲メ漸次ニ之ヲ行フ

此ノ場合進路ニ近接スル住民地ハ遺憾ナク最大限ニ使用セラルヘシ軍隊ハ住民地内

ニ宿營シ或ハ其近傍ニ露營シ以テ其資源ヲ利用スルモノトス

迅速ニ武器ヲ取ルヘク命セラレタル部隊ハ緊急舍營ヲナス

露 營

九十四、敵砲兵ノ射程内ニ於テハ軍隊ハ分散セル隊形ヲ以テ宿營ス而シテ軍隊ノ大部
ハ露營ヲナス

露營地域ハ戰術上ノ狀況及地形ニ關ス露營ハ多クノ場合敵眼ニ遮蔽シ、軍隊ヲ集合

シ且行動容易ナル如ク選定ス

各部隊ノ探ルヘキ隊形ハ戰術上連繫ヲ保持シ且速ニ大部隊ニ編合シ得ル如ク定ム、然リト雖露營部隊ハ空中爆撃ノ損害ヲ制限スル爲十分分散セシムルヲ要ス

露營ハ鐵道、道路ノ交叉點、制高地ノ附近等ヲ避クルヲ原則トス而シテ一般ニ敵飛行機及砲兵ノ目標トナリ易キ地點ヲ避クルモノトス

九十五、駐軍及行軍ニ於テ晝夜敵飛行機ノ偵察ニ對シ大ナル集團ノ存在ヲ秘匿スル如ク十分周密ナル豫防法ヲ講スヘシ各兵種ハ空中防禦ノ爲所要ノ手段ヲ探ルヲ要ス

第四章 會 戰

第一款 通 則

九十六 戰鬪ノ目的ハ敵ノ有形及無形上ノ戰鬪威力ヲ破碎スルニ在リ攻勢トハ敵ヲ陣地ヨリ驅逐シ其配備ヲ打破シ其武力ノ破壊ヲ續行スルニ在リ防禦トハ敵ノ攻撃ヲ擊退スルニ在リ

攻撃戰鬪ヲ指導スルニ當リ戰鬪目的ニ依リ指揮官ハ正面ノ若干部分ニ於テ防禦ヲ命スルコトヲ得

攻勢タルト防禦タルトヲ問ハス會戰ノ狀態ハ諸方面ニ戰鬪ヲ生シ此ノ戰鬪タルヤ各所ニ於テ激烈ノ度ヲ異ニシ且同時ニ或ハ繼續的ニ行ハルルモノナリ、指揮官ハ情況ニ適應セル會戰計畫ニ基キ以上述ヘタル戰鬪ヲ惹起シ、培養シ且連繫セシムルモノナリ、此ノ如クシテ指揮官ハ戰鬪ニ自己ノ個人的動作ヲ感セシメ且戰鬪ニ統一の性質ヲ帶ハシム、蓋シ戰勝ハ此ノ統一の動作ニヨリ得ラルルモノナリ

九十七、奇襲ハ奏效ノ主要ナル一要素ナリ指揮官戰鬪計畫ニ於テ爲シ得ル限り屢々奇襲ヲ實施スル如ク努ム

奇襲ハ敵ヲシテ其ノ火力及豫備隊ヲ良好ニ使用スル能ハサラシムル如ク戰鬪ヲ強制スルモノトス

一般ニ奇襲ハ諸準備ノ秘匿及不意ノ攻撃開始ニヨリ獲得セララルヘシ且情況之ヲ許セハ砲兵ノ準備射撃ノ短縮ニ依リ其效果ヲ大ナラシム其他敵ヲシテ我

ニ對抗スルコトヲ困難ナラシムル爲豫メ戰線ノ若干部分ニ戰闘ヲ實施シ以テ敵ノ豫備隊ヲ牽制シ且抑留スルヲ有利ナリトス

第二款 會戰ノ概況

九十八、攻撃戰闘ハ少クトモ初期ニ於テ其戰闘カ行動中ヨリ開始シタルカ滯陣状態ヨリ開始シタルニ依リ其外觀ヲ異ニスヘシ

敵ト離隔セルトキ戰闘ハ搜索及觸接ニ依リ端緒ヲ開キ觸接ニ次テ第一線部隊戰闘ニ加入シ次テ攻撃ニ移ルモノトス

攻者敵ニ近接シ敵兵若シ防禦シ在ラサル時ハ敵ハ迅速ニ塹壕ヲ構成シ尙漸次之ヲ改修シテ之ニ掩ハレ攻者ニ對抗シ且其歩砲火ノ連繫ヲ計ルヘシ、攻者攻撃前進スルヤ相當威力アル築城ニ會シ且一般ニ兵力漸次増大シ來ルヲ以テ之カ奪取ニハ通常大ナル火力ヲ以テスル戰闘ト機動トヲ要スヘシ攻者ハ終ニ敵カ主力ヲ以テ防禦セントスル主抵抗陣地ニ會スヘシ此陣地ノ攻撃ニハ所要ノ兵力器材ヲ展開スル爲某期間ノ準備ヲ要ス、攻者ノ攻撃準備ノ爲使用スヘキ時間ハ敵ヲシテ又其陣地ヲ強固ナラシム

ル時間ヲ與フヘシ故ニ指揮官ハ將來ノ豫想ニ於テ此ノ點ニ著目スルヲ要ス

攻撃スヘキ敵陣地堅固ニ編成セラレ換言セハ充分時間ノ餘裕ヲ得テ編成セラレ、單ニ良好ナル射擊計畫ノミナラス、堅固ナル掩蔽部及副防禦ヲ備ヘタル強固ナル工事アル時ハ攻撃ハ特ニ威力大ナル器材ヲ要シ其準備ハ常ニ大ナル時日ヲ要スヘシ

攻撃功ヲ奏スルヤ勝ヲ制シタル部隊ハ擊破シタル敵ト緊密ナル觸接ヲ保持シ且猶豫ナク之ヲ急追シ整頓スルコトヲ得サラシム再ヒ防禦陣地ニ衝突スルヤ指揮官ハ新ニ攻撃ヲ實施スル爲部隊ヲ集結ス

故ニ攻撃戰闘ハ連續スル力行ニシテ準備ノ爲缺クヘカラサル停止時間ニ次テ相應ニ長キ戰闘期間アルモノトス

敗退セル敵既ニ抵抗力ヲ失ヒ戰闘ヲ斷念セハ追撃ヲ開始ス追撃ハ尙戰闘シ得ル全軍隊特ニ騎兵、飛行機ノ行フ事業ナリトス

滯陣間ニ於テハ彼我兩軍ハ永ク相對峙ス故ニ防禦築城ハ特ニ堅固ナルモ之ヲ偵知スルヲ得ヘク攻撃準備ハ豫メ長ク計畫スルヲ得ヘシ

此ノ場合攻撃戰團ハ突撃ヲ以テ開始ス

陣地突破セラレントスルヤ敵ハ後方ニ編成セラレタル陣地上ニ於テ更ニ抵抗スルニ至ルヘシ而シテ之カ奪取ノ爲ニハ大ナル兵力ヲ使用セサルヘカラス、顛覆セラレタル地形ヲ經テ兵員器材ヲ前進セシメ之ヲ展開スルニハ相應ニ大ナル時間ヲ要スヘシ敵ノ數線陣地ヲ突破スルヤ爾後戰團ハ滯陣間ニ非ル場合ト同様ニ實施セラル

九十九、防禦戰團ヲ指導スル爲指揮官ハ先ツ所謂抵抗陣地ヲ決定ス抵抗陣地ハ前哨陣地ニ依リ掩蔽セラルルヲ要則トス

他ノ陣地ハ抵抗陣地敵手ニ落ちタルトキ尙戰團ヲ連續スルヲ得ル爲其ノ後方ニ編成セラル

防禦戰團ノ指導ハ火力ト防禦陣地ノ利用トヲ調和スルニ在リ而シテ防者カ敵ノ攻撃ヲ打破シ陣地ヲ保持スルハ威力大ニシテ且各種ノ効力ヲ有スル火力ニ存ス

指揮官ハ戰團ノ爲抵抗陣地上ニ於テ其全力ヲ使用ス敵兵該陣地ニ侵入セハ逆襲ニ依リ敵ヲ撃退ス、逆襲功ヲ奏セス諸陣地ヲ奪取セラレタルトキハ後方ニ豫メ構築シ且

適時之ヲ占領セル陣地ニ於テ戰團ヲ再ス開

百、攻守兩勢ヲ問ハス近世戰團ハ長時日ヲ要シ且軍隊迅速ニ消盡スルヲ以テ特性トス

此ノ時日ノ長短ハ各種ノ要素先ツ武器ノ威力ト工事ノ堅固ナルヤ否ヤニ關ス兵員ノ消耗ハ戰團ノ悲惨、受ケタル損害及耐ヘ來リタル疲勞ニ依ルモノトス

故ニ指揮官ハ戰團ノ要求スル努力ヲ保持スル爲多數ノ豫備隊ヲ必要トス之ニ依リテ戰團ノ調節ヲ計ルト同時ニ戰團ヲ爲シタル部隊ヲ交代スルヲ得ヘシ

第三款 會戰ノ要素

百一、戰團指導ト同様會戰ノ指導ニ於テモ指揮官ハ左記主要ナル戰團要素ヲ顧慮シ其決心ハ之等ノ要素ヲ各種ノ程度ニ判斷利用スルモノナリ

火 力

軍隊ノ價值

土地編成及交通ノ狀態

器材ノ威力

瓦斯、煙、地雷

其他指揮官ノ意志ノ獨立不羈ハ注意ニ値ス而シテ地形及大氣ノ狀況ハ作戰ニ甚大ナル關係ヲ有スルモノトス

火力

百二、火力ハ戦闘ノ有力ナル手段ニシテ攻撃ハ火力ノ前進セルモノニシテ防禦ハ火力ノ停止セルモノナリ

歩兵火ハ小銃、自動兵器竝ニ隨伴兵器ヲ以テ近距離、中距離ニ活動シ且戰車ニ依リ増援セラル

砲兵火ハ各種火砲ノ性能ニ依リ中距離及遠距離ニ活動ス

飛行機ハ爆彈及自動兵器ノ彈丸ヲ戰場ノ全縱深ニ投擲ス其火力ハ遠ク攻撃セントスル敵ノ後方機關及交通線ニ到達スルヲ以テ敵ヲ遠方ニテ攻撃スルヲ得ヘシ

射撃ノ效果ハ有形無形上同時ニ及ホシ得ヘシ而シテ之ニヨリ必死地帯ヲ成形シ部隊ハ大ナル損害ヲ被リ全ク無能トナリ且土地ニ膠著スルニ至ル又材料ハ悉ク破壊セラ

レ築城ハ顛覆セララルモノトス

各級指揮官ハ火器ノ精度ヲ確實ナラシメ且之ヲ監督シ、絶エス火力ヲ培養シ且歩、

飛行機ノ火力ヲ連繫セシメテ射撃ノ效果ヲ最大限ニ發揚セシムルノ義務ヲ有ス

戦闘ノ效果ハ各兵種ノ特性ヲ各別ニ利用スルモノニ非スシテ指揮官カ之ヲ規正シ且組織的ノ方式ノ下ニ全機關ノ火力ヲ緊密ニ協調セシムルニ依リテ得ラルルモノトス

軍隊ノ價值

百三、戰爭ニ於テ軍隊ノ價值ハ攻撃及防禦ノ能力ニ依リ秤量セララルモノナリ而シテ其價值ハ訓練ノ度、精神狀態 特ニ指揮官ノ能力及其ノ團結ノ鞏固ナルニ關ス

軍隊ノ價值如何ニ關セス火力ハ軍隊ノ損耗ヲ迅速ナラシム故ニ指揮官ハ所望ノ時期ニ於テ戦闘ニ參與シタル部隊ヲ交代シ速ニ再編成ニ注意スルコト緊要ナリ

之ニ反シ攻撃防禦ニ於テ手段ヲ盡シ絶エス敵ノ損害ヲ迅速ナラシムルヲ特ニ有利ト

レタル一手段ニ過キサルモノトシテ一ト度狀況許スニ至レハ直ニ復舊セサルヘカラ
ス

シク自己ノ軍隊ノ精神上ニ注意セサルヘカラス

之カ爲戦争ノ第一會戰ノ結果ハ特ニ重要ナリ其ノ結果良好ナランカ戰鬪兵ノ精神ヲ
刺戟シ指揮官ニ犯スヘカラサル威嚴ヲ與ヘ軍紀緊肅スヘシ、幸福ナル緒戰ハ軍及軍
司令官ノ周圍ニ國ヲ擧ケテ信賴スルノ念ヲ生セシメ且將來ノ戰局ニ對シ有望ノ觀念
ヲ充溢セシムヘシ

故ニ第一會戰ニ際シ軍隊ヲ最モ有利ナル條件ノ下ニ戰鬪ニ加入セシメ且成シ得ル限
リ軍隊ニ有形上ノ支援特ニ第一ニ威力アル火力ノ支援ヲ與フル如ク必要ナル手段ヲ
講スルヲ絶對必要トス

軍隊ヲシテ常ニ面識アル指揮官ノ隸下ニ置クコト必要ニシテ指揮官ハ軍隊ヲ、軍隊
ハ指揮官ヲ識リ以テ最良ノ結果ヲ得ルモノトス

故ニ指揮ハ編成的連結ヲ尊重スルコトニ努ムヘク之カ破壊ハ狀況ニ依リ強制セラ

ス

百四、此等ノ調和ヲ計ル上ニ於テ指揮官ハ戰況ノ及ホス影響及敵ノ軍隊ニ於ケルト等
特ニ軍團ニ於テハ常ニ固有ノ師團ヲ配屬スルヲ有利トス

土地ノ編成及交通ノ狀態

百五、土地編成ハ攻撃防禦ノ諸狀況ニ於テ必要ナリ而シテ築城ハ滯陣ニ於テ最大限ニ
發達ス

築城編成ノ目的ハ射撃ノ效果ヲ最有效ニシ、指揮官ヲシテ最良ノ觀測所ヲ得セシメ
且適切ニ調和組織セル射撃計畫ヲ障礙ト土地トニ緊密ニ適應セシメ其他通信、運動
及補給ヲ容易ナラシメ尙敵眼敵火ニ對シ軍隊ヲ掩護スルニ在リ

土地編成ノ要素左ノ如シ

視界

障礙ト連繫セル射撃配置

交通、通信

掩蔽

陣地ノ編成トハ所命ノ土地ニ此等ノ要素ノ使用ヲ調和スルヲ云フ攻撃及防禦ニ於テハ射撃威力ヲ大ナラシムルト共ニ後方トノ交通状態（鐵道、道路、小徑、交通壕）ヲ改善シ軍隊ニ機動力ヲ附與スルコト必要ナリ

器材

百六、器材ノ豊富ハ各兵種ヲシテ其火力ヲ最大限ニ發揚スルヲ得シム尙多數ノ通信ヲ設備シ迅速ニ良好ナル交通ヲ築設シ障礙物及掩蔽物ノ築設ヲ容易ナラシムルヲ得ヘシ軍隊必要ナル材料ヲ豊富ニ準備スルトキハ其價値ヲ増大スヘシ

瓦斯、煙、爆破

百七、瓦斯ハ兵員ヲ戰闘スル能ハサラシメ或ハ覆面ヲ使用スルノ已ムナキニ至ラシメ戰闘的價値ヲ減少セシムル手段ナリ瓦斯ハ土地及物體ニ猛毒ヲ散布シ廣大ナル地帯ヲ長ク敵ノ近接ニ對シ妨碍ス、制壓力ハ著大ニシテ特ニ砲兵ニ對シテ然リトス瓦斯ハ毒瓦斯彈トシテ使用セラルルコト最モ多ク敵陣地奪取ノ爲メ煙幕トシテ發射

器ヨリ放射セラルルコト稀ナリ

大氣ノ状態ハ毒瓦斯ノ必要ナル效果ニ大ナル影響ヲ及ホスヘシ

煙ノ使用ハ敵ノ觀測所ヲ盲目ナラシメ、攻撃部隊ノ配置ニ就ク動作、其ノ出發、前進ヲ掩蔽スルモノトス、煙ハ戰車ヲ敵砲兵ニ對シ陰蔽スル爲使用ス

地雷ハ滯陣正面ニ於テ使用ス、地雷ハ敵ノ前進工事ヲ顛覆シ且地下接敵作業ヲ逆擊

スルニ用フ、其精神的效果ハ爭フヘカラサルモノナリ

然レトモ地雷戰ノ効果ハ僥幸的ノモノニシテ稀有ノ場合ニ其努力及損失ニ比例スル

モノナリ

第五章 軍ノ會戰

其一、攻撃

第一款 緒言

百八、軍ハ戰略機動ノ基礎的單位ナリ

軍司令官ハ作戰ノ準備及實施ヲ自ラ指導シ軍團長ニ方針ヲ與ヘテ軍團ノ行動ヲ協力セシム

軍司令官ハ高等統帥ヨリ敵ニ關スル一般ノ情報及命令ヲ受領ス即チ左ノ如シ

作戰ノ目的

作戰間ニ於ケル軍ノ任務

一般前進方向及作戰地境

交通

各種配屬部隊、材料

之等ノ要件ニ基キ軍司令官ハ作戰計畫ヲ立案シ左ノ如ク指示ス

一般ノ企圖及到達スヘキ第一目標

航空機及騎兵ニ與フル任務及觸接ニ關スル訓令

軍ノ行軍部署及軍團ニ配當シタル作戰地境

軍砲兵及各種豫備隊ノ區分

搜索

百九、飛行隊及騎兵ハ軍司令官ニ豫想スル遭遇地帯及戰鬥ヲ交フルノ態勢ニ在ラサルヘカラサル地帯ヲ決定スルニ足ル情報ヲ呈供ス

軍偵察飛行隊ハ遠距離搜索ニ任シ晝夜ヲ問ハス視察ニ依リ活動シ爲シ得ル限り寫眞撮影ニ依リ之ヲ完全ニシ且確證スルモノトス晝間、飛行隊ハ指示セラレタル進路ニ從ヒ大高度ヲ飛翔シ戰線ノ前方大距離ニ行動ス軍カ孤立セサルトキハ各軍ノ偵察飛行隊搜索地域ハ注意シテ決定スルモノトス同時ニ軍ノ驅逐隊ハ敵飛行隊ノ搜索任務ノ妨碍ニ任ス騎兵ハ飛行隊ノ偵察ヲ完成シ飛行隊ヨリハ近距離ニ行動スルモノトス騎兵ハ前方ニ搜索隊ヲ出ス戰鬥ニ依リ情報ヲ獲得セサルヘカラサル如キ場合ニ於テ主力ハ之等ノ部隊ヲ支援シ得ル如ク準備シアルヘシ而シテ騎兵ハ先ツ敵ノ外形ヲ搜索シ且之ト觸接ヲ保持スルモノトス

部署

百十、最初ノ部署ニハ爲シ得ル限り計畫セル機動ノ骨子ヲ含有セシムルヲ要ス之ヲ以テ此ノ部署ニ依リ軍隊ノ區分及縱長配置ヲ規正ス

軍ノ部署ノ概要左ノ如シ

第一線軍團、敵ト觸接シタル後指揮官ヲシテ銳意戰鬪ヲ遂行セシムル爲メ充分ナル戰鬪正面ヲ保持セシム

第二線軍團及各兵科部隊、豫備隊ヲ編成シ且機動ヲ行フ、外翼又孤立軍ノ部署ハ時宜ニ依リ戰鬪正面ノ延伸ヲ準備シ且暴露セル側面ヲ掩護スル準備ニ在ルヲ要ス作戰間警戒完全ナル爲軍ハ集結セラルルコト緊要ナリ換言セハ各部隊ハ敵トノ離隔ノ度ニ應シ自己ノ集結ニ要スル時間ヲ決定シ此ノ期間内ニ於テ戰鬪ニ加入シ得ル如キ狀況ニ非ルヘカラス、軍隊ノ部署ハ以上ヲ顧慮シテ決定セラル

軍集結シアラサルトキ指揮官ハ最前方部隊ニ要スレハ軍ヲシテ良好ナル條件ノ下ニ集結シ得シムルノ任務ヲ附與ス

部署ハ情況ニ應シ配置ノ變更ヲナシ得ル如ク柔軟性ヲ有セサルヘカラス戰鬪ノ時

機接近スルヤ軍司令官ハ爲シ得ル限り戰場ヲ有利ニ選定スル爲地形ノ特性ニ應シ部下軍隊ノ移動ヲ行フ

之ヲ以テ敵ニ遠キトキノ部署ハ廣正面ニ互リ且ツ縱長ニ區分スルヲ得ヘシ此ノ縱長配置ハ方向ノ變換、包圍動作及側面掩護ノ目的ニ能ク應スルモノナリ其ノ他軍隊ノ行進ヲ容易ナラシメ且疲勞ヲ減少スルノ利アリ是軍ノ作戰地域内ノ道路網及宿營地ノ資源ヲ十分利用シ得レハナリ

敵ニ接近スルヤ軍隊ノ部署ヲ閉縮シ殊ニ縱長ヲ短縮シテ最モ遠隔セル部隊カ適時戰鬪ニ加入シ得ル如クス

滯陣正面ニ於ケル部署ハ攻撃準備隊形ニ外ナラス而シテ最初ノ突破ヲ直ニ擴張セサルヘカラス

作戰方向

百十一、軍司令官ハ高等統帥ヨリ十分遠隔セル目標ニ對シ軍ノ攻撃ノ軸心タルヘキ一般攻撃方向ヲ指示セラルルモノトス軍司令官ハ絶エス軍ヲシテ此方向ヲ保持セシム

ルノ義務ヲ有シ且之ヲ敷衍シテ軍團ニ命スルモノトス機動實施間所命ノ運動軸外ニ出ツル軍團アルトキハ軍司令官ハ漸次諸軍團ヲ舊軸方向ニ招致シ或ハ軍全般ヲシテ所命ノ方向ヲ保持スル爲ノ手段ヲ講ス例ヘハ戰線ニ第二線軍團ヲ挿入スルカ如シ

戰 闘 正 面

百十二、攻撃正面大ナルニ從ヒ攻撃ノ成果ハ益々大ナルモノトス

軍司令官ハ目標ニ到達スルニ必要ナル出發線（釋者曰ク出發線トハ我國ノ攻撃準備ノ位置ニ相當スルモノナリ）ヲ決定ス次テ軍團ニ任務ヲ與ヘ出發線ヲ配當ス、軍司令官ハ出發線上ニ於ケル戰闘正面ト少クモ同一ノ攻撃正面ヲ終始保持スル爲増援及側面ニ向ツテスル運動ヲ豫定ス蓋シ若シ軍隊ノ正面漸次縮少セハ敵砲兵ヲシテ火力ヲ集中セシメ之カ爲メ攻撃力ヲ消耗シ遂ニ攻撃ヲ停止セサルヘカラサルニ至ラシムルヲ以テナリ

一般ニ軍團カ大ナル努力ヲ要スルニ從ヒ狹少ナル正面ヲ配當スルヲ原則トス是レ之ニ依リ軍團ニ一層前方ニ突入スル手段ヲ與フルモノナレハナリ

第二款 觸接ノ保持及戰闘開始

百十三、情報及地形ノ研究ノ結果軍司令官ハ左記事項ヲ決定ス

敵カ陣地ニ據レルトキハ敵ノ抵抗ヲ爲ス地帶

敵カ行動シアルトキハ有利ナル戰闘ヲ求メ得ル地帶

然レトモ決定的部署ヲ取ルニ先チ情況ヲ正確ナラシムルヲ要ス而シテ此ノ正確ハ觸及戰闘開始ニ依リテ得ラルルモノトス

觸接ノ保持

百十四、陣地ニ據レル敵ト觸接スル目的ハ敵ノ堅固ニ編成セル抵抗線ヲ明確ナラシムルニ在リ

行動中ノ敵前ニ於テハ敵ノ行進正面ヲ明ニシ其ノ正面前ニ火線ヲ成形スヘキ部隊ヲ前進セシメ主力ヲ掩蔽シテ戰闘部署ニ就クヲ得シムルヲ目的トス

觸接ハ漸進的ニ行ハル觸接ハ先ツ騎兵ノ行動ニ始マリ騎兵ハ敵ノ外形ヲ明ニス、此觸接ハ成ルヘク遠距離ニ於テスルヲ有利トス而シテ如何ナル場合ニ於テモ觸接ハ先

ツ第二線軍團ノ主力ヲシテ敵砲兵ノ奇襲ヲ受ケサラシムル爲充分前方ニ於テス此ノ任務達成ノ爲騎兵ハ時宜ニ依リ諸兵種ヨリ増援セララルコトアリ
次テ觸接ハ第一線軍團ノ前衛ニ依リ確實ニセラル此前衛ハ騎兵ヲ支援交代シ且情況ニ依リ制壓スル能ハサリシ局部的抵抗ヲ擊破シ或ハ騎兵カ抑制シ能ハサリシ敵ノ前進部隊ヲ拒止ス

觸接後軍驅逐飛行隊ハ大部隊所屬航空隊ニ行動ノ自由ヲ得シムルコトヲ主任務トシ同時ニ敵ノ航空偵察隊ヲ制壓スルニ努ム

戰鬪開始（釋者曰ク緒戰ノコトナリ）

百十五、敵ト觸接セシ以後第一線軍團長ハ軍團戰鬪配備ノ第一梯隊タル前衛ノ火力ヲ増援ス軍團長ハ各軍團ノ作戰地境內ノ戰鬪指導ヲ自ラ實施ス

既ニ得タル一般ノ情報、敵ノ反對動作ノ強弱及軍司令官ヨリ受ケタル命令ニ從ヒ各軍團長ハ軍團ノ戰線加入並ニ戰鬪法ヲ規定ス

第一線軍團ノ此ノ行動ハ某要點ニ對シ或ハ全正面ニ對シ行ハル若シ此ノ行動ニシテ敵ノ抵抗ヲ打破スル能ハサルトキハ軍團ハ敵ノ抵抗線ヲ明確ニシ且軍展開ノ爲メ正面ヲ堅固ニ編成スヘシ

軍司令官ハ自ラ軍團ノ行動ニ注意シ當初ヨリ軍一般ノ展開ニ必要ナル要點ノ保持ヲ明確ニスル等之ニ干涉シ要スレハ軍砲兵ヲ使用シ且必要ノ場合軍團ノ作戰地境ヲ修正ス

此等初期ノ行動ノ全體ハ戰鬪ノ第一ノ行爲ニシテ即チ戰鬪開始ナリ
相觸接セル滯陣正面ニ於ケル戰鬪開始ハ既ニ實施セラレアルモノナリ然レトモ或ル場合ニ在テハ攻撃發進ヲ有利ナラシムル爲準備行動ヲ必要トスルコトアリ

第三款 會戰指導

百十六、觸接及戰鬪開始ハ軍司令官ヲシテ漸次其作戰ヲ明確ナラシメ、抵抗ヲ破碎スルニ努力スヘキ敵線ノ部分ヲ決定シ且軍ノ一般展開ヲ遂行スルヲ得シムルモノトス情報ノ到著スルニ從ヒ軍司令官ハ所要ノ第一線軍團ヲ増援ス特ニ軍砲兵司令官ノ意見具申ヲ受領シ軍團長ノ隸下ニ砲兵豫備ノ一部ヲ加ヘ且軍砲兵ノ任務ヲ定ム

軍司令官ハ尙後方ニ在リタル軍團ヲ第一線ニ出シ、第二線ニ殘置セル部隊ニ要スル砲兵ノ必要ヲ顧慮シ所要ノ増援ヲナシ且軍豫備ノ位置ヲ定ム

同時ニ軍司令官ハ後方ノ整理ヲ監視シ各部ノ配置ヲ確實ニシ且所要ノ彈藥及器材ヲ招致ス

之等ノ處置ハ軍ノ有スル全兵力及器材ヲ眞ニ必要ナル期間内ニ戰場ニ集結スルヲ目的トス

以上ノ處置ハ軍司令官カ全兵力ヲ以テ決定的戰勝ヲ得ントスル方向ニ行フ攻撃ヲ成立セシムルヲ目的トス

其他ノ全正面ニ對シテモ攻撃ヲ行ヒ軍ノ主攻撃ヲ支援スヘシ（釋者曰ク助攻ニ關シ述ヘタルモノナリ）而シテ之カ攻撃實施ニ於テハ主力ノ攻撃ト何等差別ナキモノニシテ攻撃ハ比隣部隊ニ整頓スルノ必要ナク猛烈ニ前進スルモノトス但シ其ノ使用スヘキ兵力並ニ攻撃正面ニ關シ差異アルヘシ

戰鬪廣大ニシテ且長キニ亘ル時ハ軍司令官ハ機動ノ目的ヲ以テ戰線ノ異リタル部分ニ逐次有力ナル攻撃ヲ指導スルコトアリ

百十七、攻撃實施ハ爲シ得ル限り奇襲ニ出ルヲ要ス、此ノ目的ノ爲使用スヘキ方法ハ既ニ述ヘタル所ナリ即チ準備ノ秘匿及情況ニ依リ砲兵準備射撃ノ短縮之ナリ、砲兵準備射撃ハ時宜ニ依リ多數ノ戰車隊及有力ナル飛行隊ノ使用ニ依リ省略セラルルコトアリ

準備砲撃ノ有無ニ關セス攻撃ハ全砲兵團ノ掩護下ニ發進スルモノトス飛行隊ハ爆撃ヲ實施シ同時ニ機關銃ヲ以テ敵ヲ射撃シ歩兵ヲ誘導ス、歩兵ハ敵ノ逐次ノ抵抗ヲ打破シ至短時間ニ敵ノ防禦配備ヲ瓦解セシメ、敵砲兵ノ主力ヲ奪略スルコトニ努メツツ前進ス

攻撃進展スルニ從ヒ連絡確實ヲ缺キ各兵種相互ノ支援緊密ナラス各種ノ困難ハ戰鬪兵ノ前方ニ生起スヘシ茲ニ於テ各部隊ノ任務ト指揮官ノ意圖トヲ詳知セル下級指揮官ノ獨斷ハ甚大ナル效果ヲ發揚スヘキモノナリ

百十八、戰鬪ノ各期ニ亘リ軍司令官ハ軍砲兵ヲシテ軍團及師團砲兵ノ戰鬪ヲ増援且擴

張セシメ、戰鬪飛行隊ヲ戰鬪ニ加入セシメ殊ニ軍豫備ノ戰鬪加入ニ依リ戰況ヲ推進セシム軍司令官ハ此ノ豫備ヲ適當ニ區分シ且希望スル決戰地帯ニ適時之ヲ使用シ得ル如ク漸次接近セシム諸部隊戰鬪ニ加入シタルトキハ軍司令官ハ自己ノ權限内ニ於テ各種ノ方法ヲ講シ再ヒ軍豫備ヲ編成スルコトヲ努ムヘシ然レトモ戰勝ヲ得ル爲豫備隊ヲ戰鬪ニ使用スルヲ要スルトキハ最後ノ一兵ヲモ戰線ニ投入スルコトニ躊躇スヘカラス

上述ノ如クシテ軍司令官ハ戰鬪ヲ指導シ又絶エス共同目的ニ向ツテスル下級部隊ノ獨斷專行及意志ノ協力ヲ確實ナラシム、又會戰ノ奏效ニ缺クヘカラサル指揮ノ統一ヲ計ルノミナラス、計畫及實施ニ當リ其人格ヲ大ニ銘刻セシメサルヘカラス

百十九、攻撃スヘキ陣地堅固ナル場合（第九十八ニ於テ説明セシ如シ）ニ於テハ攻撃ハ特別ノ困難ニ遭遇シ之カ爲特種ノ處置ヲ要ス

觸接シアル前衛ハ其ノ主力ヲシテ不意ノ戰鬪開始ヲ避ケシムル如ク戒慎シテ行動ス

接敵ハ一般ニ夜間ニ於テシ以テ軍隊ヲシテ敵ノ豫メ標定セル地區ニ於テ遠距離遮斷射撃ヲ被ラシメサル如クス

攻撃ハ物質的準備ヲ要シ之カ爲ニハ長時日ヲ要ス、攻撃ハ特ニ有力ナル砲兵ノ多數ヲ使用シ而カモ彈藥豊富ニシテ之カ展開ハ正確ニ規正セラレ且射撃準備ノ周到ナルヲ要ス

砲兵ハ多少長期ニ亘ル準備砲撃ヲ行ヒ物質的障礙ヲ排除シ防者ノ射撃機關ヲ破壊シ以テ歩兵ノ爲攻撃路ヲ開設ス、軍司令官ハ此ノ準備時間及實施ニ關スル一般條件ヲ決定ス

其他主ナル目標ヲ奪取スル爲重戰車隊ヲ使用スルヲ有利トス重戰車隊ハ準備砲撃間砲兵ノ破壊シ能ハサリシ敵ノ工事ヲ破碎スヘシ

攻撃實施ノ爲軍司令官ハ詳細ナル訓令及明確ナル命令ヲ下ス、此ノ訓令及命令ノ目的トスル所ハ全努力ヲ緊密ニ協力セシメ、奪取シタル陣地ヲ保持スル爲特種ノ處置ヲ講シ且戰果擴張ノ爲正當ナル豫定ヲ計畫スルニ在リ

奇襲ハ攻撃奏效ノ重要ナル手段ナリ砲兵ノ大ナル準備砲撃ヲ要スル場合ニ在リテモ歩兵ノ突撃時機ヲ適當ニ選擇シテ奇襲ニ努ムルヲ要ス

百二十、滯陣間ヨリ起ル攻撃戦闘ハ彼我久シク相對峙シ且接近セル觸接状態ヨリ起ルヲ以テ攻撃ハ最初ヨリ突撃ヲ以テ開始セラル

敵ノ配置ヲ正確ニ知得セルコト及吾第一線軍隊ノ確實ナル掩蔽ヲ受クルコトトハ豫メ長時日ニ亘リ攻撃準備ヲ計畫スルコトヲ得ヘシ又奇襲ノ利點ヲ獲得スル爲敵ノ注意ヲ喚起セシムルコトナク攻撃準備ヲナスコトニ努力スヘシ

滯陣ニ依リ敵陣地強固トナリアルヲ以テ敵線ヲ動搖シ且之ヲ打破スル爲逐次ノ攻撃ヲ必要トシ又敵ノ損耗ニ乗シ決定的ニ之ヲ突破スル爲長時日ヲ要スルコト屢、ナリ

第四款 戦果ノ擴張

百二十一、奏效ハ土地ノ決定的占領ニ依リ確證セラル然レトモ一般攻撃間當然タル土地ノ占領ヲ以テ戦闘ノ終期トナスヘカラス、獲得シタル成果ヲ直ニ發展擴大スルハ

ヲ潰亂ニ陥ラシメ且其ノ勢力ヲ恢復スルコトヲ妨クル爲必要ナリ

此目的ノ爲戦闘シ得ル第一線部隊及騎兵ハ前進運動ヲ繼續シ航空機其前方ヲ追撃ス、其ノ第一ノ任務ハ敵ト觸接ヲ保持シ若シ之ヲ失シタルトキハ直ニ之ヲ恢復スルニ在リ

騎兵ハ敵ノ空隙或ハ翼ニ向ヒ行動シ敵ノ退却線ヲ超越スルコトニ努ム

飛行機ハ直ニ敵ノ退却線ニ向ヒ攻撃シ其射撃ニ依リ敵ノ縱隊及輜重ノ行動ヲ困難ナラシムルコトヲ努ム、其他戦線ノ後方ニ於テ秩序整然タル部分ヲ攻撃目標トナスコトアリ飛行隊ハ之等攻撃ノ爲低空飛行ヲナシ機關銃、爆彈ヲ以テ攻撃シ之ヲ潰亂シ且敵ノ機動性ヲ全ク破壊スルコトヲ努ム

敵若シ新陣地ニ停止セハ猶豫ナク新陣地ノ偵察ヲナス、軍司令官ハ既ニ其兵力ヲ前方ニ移動シ始メアルヲ以テ爲シ得ル限り迅速ニ新攻撃實施ノ爲之等ノ兵力ヲ集結ス且同時ニ豫備隊ヲ新ニ區分スルモノトス

百二十二、戦闘敗退スルヤ指揮官ハ既ニ占領セル地歩ヲ確保シ且砲兵組織ノ掩護ヲ計

リ以テ此ノ敗戦ノ波及ヲ制限スヘシ

指揮官ハ疲勞大ナラサル部隊及砲兵ノ掩護下ニ軍隊ヲ整頓シ且最モ苦境ニ立テル部隊ヲ收容シテ迅速ニ之カ再編成ヲ完ウス

彈藥及兵員ヲ更ニ完全ニシ以テ成ル可ク速ニ再ヒ攻勢ヲ取ラサルヘカラス

其二、防禦

第一款 防禦編成

百二十三、防禦威力ハ火力ノ組織、土地ノ編成及豫備隊ノ使用ニ關ス各部隊ハ縦長ニ編成セラル

此等ノ要件良好ニ實施セラレ指揮官ノ計畫正確ニシテ且意志堅固ナルトキ軍ハ初メテ攻者ヨリ小ナル兵力ヲ以テ抵抗シ戰勝ニ導クコトヲ得ヘシ

防禦計畫

百二十四、軍司令官ハ其使用シ得ル時間ニ應シ相應ニ詳細ナル防禦計畫ヲ立案ス此ノ計畫ハ左記事項ヲ確定ス

軍ノ任務

各種防禦陣地

軍ノ一般部署

第一線軍團ノ任務及作戰地境

軍砲兵、軍航空隊、軍騎兵ノ任務

隣接軍トノ連絡

側面掩護ノ方法

軍豫備ノ位置

此ノ計畫ハ又作業ノ緊急順序ヲ定ム且要スレハ將來ノ増援及抽出ニ關シ記述ヲナス

軍司令官ハ各部ノ編成、用法ヲ定ム

防禦手段ノ實行ヲ確實ナラシムルニ要スル時間ハ搜索及前哨ニ依リテ得ラルヘシ

前哨ノ任務ハ訓令又ハ命令ニ依リテ示ス

防禦陣地

九二

百二十五、抵抗陣地ハ軍ニ示サレタル任務ノ範圍内ニ於テ地形特ニ障礙物、觀測所及掩蔽物ヲ最モ有利ニ使用スル如ク經始ス

抵抗陣地ハ陣地最前線ノ前方ニ編成スル有力ナル火網及一連ノ障礙物ヲ有シ該線ノ前方ニ於テ攻撃ヲ破碎シ且如何ナル滲入動作ヲモ妨碍スルニ在リ、陣地ノ内部ハ之ヲ突破シテ進入シ來ル攻者ノ前面ニ連續セル火網ヲ編成シ得ル如ク整備ス

抵抗陣地ハ多數且便利ナル交通路アルヲ要ス、射撃設備ヲナスヘキ土地ハ觀測所ヨリ分離シ且之ニ依リ監視セララルヲ要ス

百二十六、前哨陣地ハ抵抗陣地ノ前方ニ在リ其目的ハ敵ノ突入部隊ノ第一ノ衝突ニ對シ抵抗陣地ヲ警戒シ且軍ヲシテ戰鬥部署ヲ探ルノ餘裕ヲ得シムルニ在リ其他同陣地ハ抵抗陣地ヲ敵歩兵火及塹壕砲兵火ニ對シ掩蔽スルヲ要ス

彼我相觸接シテ停止スルヤ前哨陣地ノ外緣線ハ情況及軍司令官爾後ノ企圖ニ依リ決定セララル

百二十七、抵抗陣地敵ノ爲突破セラレタル場合ヲ豫想シ數線陣地（第二、第三陣地等）ヲ後方ニ整備ス、該陣地ハ同時ニ準備射撃ニ依リ制壓セラレサル如キ距離ニ離隔スルヲ要ス漸次後方陣地ハ抵抗陣地ノ如ク編成スルコトヲ努ム

百二十八、斜交陣地ハ抵抗陣地及後方陣地上ニ斜交シ且依托スル如ク經始セラレ突破シテ口ヲ制限シ直ニ戰線ヲ連續セシムルモノナリ、而シテ此ノ陣地ハ抵抗陣地ヲ突破シタル敵ノ側面ニ向ヒ逆襲スル爲出發線ヲ爲ス、該陣地カ抵抗陣地ノ後方ニ於ケル豫備隊ノ運動ヲ妨碍セサル如ク特別ノ配置ヲ採ルヲ要ス

百二十九、數線陣地ハ軍司令官ヲシテ要スレハ之ヲ使用シテ機動ヲ可能ナラシムルモノナリ

軍司令官ハ前哨陣地ヲシテ敵ノ攻撃ヲ擾亂セシムルニ用ヒ又主抵抗ヲ此ノ前哨陣地上ニ或ハ第二第三線陣地上ニ於テ試ムルヲ得

情況上右ノ諸動作ヲ必要トスル時ハ適時之ヲ決定シ且詳細ニ準備シ置クモノトス防禦ノ主要ナル要件ハ指揮官ヨリ一兵卒ニ至ルマテ各、其ノ位置及任務ヲ熟知シ且

警報ノ練習ニ際シ之等カ確實ニ實施セラルルヤヲ確認スルヲ要ス
最後ノ時期ニ防禦ノ部署ヲ修正スルハ最モ危険ナリ

部 署

百三十、戰鬪前各部隊ハ縱長配備ヲ取り前哨ノ掩護下ニ於テ各部隊ヲシテ休憩セシメ
又所要ノ工事ヲ實施セシム敵ト遠隔セル時ニハ要スレハ騎兵及時宜ニ依リ警戒支隊
ヲ前哨陣地ノ前方ニ出シテ敵ト觸接ス

前哨陣地ノ兵力ハ監視ヲ確保シ且軍司令官ノ前哨ニ與ヘタル任務ヲ達成スル爲眞ニ
缺クヘカラサル最小限トス

百三十一、第一線軍團ノ主力ハ抵抗陣地上及其直後ニ位置シ所要ノ時機ニ戰鬪位置ヲ
占領シ得ル如クナラシム

戰鬪ニ方リテハ各部隊ハ先ツ抵抗陣地ノ緣端要スレハ其内部ニ連續セル火線ヲ編成
シ之ヲ培養シ或ハ補填スルコトニ任ヌ又各部隊ヲ縱長ニ配置シ以テ損害ヲ減少シ、
火線ノ恢復ヲ容易ニシ且逆襲ノ實施ヲ可能ナラシム

百三十二、軍團豫備及軍豫備ハ抵抗陣地ノ後方ニ梯置セラル此等豫備隊ハ此陣地ノ完
全ヲ維持スル爲迅速ニ戰鬪ニ加入シ得ル如ク部署ス

軍司令官ハ若干ノ場合ニ於テ後方陣地ノ重要ナル支撐點ニ小ナル警備部隊ヲ配置ス
ルコトヲ得

百三十三、軍司令官ハ任務ニ基キ軍團ノ作戰地境、陣地ノ區劃、交通及豫想スル敵ノ
攻撃方向ヲ決定ス又各陣地上ニ於テ各軍團ノ連絡及隣接軍トノ連絡ヲ確實ニス若シ
軍カ一翼ニアルトキ各陣地ノ側面ハ築城或ハ豫備隊ヲ以テ掩護シ得ル如ク部署ス

軍團ヲ併列スルハ防禦及其指揮ノ實施ヲ良好ナラシム、作戰目的ニ於テ特ニ攻勢移
轉ヲ豫期セハ豫備隊トシテ建制ノ一軍團ヲ保有スルヲ有利トス

百三十四、砲兵モ亦戰鬪ノ各期ニ亘リ連續的ノ火力ヲ及ホシ得ル如ク縱深ニ梯次スヘ
シ而シテ其主ナル集團ハ吾抵抗陣地帯ニ掩護セラレ敵ノ集合及出發地帯（前哨陣地
ノ前方一、五〇〇乃至二、〇〇〇米）其他前哨陣地上及抵抗陣地ノ内部ニ活動シ得サ
ルヘカラス

若干中隊ハ一時前方ニ陣地ヲ占領シ遠距離遮斷射撃及側防ヲ有效ナラシムルコトヲ得

豫備タル大團隊ノ砲兵（釋者曰ク第二線軍團ノ砲兵ノ如シ）ハ一時假リニ抵抗陣地ノ後方ニ在ル後方陣地上ニ位置セシムルヲ得

會戰準備

百三十五、軍司令官ハ軍團長ニ豫想スル敵ノ攻撃法及自己ノ戰鬪ヲ指導スヘキ大方針ヲ指示ス

軍團長ハ抵抗陣地ノ完全ヲ計ル爲部下軍隊ノ使用及各種火力ノ組織ヲ規正シ且要スレハ占領セラレシ陣地ノ一部ヲ恢復スル方法ヲ計畫ス、主抵抗陣地ノ防禦ハ其絶對任務ニシテ之カ保持ヲ確實ナラシムル爲全力ヲ使用スルコトヲ豫想セサルヘカラス

軍砲兵司令官ハ軍砲兵ノ一般使用計畫ヲ軍司令官ニ意見具申ヲナシ且部下軍砲兵隊ノ戰鬪ニ關スル命令ヲ附與ス

豫備タル大部隊ノ指揮官ハ爾後ノ任務ニ關スル偵察ヲナシ且部下ヲシテ所命ノ作業ニ從事セシム

百三十六、會戰準備ハ前哨及砲兵ノ直接掩護下ニ實施セラル此準備間軍司令官ハ敵ノ計畫ニ關シ偵察スルコトヲ努ム

之カ爲偵察飛行隊ヲ使用ス而シテ軍司令官ハ整然タル偵察計畫ヲ立テ且要スレハ敵カ攻勢ノ目的ヲ以テ大規模ニ集結シタル戰鬪飛行隊ノ攻撃ヲ免レシムル如ク必要ナル手段ヲ講スルモノトス

密接ニ觸接シアラサルトキハ騎兵ニ依リ情報ヲ蒐集シ又俘虜ヲ得ル爲ノ行動ヲ行ヒ偵察ニ任スルモノトス

其他軍司令官ハ破壊、擾亂、遮斷射撃及空中爆撃ニ依リ敵ノ計畫ヲ齟齬セシム又毒瓦斯ヲ使用スルコトヲ得

第二款 會戰指導

百三十七、軍司令官カ防禦ヲ威力アラシメ且大ナル抵抗力ヲ保有セシメンニハ爲シ得

ル限り準備ヲ完成スルニ在リ

會戰間軍司令官ハ其砲兵射撃ノ運用及豫備隊ノ使用ニ依リ戰鬪ニ干涉ス

全戰鬪期間軍司令官ノ冷靜ニシテ執拗ナルコトハ全兵員ヲシテ抵抗陣地ニ於ケル戰鬪ヲ持續シ且戰勝ノ意志ヲ強固ナラシムルモノナリ

百三十八、敵攻撃準備中ナルノ報ニ接スルヤ軍司令官ハ敵カ其攻撃部署ヲ探ルニ先チ有力ナル遮斷射撃ヲ交通路及前進路ニ對シテ實施シ以テ敵ヲ奇襲ス

攻撃切迫スルヤ軍司令官ハ攻撃準備妨碍射撃ヲ命ス此ノ射撃ノ目的トスル所ハ攻撃發進ニ先チ敵ノ部署ヲ擾亂スルニ在リ、攻撃準備妨碍射撃ハ敵ノ歩兵、砲兵及既ニ偵知シ得タル主要ナル指揮機關即チ指揮官ノ位置、觀測所、中央電話通信所等ニ對シ實施シ且同時ニ若干ノ遮斷射撃ヲ連續實施スルコトヲ得

遮斷射撃及攻撃準備妨碍射撃ハ多大ノ彈藥ヲ消費スヘシ故ニ軍司令官ハ其補給能力ニ應シ此等射撃ノ繼續時間及諸條件ヲ決定ス之等諸條件中射撃開始ハ軍團長及師團長之ヲ命スルコトヲ得

百三十九、攻撃準備妨碍射撃ノ實施ニ拘ハラズ敵攻撃ヲ開始スルヤ砲兵ノ支阻射撃開始セラル此射撃ノ目的トスル所ハ攻撃發進ノ瞬時ニ於テ敵ヲ破碎スルニ在リ而シテ本射撃ハ先ツ前哨陣地ノ前方次テ抵抗陣地前ニ指向スルモノニシテ要スレハ抵抗陣地ノ内部攻者ノ侵入セル諸點ニ對シ實施ス、此射撃ハ敵砲兵ノ制壓射撃及交通遮斷射撃ト連繫セシムルヲ有利トス然レトモ此時期ニ於ケル砲兵ノ主要ナル目標ハ敵歩兵ニシテ之ニ對シテハ砲兵ハ集團的效果ヲ得ル如クスルモノトス
防禦陣地前ニ於ケル砲兵ノ支阻射撃ニ更ニ増加スルニ歩兵ノ自動兵器ヲ以テスル火網ヲ以テス此歩兵ノ火網ハ所望ノ時期ニ正確ニ且猛烈ニ開始シ得ルモノナリ
以上ノ射撃ニ關セス敵ノ攻撃部隊障碍及彈幕ヲ超越前進セハ防者ノ歩兵ハ火力及自兵ヲ以テ接戰ニ任シ、逆襲ニ依リ奪取セラレタル土地ヲ恢復ス

百四十、瞬間的逆襲ハ一般ニ敵ノ秩序ヲ復舊スルニ先チ第一線部隊ヲ以テ實施スルモノトス、此ノ逆襲ヲ實施スル小部隊ハ直ニ行動シ得ル如ク準備ヲナス、其ノ行動ハ豫想シ得ル諸種ノ狀況ニ就テ研究ヲ經且實施ハ自動兵器ノ射撃ヲ以テ支援セラルル

抵抗陣地ニ大ナル破口ヲ生シタルトキハ大規模ノ逆襲ヲ實施ス此逆襲ハ豫備隊ヲ以テ行フ之カ爲豫備隊ヲ逆襲配置ニ就カシメ砲兵ヲ以テ準備射撃ヲ行ヒ爲シ得レハ戰車隊ヲ使用シテ行フモノトス又逆襲ハ師團長及軍團長最小ノ時間ヲ以テ計畫シ準備完全スルヤ直ニ決行スルモノトス、其ノ實施法ハ攻撃ノ爲記述シタル原則ニ準シ指導シ且擴張セラルルモノトス

數軍團ノ正面突破セラレタル場合ニ於テ戰況ヲ回復スルハ軍司令官ノ任務ニシテ同官ハ直接豫備隊ニ命令ヲ下シ且其破口ノ周圍ニ在ル諸部隊ノ行動及火力ヲ協同セシメテ戰況ノ回復ヲ計ル

逆襲ヲ待ツ間戰鬪中ノ部隊ハ地形ヲ利用シ且完全ニ現存セル築城ヲ固守シ以テ直ニ連續セル火線ヲ臨時編成スルコトヲ努ム

百四十一、攻者大ナル打撃ヲ受ケタル結果或ハ豫メ準備シタル作戰開始ノ爲軍司令官ハ攻勢移轉ノ決心ヲ爲スヲ得

此ノ運動ハ諸兵種ヨリ成ル豫備隊ニ依リ開始セララル其配置、作戰地域及目標ハ周到ナル注意ヲ以テ決定シ戰線ニ在ル全砲兵ハ其發進ヲ援助ス戰鬪ハ爾後一般攻撃戰鬪ノ要領ニ基キ指導スルモノトス

百四十二、武運拙ナク遂ニ攻者ノ勝利ニ傾クコトハ在リ得ヘキ現象ナリ全兵力ヲ使用シ盡シ既ニ戰鬪ヲ持續シ少クモ戰線ヲ保持スル能ハサルニ至ルヤ隊勢ヲ恢復シ且増援隊ヲ得ル爲十分敵ヨリ離隔セル距離迄迅速ニ軍ヲ退却セシムルコト緊要ナリ、暗黒ハ此ノ行動開始ノ爲有利ニシテ敵飛行機ノ偵察ニ對シ我行動ヲ掩蔽スルヲ得ヘシ、側面監視及比隣部隊トノ連絡ハ此際特ニ必要ナリ

軍司令官ハ後退スヘキ方向ヲ指示シ道路ヲ分配シ實施法ヲ決定ス

各縱隊ヲ休養シ補給スル爲必要ナル有ラユル手段ヲ命ス又航空部隊ノ移動ハ敵ノ脅威ヲ避ケ且同時ニ長ク戰鬪ニ參加シ得ル條件ノ下ニ實施セララルルヤヲ監視ス

又軍司令官ハ各軍團カ主力ノ退却ヲ容易ナラシムヘキ後衛ヲ設置スル線ヲ命ス此線ハ後衛カ敵ノ攻撃ニ先チ射撃準備ヲ爲シ得ル如ク敵ヨリ離隔シテ選定スルモノトス

軍司令官ハ將來掌握スヘキ直屬騎兵、尙秩序ヲ保持セル步兵殊ニ砲兵部隊ヲ直ニ後
 ∴衛線ニ位置セシメ且之カ防禦編成ヲ開始セシム

使用シ得ヘキ全航空部隊ハ其火力ヲ以テ敵ノ前進ヲ妨碍スルコトニ任ス此際軍司令
 官ヘ低空飛行ヲ以テ犠牲的任務ヲ要求スルヲ得ヘシ

敵ノ前進ヲ遲滯セシメ且補給ヲ妨碍スル爲交通路ノ破壊ヲ實施ス

第三款 交代

百四十三、交代ハ永キ防禦戦闘ニ於テ實施ス

疲勞シアル部隊ハ徹底的損害ニ先チ交代スルヲ要ス然ルトキハ戰線後方ニ滞在休養
 シタル後再ヒ戦闘ニ使用シ得ヘシ

戦闘間ノ交代ハ軍隊ヲシテ無益ノ疲勞及損失ヲ被ラシメス又戰線ノ全部ヲ危殆ナラ
 シメサル爲綿密ニ規定スルヲ要ス交代ニ先チ幕僚、幹部及偵察隊間相互ニ緊密ニ協
 調スヘシ、交代スル部長カ所命ノ戦闘指揮ヲ取ル爲ノ要件ハ明確ナラシムヘシ

第四款 機動的退却

百四十四、防禦ハ退却戦闘ヲ實施スルコトヲモ含ム而シテ退却ノ目的ハ敵ノ前進ヲ遲
 滯スルニ在リ此戦闘ハ豫メ配置セル數線ノ梯隊ニ依リ實施スルモノニシテ任務ヲ達
 成シタル部隊ハ後方梯隊ニ向ヒ退却ス砲兵騎兵及航空機ハ退却戦闘ノ爲主要ナル部
 隊ナリ、戦闘ノ中止ハ一般ニ夜間ニ行ハル

百四十五、退却運動ハ敵ヲシテ放棄セル交通路ヲ使用スル能ハサラシムル如ク行ハル
 ルヲ要ス破壊ハ總司令官ノ訓令ニ基キ實施セラレサルヘカラス而シテ破壊ハ一般ニ
 敵ヲシテ全然道路、鐵道、運河及著陸場等ヲ使用スルコト能ハサラシムル如ク正面
 及縱深ニ亘リ實施セララルヘシ

之カ爲軍工兵司令官ハ各種ノ情況ヲ推測シテ破壊計畫ヲ準備ス根本的破壊ノ爲メニ
 ハ豫メ地雷ヲ裝シ建築ニ長時間ヲ要スルモノハ之ヲ準備シ其他ノ破壊ハ單ニ考案ニ
 止ムルモノトス

破壊實施ヲ命令スルハ軍司令官ニシテ其權限ヲ部下大部隊指揮官ニ委任スルコトヲ
 得但填藥及發火ノ動作ヲ明確ナラシムル要件ヲ明示スルモノトス

第五款 滯 陣

百四十六、防禦ハ滯陣間ヲモ包含ス此滯陣間ニ於ケル軍ノ任務ハ單ニ敵ト觸接シテ戰線ヲ保持スルニ在リ

此ノ期間軍司令官ハ其擔任正面ノ防禦ヲ計畫シ且増設スルコトニ努ム各種陣地ノ工事ハ長期ニ亘ル豫想ニ基キ且築城資源ヲ盡シテ堅固ナラシム又敵ノ攻撃ヲ受クル場合良好ニ之ヲ使用シ得ル如ク作業實施ヲ命ス

上述ノ如クシテ漸次堅固ナル正面ヲ形成スルニ至ル即軍司令官ノ有スル時日及材料ノ關係ニヨリ地形ニ應シ相應ニ廣キ戰線ノ若干部分ハ永久築城ト比較シ得ヘキ價値ヲ有スルニ至ルヘシ

防禦戰闘準備及指導ニ關スル原則ハ此ノ特種ノ狀況ニ合致セシムルモノトス。特ニ防禦計畫ハ一層詳細ニ記述ス、各陣地上ノ兵力ハ築城完全ナルニ從ヒ之ヲ減少スルヲ得ヘシ、必要ノ場合ニ於テハ豫想スル敵ノ企圖ニ對シ増援ノ方法ヲ研究シタル後ニ於テハ陣地ニ止ムヘキ兵力ハ最少限ニ減少スルヲ得ヘシ

後方施設ハ豫想スル兵員ノ補給及行動ヲ容易ナラシムル如ク整備セララルヘシ軍司令官ハ敵ノ攻撃計畫ヲ暴露シ脅威ヲ受ケタル點ヲ増援スルノ時間ヲ得シムル爲各種諜報勤務ヲ利用スヘシ

其戰闘ハ第三百三十七項及其以下ニ於テ述ヘタル如ク指導スルモノナリ

第六章 軍團ノ會戰

百四十七、軍團ノ編成、資材、多數ノ増加部隊ヲ收容シ得ル能力ハ軍團ヲシテ戰闘ヲ開始シ終局迄戰果ノ擴張ヲ遂行スルヲ得セシム

其ノ戰闘正面ハ軍團長ヲシテ師團ノ行動ヲ調節シ、多數ノ砲兵ヲ以テ師團ヲ支援シ以テ機動ヲ可能ナラシム、軍團砲兵ノ現射程ハ有力ナル集中火ヲ行フヲ得ヘシ攻撃方向、戰闘正面ニ關スル一般指示及第百十一及第百十二ニ示ス所ノモノハ軍團ニモ適應スヘキモノトス

其一、攻 擊

第一款 接敵行進

百四十八、戰鬪ノ爲前進スル軍團敵加農ノ到達シ得ル地帯内ニ進入スルヤ接敵行進ニ移ル

軍團長ノ命スル接敵部署ハ敵ヨリ離隔セル場合ノ行進ニ探リタル處置及戰鬪ノ目的ヲ以テ考案セル豫想ノ部署ニ基キ決定セララルモノトス

之カ爲軍團ハ敵ト觸接後、有力ナル戰鬪正面ヲ形成スルニ足ル師團數ヲ第一線ニ部署ス第二線ニ控置スヘキ部隊ハ狀況ニ依リテ變化ス、即敵線内ニ深く且長時日行動スヘキ軍團ハ完全ナル師團ヨリ成ル有力ナル豫備隊ヲ控置スヘク外翼軍團ハ師團ヲ重疊配置スルコト屢ナルカ如シ

軍團直屬部隊特ニ砲兵ハ軍團ノ配備ニ於テ軍團長ヲシテ所要ノ時機ニ自ラ該部隊ヲ以テ戰鬪ニ干渉シ得シムルモノナリ

軍團長ハ其配備ヲ變更スル爲前衛ノ到着線及主力ノ先頭並後尾ノ到着スヘキ逐次ノ線ヲ定ム、軍團長ハ要スレハ師團ノ作戰地境、梯隊區分及直屬部隊ノ位置ヲ修正シ

以テ配備ヲ當時ノ狀況ニ合致セシム

百四十九、接敵行進間軍團長ハ敵ノ近傍及直前ニ於ケル行進ノ爲記載セラレタル各種ノ警戒手段ヲ講シ且戰鬪ノ目的ヲ以テ部下兵力ヲ漸次掌握ス

軍團ハ行進間航空隊及騎兵ヲ以テ搜索シ前衛ヲ以テ掩護ス

飛行隊ハ軍團ノ最前方部隊ノ前方ニ行動シ其ノ作戰地域ヲ組織的ニ搜索スルモノトス、受ケタル射撃ニ依リテ屢敵ノ存在ヲ偵知スルコトアリ

軍團騎兵ハ其ノ兵力微弱ナルガ爲全正面ニ亘リ遠距離偵察ヲ實施スル能ハス又軍團騎兵ハ決定的ノ情報ヲ蒐集スル爲撰定セラレタル某方面ニ其全力ヲ使用シ或ハ前衛ニ附屬セラレ近距離掩蔽ニ協力セシムルコトアリ如何ナル場合ニ於テモ此ノ騎兵ハ

軍騎兵カ軍團ノ前方ニ位置セルトキハ之ト緊密ナル連絡ヲ保持セサルヘカラス

前衛ハ近距離掩蔽ニ任ス一般ニ第一線各師團ハ一又ハ若干ノ前衛ニ依リ掩護セララル此ノ前衛ハ逐次躍進ヲ爲シ必要ニ應シ陣地ニ在ル砲兵部隊ノ支援ヲ受クルモノトス軍團長ハ前衛ノ一般任務及其ノ編組ヲ命スルコト多シ

百五十、必要ヲ生スレハ師團ノ主力ハ路外ニ出テ且地形ヲ利用シ得ル屈伸自在ノ隊形ヲ取ル但師團ハ戰鬪ノ目的ヲ以テ師團長ノ手裡ニ掌握セラル、ヲ要ス

軍團長ノ隷下ニ在ル砲兵ハ大規模ノ躍進ニ依リ梯次ニ行進ス之カ爲現出スル敵砲兵ヲ制壓スルニ足ル十分ノ砲兵中隊ヲ常ニ放列ニ有スル如クス陣地ニ據レル敵ノ直前ニ於ケル接敵行進ハ多數ノ砲兵及飛行機ノ掩護下ニ非レハ晝間實施シ能ハサル困難ナル作戰ナリ、軍團長ハ屢、主力ヲ誘導スル爲夜暗ヲ利用スルモノニシテ其行動ハ晝間ヨリ所要ノ地點ヲ占領セル前衛ノ掩護下ニ行フモノトス

第三款 觸接ノ保持及戰鬪開始

百五十一、觸接ハ軍團騎兵及前衛ニ依リテ保持セラル

陣地ヲ占領セル敵前ニ於テ前衛ハ既ニ敵ト觸接セル友軍騎兵ト會シ敵ノ第一抵抗線ヲ確認スル爲尙前進ヲ續行シ次テ主力ノ展開ヲ掩護スル爲停止ス、前衛ノ占領セル線ハ通常軍團ノ展開後占領スル正面ナリ

百五十二、軍團ノ戰鬪開始ハ觸接ノ價值ヲ更ニ明ニシ竝ニ將來主力ノ攻撃ヲ容易ナラ

シムル爲有利ナル地點ヲ奪取スルヲ目的トス而シテ之ニ任スルハ第一線部隊ニシテ其編組ハ種々差異アルモ一般ニ前衛ノ外主力ノ先頭部隊及所要ノ砲兵ヨリ成ル

軍團長ハ戰鬪開始ヲ指導シ第一線師團ニ其ノ前進方向及作戰地境ヲ命シ且ツ敵ノ抵抗ノ度ヲ判定スル爲メ攻撃ヲ命令ス

軍團長ハ其隷下砲兵ヲ以テ師團ヲ支援シ或ハ師團ニ増加ス航空隊ノ射擊任務ハ偵察任務ト竝ヒ行ヒ氣球ハ行動ヲ開始ス

同時ニ將來ノ攻撃ノ爲軍團長ハ其ノ兵力ヲ集結シ彈藥補充ニ關シ必要ノ手段ヲ講ス

軍團長ハ十分ナル兵員器材ヲ集結セル場合ノ外攻撃實施ニ轉セサルヲ原則トス

第三款 會戰指導

百五十三 軍團長ハ軍團ニ配當セラレタル地域内ニ於テ會戰ヲ指導ス軍團長ノ命令及率先躬行ニ依リ部下ニ所要ノ刺戟ヲ與ヘ確實ニ協力セシメ以テ軍團ニ與ヘラレタル任務ノ遂行ヲ企圖ス

戰鬪開始ニ依リテ得タル諸情報ト受ケル任務トニ基キ軍團長ハ攻撃部署ヲ定ム、軍

團長ハ攻撃方向或ハ要點ニ對シ兵力ノ最大限ヲ指向スル如ク主攻撃ヲ實施シ以テ奏効ヲ確實ナラシムルコトニ努ム

百五十四、攻撃ノ爲軍團長ノ與フル命令ハ主トシテ第一線師團ノ任務、砲兵及航空隊ノ任務並軍團豫備隊ノ配置ニ關スルノミトス

軍團長ハ第一線師團ニ一般攻撃方向、逐次ノ攻撃目標及作戰地境ヲ命シ、豫想セル機動ヲ良好ニ指導センカ爲戦闘間與フヘキ支援ニ關シ決定シ所要ノ増援部隊特ニ砲兵及戰車隊ヲ任務ト地形トニ應シ配屬ス、軍團長ハ師團ノ攻撃計畫ニ留意シ要スレハ展開、攻撃準備及發進ニ關スル一般條件ヲ規定ス

軍團長ハ一般ニ部下砲兵ヲ以テ對砲兵射擊及遠距離遮斷射擊ヲ確實ニシ且該砲兵ノ任務及一般ノ區分ヲ定ム、軍團砲兵司令官ハ砲兵集團ヲ編成シ要スレハ師團砲兵ノ戰鬥ヲ増援スルニ最モ適應スル如ク集團ヲ配置ス

戰鬥間軍團長ハ其砲兵火力ノ機動ヲ行ヒ且火力ノ最大威力ヲ發揮セントスル點ニ集中射擊ヲ行ヒ以テ戰鬥ニ參與ス

軍團長ハ軍團航空隊ノ用法ヲ規定ス且軍團長カ飛行隊長ニ與ヘタル決定的ノ目標ニ對スル任務ノ外戰場ヲ監視スヘキ諸條件ヲ明ニシ且着陸場過度ニ遠隔セルトキハ補助着陸場ヲ使用スヘキヲ命ス

軍團長ハ豫備隊ヲ部署シ適時要點又ハ主ナル方面ニ使用シ得ル如クス、軍團長ハ豫備隊ヲ戰線ニ加入スルニ際シ或ハ第一線師團長ノ隷下ニ屬シ或ハ豫備隊完全ナル師團ナルトキハ威力ヲ發揚セシメントスル戰線ノ一部ニ挿入ス、其ノ他ノ場合戰鬥ヲ培養スル爲軍團長ハ第二線師團ヲ使用シ疲勞セル第一線師團ト交代セシム

豫備隊ハ超越又ハ交代ニ依リ第一線部隊ノ位置ニ就クモノトス
超越トハ第一線部隊ノ前方ニ第二線部隊ヲ越進セシムルモノニシテ此ノ第二線部隊ハ攻撃ヲ續行シ中絶スルコトナシ、交代ハ陣地上ニ於テ第一線部隊ト全然交代スルヲ以テ目的トス

百五十五、軍隊敵陣地内ニ侵入スルヤ軍團長ハ破口ヲ擴大シ且戰果ヲ擴張スルコトヲ努ム

敵兵退却シツツ尙秩序アル抵抗ヲ持續スル間ハ軍團長ハ敵ヲ根底的ニ瓦解セシムル爲全手段ヲ講スルヲ要ス此ノ目的ノ爲爲シ得ル限り迅速ニ攻撃方向ニ敵ヲ壓迫シ且所要ノ彈藥及材料ヲ前進セシム

此ノ前進間前進速度ノ迅速及通信ノ困難ハ師團長ニ獨斷ヲ要求スルモノニシテ屢、軍團ノ有スル長加農砲兵隊ヲ一時師團長ニ配屬スルヲ有利トスヘシ

敵ノ新抵抗ニ會シ前進拒止セラレタルトキハ軍團長ハ所望ノ兵員器材ヲ戰場ニ招致シ且之ヲ掌握シ爲シ得ル限り短時間ニ攻撃ヲ開始ス

戰果擴張間交通路ノ復舊ハ最モ重要事タリ、軍團長ハ之ヲ軍團工兵司令官ニ命ス、軍團長ハ緊急順序ヲ命令シ且所要ノ作業隊ヲ軍團工兵司令官ニ配屬ス

攻撃奏効セサリシトキハ軍團長ハ砲兵及觸接セル部隊ヲ以テ堅固ナル掩護幕ヲ構成シ兵力ヲ整備シ、彈藥ヲ新ニ充實シ且爲シ得ル限り迅速ニ攻撃ヲ再開シ得ル如クス」百五十六、攻撃スヘキ陣地築城陣地（第九十八ニ述ヘタル如キ）ナルトキハ攻撃ハ特種ノ準備ト若干ノ注意トヲ必要トス

攻撃前航空隊ニ敵陣地ノ詳細ナル偵察ヲ要求スルヲ要ス

但此偵察ハ防禦工事自身カ正確ニ陣地ノ位置ヲ示シ且目標ヲ局限スルヲ以テ偵察ヲ容易ナラシムルコト屢、ナリ

觸接ハ既ニ指示シタル如ク實施ス（第一百五十一）

接敵ハ屢、夜間ニ於テス而シテ其前進ハ歩兵ヲシテ發進容易ナル條件ノ許ニ突擊距離迄近接スルモノトス

軍團長ハ軍司令官ノ訓令ニ基キ攻撃準備ノ諸條件ヲ規定シ且此ノ作戰間ニ於テ師團砲兵及軍團砲兵ノ擔任スヘキ任務ヲ定ム、軍團ニ重戰車ヲ配屬スルコトハ此ノ準備期間ヲ短縮スルモノニシテ從ツテ奇襲ノ効果ヲ有利ナラシムヘシ

此ノ攻撃實施ニ關シテハ一般ニ廣範圍ニ於テ各々ノ任務及努力ヲ豫メ規正スルコトヲ得ヘシ、總テノ場合ニ於テ歩兵ハ多數ノ砲兵ノ支援及掩護ヲ受ケ又豫、戰車ニ依リ隨伴セラルルモノトス

第四款 行動スル敵ニ對スル場合（註、遭遇戰）

百五十七、既述ノ全原則ハ特ニ陣地ニ據レル敵ニ對スル軍團ノ攻撃行動ニ適用スヘキモノトス

敵行動シ且自ラモ攻勢ヲ探ルトキハ遭遇戰ヲ生スルモノニシテ軍團長ハ受ケタル命令ニ依リ且戰場ノ地形ノ特性ニ鑑ミ先ツ戰團計畫ヲ定メ次テ第一線師團ニ攻撃方向及作戰地境ヲ示ス而シテ要スレハ之ヲ補足スル爲所要ノ兵力ヲ其ノ隸下ニ入ラシム

軍團ハ航空機及騎兵ニ依リ敵情ヲ明ニシ前衛ノ掩護下ニ接敵ヲナシ有利ニ戰團シ得ル如ク部署ス

騎兵敵ト觸接スルヤ前衛ハ之ヲ支援シ次テ之ト交代前進シ軍團ノ展開ヲ有利ナラシムル爲緊要ナル支撐點ヲ占領ス斯ノ如クシテ敵ノ猛烈ナル反對動作ニ依リ我主力第一線部隊ノ戰團加入ヲ必要トスルニ至ル迄前進ヲ繼續ス、此ノ時期ニ於テ前衛ハ土地ヲ固守シ戰線ヲ形成ス而シテ前衛ヲ支援シ或ハ之ニ増加スヘキ部隊ハ其線上若クハ其後方ニ展開スルモノトス

戰團開始ハ觸接ニ次テ直ニ起リ決定的ニ敵ノ動作ヲ控制シ敵ノ停止地點ヲ明確ニシ要スレハ軍團ノ戰團實施ヲ容易ナラシムヘキ要點ヲ獲得スルヲ以テ目的トス

軍團長ハ前衛ノ行動ニ從ヒ且戰團ノ緒開カルルヤ軍團作戰地境內ノ戰團指揮ニ任ス戰團開始ハ百五十二ニ述ヘシ如ク實施シ、戰團ハ爾後本攻撃ニ移ルモノトス此ノ攻撃ハ陣地ニ據レル敵ニ對スル攻撃ト同一要領ニ指導スルモノニシテ軍團長ハ爲シ得ル限り速ニ此ノ攻撃準備ヲ實施シ敵ニ先制ノ利ヲ獲得スルヲ有利トス

其二、防 禦

第一款 防禦編成

百五十八、軍團長ハ軍司令官ノ定メタル抵抗陣地保持ノ爲其全力ヲ使用ス、軍團長軍司令官ヨリ陣地一般ノ線ヲ指示セラルルヤ軍隊ノ最初ノ部署ニ必要ナル命令ヲ下ス而シテ地形ヲ偵察シタル後其防禦地域內ノ防禦編成ノ爲採リタル決心ヲ軍團ノ防禦計畫內ニ蒐録ス

此ノ決心ハ主トシテ左記諸點ヲ顧慮スルモノトス

軍司令官ノ概略決定シタル數線陣地ノ經始及編成

第一線ニ使用スヘキ大部隊、任務、作戰地境、及之ニ増加スヘキ部隊

前哨ノ任務、位置

航空隊及騎兵ノ任務

砲兵ノ一般區分及用法

工兵及鐵兵大隊ノ用法

豫備隊ノ豫想スル用法、最初ノ位置

軍團内ノ師團相互及比隣軍團トノ連絡

各部(通信、彈藥、材料)ノ用法

土地ノ編成

百五十九、土地ノ編成ハ既ニ述ヘタル原則(第百五)ニ依リテ指導ス

軍團長ハ各陣地ニ於テ實施スヘキ工事ノ緊急順序ヲ定メ且豫備隊タル部隊ノ行フヘキ作業ヲ命ス

軍團長ハ其ノ地域内ニ於テ一般交通及通信編成ヲ規定シ其實施ヲ師團及直轄部隊ニ命ス又作業實施ニ必要ナル材料ノ各部隊ヘノ到着及配當ヲ確實ニシ之ニ關シ軍團工兵司令官ニ訓令ヲ與フ

部 署

百六十、前哨ハ第一線師團ヨリ派遣ス、前哨ハ攻撃ヲ受ケタル場合退却スヘキヤ或ハ固守スヘキヤニ關シ、簡明ナル任務ヲ受ク如何ナル場合ト雖前哨ハ軍團砲兵ノ一部ニ依リテ支援セラルルモノトス

敵兵陣地前若干距離ニ現出スルヤ觸接ハ前哨ノ前方ニ於テ騎兵及時宜ニ依リ警戒支隊ニ依リテ保持セラルル此ノ警戒支隊ノ編組及任務ハ軍團長之ヲ定ム

百六十一、第一線師團ノ主力ハ抵抗陣地上ニ配置ス、其主力ハ陣地上ニ射擊設備ヲナシ其陣地ノ前方ニ一連ノ威力アル火網ヲ編成スル如ク射擊配置ヲナス

攻撃切迫セサルトキハ部隊ノ一部ヲ抵抗陣地ノ後方ニ控置シ以テ必要ノ作業ヲ實施セシメ且一層安靜ナル休宿ヲ得シム然レトモ此等ノ部隊ハ命令一下直ニ其戰鬪配置

ニ就キ得ル如ク準備シアルヲ要ス

百六十二、砲兵ハ既述第三百二十四ノ如ク縦深ニ梯置ス、軍團全砲兵隊ハ抵抗陣地前ノ
 戦闘ニ參與シ得ルノ状態ニ有ルヲ要ス

軍團長ノ隷下ニ在ル砲兵群ハ其他對砲兵射撃及遠距離遮斷射撃ニ任シ得ルヲ要ス、
 此等ノ戦闘ハ軍砲兵ニ依リ増援セラルルモノトス、軍團砲兵司令官ハ重要ナル地點
 ニ射撃ヲ集中スルコトヲ準備シ且軍團砲兵集團ヲ以テ要スル場合ニ隣接大部隊ノ援
 助並軍團カ他ノ大部隊ノ砲兵ニ要求スヘキ相互的援助ヲ講究シアルヘシ

百六十三、軍團長ハ抵抗陣地ノ後方ニ豫備隊ヲ部署シ此ノ陣地防禦ノ爲之ヲ戦闘ニ加
 入シ得ル如ク配置ス戦闘前豫備隊ノ休止位置ハ作業實施ニ便ナル如クス然レトモ攻
 撃切迫スルヤ軍團長ハ豫備隊ヲ警急ノ位置ニ招致スルモノトス

軍團長ハ軍團ノ豫備隊ヲ以テ行フ逆襲ヲ準備セシム

又軍團長ハ軍司令官ノ命令ニ依リ決定セル條件内ニ於テ第二線陣地ノ占領法ヲ研究
 セシムヘシ

第二款 會戰指導

百六十四、戦闘開始前軍團長ハ敵兵力及企圖ニ關シ偵察スルコトヲ努ム

之カ爲軍團長ハ偵察飛行隊ヲ以テ自己ノ地境内ヲ偵察セシメ且要スレハ騎兵ヲモ行
 動セシメ偵察スヘキ要點ヲ明ニシ且軍司令官ヨリ受領スル情報ト之等ノ搜索部隊ヨ
 リ受クル情報トノ調節ヲ圖ルヘシ

若シ既ニ觸接ヲ保持シアルトキハ俘虜ヲ得ル目的ヲ以テ奇襲ヲ命スルコトヲ得

敵ノ攻撃切迫スルヤ軍團長ハ軍司令官ノ規定スル條件内ニ於テ遮斷射撃或ハ攻撃準
 備妨碍射撃ノ開始ヲ命ス、要スレハ軍砲兵ニ協力ヲ要求シ且時宜ニ依リ爆撃飛行隊
 ノ協力ヲモ要求ス

百六十五、攻撃ノ爲敵兵發進スルヤ戦闘ハ第三百二十九ニ述ヘシ如ク進展ス

軍團長ハ戦闘間其砲兵火ノ運用及豫備隊ノ戦闘加入ニ依リテ戦闘ニ干渉スルモノト
 ス

軍團長ノ直轄砲兵ハ軍團砲兵司令官カ立案シ且軍團長ノ認可ヲ得タル計畫ニ基キ遮

斷射擊及攻撃準備妨碍射撃次ヲ支阻射撃ニ任ス、本計畫ハ各種ノ豫想スル戦闘ニ應
スヘキ火力ノ連繫ヲ準備セサルヘカラス

戦闘間豫備隊ハ戦線ノ一部ニ一連ノ火線ヲ編成スル爲或ハ逆襲ノ爲或ハ疲勞部隊ヲ
交代スル爲使用スルヲ得

全戦闘間軍團長ハ率先躬行部下ヲシテ抵抗陣地ヲ勇敢ニ防禦スルノ確信ヲ得シメ且
敵ノ攻勢的氣勢ヲ破壊セシム

百六十六、軍團長ハ豫メ豫備隊ノ各種ノ戦況ニ於テ實施スヘキ逆襲ヲ企畫ス、此ノ企
畫ニ於テ全抵抗陣地ノ安危ニ關スルカ如キ要點敵手ニ歸シタル時ハ速ニ之ヲ奪還ス
ル如ク顧慮スルヲ要ス

逆襲ニ協力ヲ命セラレタル豫備隊ハ之カ實施ノ爲通常師團長ノ隷下ニ入り戦闘ヲ實
施ス

然レトモ逆襲カ完全ナル豫備隊ノ一師團ヲ以テ實施セラルルトキハ軍團長ハ其實施
ヲ自ラ指揮ス、然ルトキハ此ノ師團ノ展開ヲ確實ニシ、攻撃目標及作戰地境ヲ定メ

且直接之ヲ支援スヘキ砲兵ヲ該指揮官ノ隷下ニ屬ス其他軍團長ハ此師團ノ爲自己ノ
直轄下ニ在ル砲兵ノ用法ヲ規定シ要スレハ軍砲兵及軍飛行隊ノ協力ヲ要求ス又隣接
部隊ノ戦闘ニ協力シ且各種ノ支援特ニ逆襲部隊ノ兩側ニ在ル部隊ノ射撃ノ援助ヲ計
畫ス

此師團敵ニ接近スルニ從ヒ該師團長ハ第一線ニ在ル各師團長ト連絡シ軍隊ヲ目標ニ
正對シテ展開シ且攻撃命令ヲ與フ

逆襲準備ハ師團ノ接敵行進間又ハ接敵後之ヲ實施ス、遮斷射撃ハ目標ヲ占領セル敵
部隊ヲシテ其増援隊ヨリ孤立セシムルモノトス

攻撃ハ準備完了スルヤ直ニ開始セラル而シテ逆襲ノ兩側ヲ形成スル部隊ヨリ充分ナ
ル射撃掩護ヲ受クルモノトス而シテ敵ノ攻勢移轉ニ對シ掩護スル爲有力ナル砲兵ノ
支援ヲ歩兵ニ與フル如キ特別ノ處置ヲ必要トス

百六十七、交代ハ爲シ得ル限り戦闘ノ靜穩時ヲ利用シ且一般ニ交代セラルル部隊長ノ
指揮下ニ於テ實施スルモノトス

百六十八、攻勢移轉ハ既ニ第四百十一ニ述ヘタル原則ニ從フ

退却ノ場合後衛ハ強大ナル砲兵ノ配屬ヲ受ケ且敵ノ迂回ヲ受クルニ先チ火力ノ組織ヲ行フ爲戰線ヨリ充分離隔セル地點ニ陣地ヲ占領ス、後方陣地ノ若干ハ此ノ使用ニ供スルコトアルヘシ、軍團ノ主力ハ後衛ノ掩護ノ下ニ退却シ後衛ハ任務完結スルヤ一般ニ退却ノ爲夜暗ヲ利用ス

百六十九、第九十八ニ述ヘタル如キ築城陣地上ニ於テ指導スル防禦ハ軍團長ヲシテ威カアル障碍物及強固ナル掩蔽部ヲ利用シ得ルヲ以テ第一線ニ最少ノ兵力ヲ配置シ一層大ナル豫備隊ヲ控置シ得ルモノトス
火力ノ組織カ時日ノ餘裕ヲ以テ編成セラレ且地形ノ綿密ナル認識ニ依リ一層確實トナリタル時ハ該組織ハ最大限ノ效力ヲ迅速ニ發揚スルヲ得ヘシ
敵ノ戰車ニ對スル防禦ハ特種砲兵及戰車ノ前進ヲ拒止スヘキ障碍物(地雷、斷絕部)ノ設置ニ依リテ準備スヘシ
多數且確實ナル交通線ヲ有スルハ豫備隊ノ直接戰鬥加入ノ爲有利ナリ

前哨陣地ノ編成ハ屢、此ノ陣地ニ依リ單ニ其主力ヲシテ戰鬥配備ニ就クノ時間ヲ得シムルノミナラス尙十分ナル射擊援助ヲ有スル第一ノ抵抗ヲ爲シ攻者カ本陣地ニ到着ニ先チ其ノ攻撃ヲ擾亂スルヲ得ヘシ

第七章 師團ノ戰鬥

百七十、師團長ハ諸兵種ヲ指揮シ且戰鬥ノ各期ニ互リ之ノ連繫ヲ計ル、各兵種ノ緊密ナル連繫及努力ノ一致ニ依リテ初メテ效果ヲ獲得スルヲ得ヘシ

其一、 攻撃戰鬥

百七十一、攻撃ノ決心ハ戰鬥開始ニ先チ確定セラレ且師團ニ與ヘラレタル任務ニ應スルモノトス

師團長ハ可成速ニ戰鬥計畫ノ概要ヲ立案シ其詳細ハ敵ト觸接ヲ保持スルノ間決定スルコト多シ、此時期ニ於テハ師團長ノ有スル諸情報ハ概シテ不完全ナリ、然レトモ過度ニ之カ正確ヲ希望セハ攻撃ノ爲先制ノ利ヲ失フカ或ハ細部ノ動作ノ爲メ兵力ヲ

消耗スルニ至ルヘシ

若シ軍團長ヨリ第一目標ヲ指示セラレサルトキハ師團長ハ所命ノ攻撃方向及作戰地域内ニ於テ之ヲ選定スルモノトス、而シテ之カ選定ニ當リテハ歩兵ノ前進及砲兵ノ之カ支援ニ關スル地形ノ難易、戰車ノ使用ノ能否、目標ノ戰術的價値ヲ顧慮スルモノトス

此攻撃目標ノ奪取ノ爲ニハ使用シ得ル全兵力ヲ以テ攻撃ヲ實施スヘシ

助攻ハ此ノ攻撃實施ヲ良好ナラシムルニ必要ニシテ或ハ豫メ占領スルヲ要スル重要

ノ地點ヲ奪取シ或ハ主攻撃ヲ有效ニ支持スル爲メ實施シ得ヘシ

攻撃奏效シ第一目標ニ到達セハ師團長ハ戰闘ヲシテ時機ヲ失セス進展セシムル爲一層遠距離ニ在ル目標ノ攻撃ニ移ルヘシ

第一款 接敵行進

百七十二、師團長ハ第四百四十八、乃至百五十二示シタル如ク接敵行進ヲナシ漸次戰闘ノ爲行進部署ヲ變更ス

砲兵ハ迅速ニ戰闘ニ加入シ得ル如ク準備シ歩兵ト連絡ヲ保持シ注意シテ歩兵ノ前進ニ追隨シ且爲シ得ル限り前方ニ偵察斥候ヲ推進ス師團騎兵及師團飛行隊ハ進路ヲ搜索シ單ニ敵ノ情況ノミナラス地形、交通、障礙物、遮蔽物、防禦築城等ノ性質及狀態ヲ明ニス

師團長ハ縱隊數及前進正面ノ擴張ニ從ヒ一個又ハ數個ノ前衛ヲ派遣ス

師團長ハ主力ト共ニ行進シ前衛及主力ノ逐次到達スヘキ線ヲ決定ス

百七十三、狀況要スレハ師團長ハ屈伸自由ナル集合隊形ヲ採ラシム

此隊形ハ戰闘部署ノ準備隊形ニシテ兵力ヲ掌握シ得シム、各部隊ハ師團ノ行動地域内ニ横廣及縱長ニ梯次ス之ヲ以テ各部隊ハ地形ヲ利用シ秩序整然ト行動シ且迅速ニ展開ニ移リ得ヘシ又此隊形ハ空中視察ニ對シ成シ得ル限り秘匿シ且火力ニ依ル防禦處置ヲ講シテ自己ヲ掩護スルモノトス（釋者曰ク火力ニ依ル防禦處置トハ高射砲等ノ配置ヲ謂ヘルモノナリ）此屈伸自在ナル集合隊形ハ一般ニ敵ノ近傍ニ於テ取ルヘキモノナリ（釋者曰ク佛軍師團ハ敵陣地前二十吉米ニ於テ既ニ此ノ隊形ニ移ルコト

多シ)

接敵間師團ハ目標ニ正對スルニ至ル包圍攻撃部隊ハ所要ノ時機ニ敵ニ面シテ眞直ニ展開スルニ必要ナル地域ヲ保有スヘシ

第二款 觸接ノ保持及戰鬪開始

百七十四、觸接シタル前進部隊ノ行動ハ前衛ニ依リ援助セラル、敵兵停止シアリテ而カモ其火線ニ空隙ヲ存スルトキハ前衛ハ一般ニ迂回ニ依リテ前進部隊ノ攻略シ能ハサリシ局地抵抗ヲ打破ス、一連ノ抵抗線ニ會シタル前衛ハ慎重ニ行動シ堅固ニ土地ヲ占領ス

師團長ハ前衛ノ線若クハ其後方ニ主力ヲ展開ス

百七十五、師團長ハ前衛ノ行動ニ追隨シ自ラ觸接ノ程度ヲ確カメ且之ニ關シ軍團長ニ報告ス

敵若シ前進部隊ヲ配置セルコトヲ豫想セハ狀況ヲ搜索スルコトヲ努ム此目的ヲ以テ師團長ハ爾後ノ作戰(觀測所、支撐點)ノ爲有利ニシテ且制限セラレタル歩兵ノ兵力

ヲ以テ奪取シ得ル某目標ニ對シ部分的攻撃ヲ命ス又師團長ハ此部分攻撃ノ爲準備ヲナシ且過度ニ大ナラサル火力ヲ以テ支援竝ニ兩側ノ掩護ヲ實施ス此際主力ハ戰鬪ヲ加入シ得ル如ク準備ス

攻撃效ヲ奏シタルトキハ同一ノ方法ヲ以テ射撃ト運動トヲ調和シ前進ヲ續行ス堅固ニ守備セル陣地ニ觸接スルヤ師團ヲ堅固ナル正面ニ展開シ且攻撃ノ爲各種ノ手段ヲ講ス戰鬪開始ニ於テ歩兵ハ爲シ得ル限り地形ヲ利用シ且砲兵ト緊密ナル連繫ヲ保持シツツ目標ニ向ヒ前進ス砲兵ハ此際常ニ有効ニ歩兵ヲ支援シ得ルノ状態ニ在ルヲ要ス

航空隊ハ敵ノ砲兵陣地ヲ決定シ敵ノ集合場ヲ局限シ且敵線ノ後方ノ行動ヲ搜索スルコトヲ努ム又戰鬪中ノ歩兵ト指揮官竝ニ砲兵トノ連絡ヲ確實ニス

第三款 攻 擊

戰鬪部署

百七十六、戰鬪開始ノ間師團ハ攻撃ノ爲戰鬪部署ヲ爲ス

師團ノ戰鬪部隊ハ主トシテ戰鬪線、砲兵及師團豫備ヨリ成ル

百七十七、戰鬪線ハ歩兵ノ一部時宜ニ依リ戰車及砲兵ノ小部隊ヨリ成ル、此等諸部隊ハ師團長ヨリ指示セラレタル一指揮官ノ隸下ニ入ル、此ノ指揮官ハ一般ニ師團歩兵指揮官トス

戰鬪線ノ歩兵ハ目標ニ正對シ遮蔽シテ位置ス又數梯隊ニ區分シ以テ攻撃ヲ培養シ且機動ヲ可能ナラシム

配屬セラレタル戰車ハ主要ナル目標ノ攻撃ニ參加スル爲行動可能ナル地形ヲ顧慮シテ部署ス、遠距離ヨリ敵眼ニ暴露スル地區ニ於テハ敵砲火ノ集中ニ對シ遮蔽スル爲大ナル正面ヲ以テ戰鬪ヲ開始スルコトヲ豫測スルコト必要ナリ若シ敵陣地内ニ深く進入ヲ企圖スルトキハ戰車隊ヲ數梯隊ニ區分スルコト緊要ナリ

若干ノ場合ニ於テ砲兵小部隊(中隊、小隊、獨立砲)ハ近接戰鬪ヲ以テ某抵抗點ヲ破碎スル爲一時歩兵ニ配屬スルコトヲ得然ルトキハ該砲兵ハ其歩兵ノ前進ニ近ク跟隨スル如ク準備スヘシ

百七十八、砲兵主力(前項ノ小部隊ヲ除ク)ハ歩兵ノ部署ニ一致スル如ク且亦戰況要スレハ同時ニ火力ヲ集中シ得ル如ク若干集團ニ區分セラル師團長ハ一般ニ砲兵ヲ二部ニ區分ス

一ハ直接支援ノ砲兵ト稱シ其火力ハ或ハ豫定計畫ニ基キ或ハ歩兵ノ臨時ノ要求ニ依リ近ク歩兵ニ隨伴シ得ル如クナラサルヘカラス、而シテ砲兵ハ戰鬪ノ各期ニ亘リ常ニ歩兵ノ要求ヲ満足セシムヘキ義務ヲ有ス

他ハ師團全般ノ爲ノ砲兵ト稱シ師團長ヲシテ戰鬪間要點ニ集中火ヲ指向スルヲ得シメ且掩護射撃ニ依リテ直接支援射撃ヲ補助スルコト屢ナリ

之等二個ノ砲兵區分ハ共ニ師團砲兵指揮官ノ隸下ニ屬シ砲兵指揮官ハ之ヲ區分シ且任務ヲ分配シ陣地及觀測所ヲ配當ス

一般ニ砲兵陣地ハ爲シ得ル限り前方ニ推進ス、直接支援砲兵群ハ攻撃スル方向上ニ位置ス又側射ノ效果ヲ求ムル爲隣接師團ト協調シ該地區内ニ若干中隊ノ砲兵ヲ配置スルコトヲ得

百七十九、師團豫備ハ未タ戦闘ニ加入セサル歩兵及時宜ニ依リ戰車ヨリ成ル、師團長ハ機動ノ要アリト認メタルトキハ完全ナル歩兵一聯隊ヲ豫備トシテ控置スルヲ得此ノ部署法ハ一般ニ師團カ一翼ニ位置シタルトキ取ルヘキモノトス

豫備隊ハ將來ノ用途ヲ顧慮シテ部署ス即チ攻撃ノ支援、戰果ノ擴張要スレハ戰線ノ延長或ハ暴露シタル翼側ノ掩護等ニ使用ス、或ル場合ニ在リテハ其使用ヲ待ツ間一時收容陣地上ニ配置スルコトヲ得

攻撃實施

百八十、戰鬥部署ヲ取リタル師團ハ準備完了セル後或ハ一般ニ軍團長ノ指示スル時刻ニ攻撃前進ヲナス

攻撃ハ目標ニ正對シテ明瞭ナル方向ニ前進シ且火力ノ支援ヲ受ケ又其ノ側面ヲ掩護セラレサルヘカラス

歩兵ハ指示セラレタル時刻或ハ約束セル信號ニ依リ發進ス次テ目標ニ向ヒ一般ニ躍進ヲ以テ前進ス但火力ニ依リ絶エス準備セラレ且支援セラレサルヘカラス

歩兵ハ砲兵ノ射彈ニ近ク前進シ且歩兵固有ノ兵器ヲ逐次ニ推進シテ不斷ノ支援ヲ自ラ講セサルヘカラス歩兵部隊ハ戰車ト緊密ナル連絡ヲ保持シテ戰鬥シ且其ノ運動ヲシテ地形ノ特性ニ合致セシメサルヘカラス

歩兵用飛行機ハ歩兵ノ爲メ搜索ニ任シ且歩兵ト指揮官及砲兵トノ連絡ヲ確保ス

歩兵ハ第一梯隊ノ火力ヲ最モ優勢ナラシムル如ク部署スヘシト雖モ不必要ノ損害ヲ生セシメサル爲濃厚ナル密度ヲ保ツコトヲ避クヘシ

兵力ノ増加ハ一時拒止セラレタル部隊ノ前進ヲ機動ニ依リテ容易ナラシムル爲前進容易ナル方面ニ行フヲ有利トス

此ノ如クシテ攻撃ハ其火力ヲ以テ敵ヲ粉碎シ且敵ヲシテ陣地ヲ放棄スルカ或ハ地下ニ蟄伏スルノ餘儀ナキニ至ラシメツツ地歩ヲ獲得ス敵兵尙陣地ヲ支持スルトキハ突撃ヲ行フ

百八十一、突撃ハ接戰ニ依リ確實ニ敵ヲ破碎スルヲ以テ徹底的ニ其ノ抵抗ヲ打破スルヲ得ヘシ優勢ナル火力ヲ最高度ニ發揚シ以テ突撃ヲ準備シ又突撃ニ隨伴スルモノト

ス、突撃ハ第一梯隊ニ依リテ實施セラル其他ノ梯隊ハ攻撃ヲ培養シ或ハ部隊ヲ收容スル爲成シ得ル限リ一射撃陣地ヨリ他ノ射撃陣地ニ向ヒ躍進シツツ第一梯隊ニ續行ス

突撃距離ハ地形ノ状態ニ依リテ變化ス、過小ナルトキハ敵ノ第一線ニ指向スル我砲兵ノ準備射撃ヲ妨碍シ過大ナルトキハ歩兵ヲシテ迅速ナル行進ノ後有利ナル状態ヲ以テ敵ニ接近スルヲ得サラシムヘシ

突撃ハ或ハ規定ノ時刻或ハ約束セシ信號ニ依リ開始セラル

目標ヲ奪取スルヤ突撃部隊ハ陣地ヲ掃蕩シ且集團スルヲ避ケツツ吾砲兵ノ掩護下ニ堅固ニ之ヲ占領ス、部隊ヲ整理シ、補給ヲ完全ニシ、歩砲兵火ノ連繫ヲ回復シ、通信ヲ設置シ且簡單ニ工事ヲ施ス第二次目標ヲ奪略スルマテ微弱ナル守備兵ヲ現陣地ニ停止セシムヘシ

百八十二、爾後ノ目標ノ攻撃ハ直ニ準備スルヲ要ス其ノ目標及其前地ノ状態竝ニ既ニ實施シタル努力ニ依リ同一部隊ヲ以テ攻撃ヲ續行シ或ハ部署ノ變更及新銳部隊ヲ加

入スルニ非レハ攻撃ヲ再興セサルコトアリ、交代及超越ハ戦線ノ強度ヲ減セサル如ク且一時部隊ヲ密集スルコトニヨリ損害ヲ被ラサル如ク規正スヘシ

師團長ハ要スレハ砲兵ヲ前進セシム、砲兵ハ絶エス歩兵ニ有力ナル支援ヲ與フル如ク陣地變換ヲナス

師團長ハ豫備隊ノ運動ヲ規正シ連續壓迫ノ手ヲ弛メスシテ敵ノ集結ヲ妨クル爲適時之ヲ戦闘ニ加入セシム豫備隊ヲ使用セハ戦線ヨリ後退シタル部隊ヲ以テ直ニ豫備隊ヲ再編成スルコトニ努ムヘシ

斯ノ如ク攻撃ヲ逐次次ノ目標ニ指向シツツ最終ノ目的ニ到達スルコトニ専心シ決シテ比隣部隊ト齊頭面ニ在ルノ顧慮ヲ要セス

夜間ハ其日取リタル部署ヲ修正シ戦闘セシ部隊ヲ改編シ、補給シ或ハ交代シ、奪取シタル陣地ヲ築城シ、通信ヲ設置シ且交通ヲ整備スル爲利用セラル又夜間ハ晝間通過困難ナリシ地域ヲ通過シ更ニ有利ニ攻撃ヲ實施シ得ル如ク軍隊ヲ配置スルヲ得シムヘシ

百八十三、攻略スヘキ陣地第九十八ニ述ヘタル如キ築城陣地ノ性能ヲ有スルトキハ攻撃ハ特別ノ部署ヲ必要トス

攻撃前師團長ハ正確ナル報告ヲ得ルコトニ努ム之ニ依リ師團長ハ砲兵ニ要求スヘキ破壊計畫ヲ立案シ歩兵ニ攻撃スヘキ目標ヲ明示スルヲ得ヘシ、此目的ヲ以テ主トシテ航空隊ヲシテ詳細ナル偵察ヲ實施セシメ且俘虜ヲ得ルコトヲ努ム

攻撃計畫竝ニ準備ヲ容易ナラシムル爲敵陣地及其附近ノ大梯尺ノ要圖ヲ調製セシム此ノ要圖上ニ敵ノ防禦工事、砲兵陣地、司令部、豫備隊ノ集合所、及休宿地、交通路(利用セラレアル小徑、道路)ヲ記載ス、若シ射擊圖(釋者曰ク正確ナル大梯尺圖ノ意ナリ)ヲ有スル時ハ上述ノ作業ハ極メテ簡單ナラシムルヲ得ヘシ攻撃準備及實施ニ關スル命令ハ正確ナル諸要件(特ニ砲兵ノ用法ニ關スル事項)ヲ包含セシムル爲詳細ニ記述セラルヘシ、此命令ニハ要圖ヲ添布スルコト必要ナリ

攻撃部隊ハ其前進ヲ過度ニ遅緩セシメサル爲防者ノ掩蔽部ノ掃蕩ヲ確實ナラシムル如ク區處ス、之カ掃蕩ノ爲ニハ豫メ部隊ヲ任命シ且之ニ特種兵器ヲ有セシム、此ノ

必要ヨリ某部隊ノ奪略シ得ヘキ土地ノ縱深ハ一般ニ減少ヲ免レサルヘシ、之カ爲部隊ノ交代及超越ヲ規正スルノ要アリ

百八十四、築城陣地ニ對シテハ敵陣地ノ前地ヲ掃蕩シ且重要ナル地點ヲ領有スル目的ヲ以テ小戦闘ノ實施ヲ必要トスルコトアリ

此戦闘ハ單ニ俘虜ヲ獲ル爲ノ戦闘ノ如キモ多少重要ナル小奇襲ノ性質ヲ帶フルモノトス

小部隊ヲ以テスル奇襲ハ一般ニ限定目標ノ攻撃ニシテ其成否ハ特ニ奇襲シ得ルト否トニ關ス、之カ實施ハ歩兵ノ進路ヲ開キ且奪取シタル土地ヲ領有スルノ間之ヲ掩護スル爲砲兵及飛行機ヲ使用スルコトヲ得

奇襲實施ニ方リテハ砲兵ノ掩護射撃ニ依リ防者ノ後方ニ遮斷ヲ行ヒ敵ノ増援又ハ退却ヲ絶對ニ不可能ナラシムル如クスルヲ利アリトス

第四款 戦果ノ擴張、失敗ノ場合ノ動作

百八十五、最終ノ目標ニ到着セサル間獲得シタル戦果ハ或ハ指揮官ノ命令ニ依リ或ハ

部下ノ獨斷ニ依リ徹底的ニ直ニ擴張セサルヘカラス此ノ下級指揮官ヲ指導シ且各兵種ノ連絡ヲ確實ナラシムル爲命令中ニ豫想スル機動ヲ記載シ且之ニ基キ縱長區分ヲ採ルヲ可トス

戰果ノ擴張ハ左ノ如ク實施ス

橫方向ニ於テ、正面及側面攻撃ヲ調和シ敵陣地ノ一部ヲ迂回前進シ以テ之ヲ攻略

シ破孔ヲ擴大ス

縱方向ニ於テ、側面ヲ自ラ掩護シ而モ拒止セラレタル友軍ニ攻撃ヲ規正スルコト

ナク所命ノ方向ニ前進ス、前進可能ナル部隊ヲ以テ連續前進スルハ比隣部隊ヲ救出スル爲ノ最良ノ手段ナリ

戰果ノ擴張ハ所要ニ應シ新銳部隊ヲ以テ増加セラレタル第一線部隊之ニ任スルヲ原則トス、困憊シテ奪取セル陣地ニ停止スルニ至レル部隊ハ之ヲ超越前進スル部隊ヲ射撃ヲ以テ支援シ次テ此陣地ヲ構築シタル後豫備隊トナル

戰果擴張ノ爲ノ機動ハ師團ニ命セラレタル最終目標ニ至ル迄逐次ノ躍進ヲ以テ連續

之ヲ行フ、師團長ハ此機動間砲兵カ必要ニ應シ分割セラレ且隨時歩兵ヲ支援シ得ル状態ニ在ルコトヲ監視スヘシ而シテ砲兵ノ前進及補給品ノ追隨ニ必要ナル交通路ノ整理ハ師團工兵指揮官ヲシテ之ヲ實施セシム

百八十六、擊退セラレタル敵戰鬥ヲ斷念シ且不秩序ニ潰亂スルトキハ追撃ヲ開始ス追撃ハ不斷ニシテ大膽且猛烈ナラサルヘカラス、追撃ハ第一線部隊之ヲ開始シ騎兵ハ前方ニ進出スルコトヲ努メ飛行隊ハ其ノ進路ヲ搜索ス

師團長ハ爲シ得ルヤ直ニ砲兵及戰車ヲ多數有スル前衛ヲ編成ス此ノ前衛ハ敵ノ尙抵抗ヲ持續スル局地ヲ迅速ニ迂回シ且敵カ地形ヲ利用シ兵力ノ恢復ヲ計ル爲ノ全努力ヲ絶滅スルヲ以テ任務トス

師團主力ハ之ニ跟隨シテ前衛ノ戰鬥ニ加入スル如ク準備ス、前進ヲ迅速ナラシムル爲師團主力ハ狀況之ヲ許スニ至ラハ直ニ行軍縱隊ヲ編成ス

百八十七、攻撃失敗スルヤ歩兵ハ土地ヲ固守シ更ニ指揮官カ新攻撃ヲ計畫スルカ或ハ比隣部隊ノ前進カ自己ノ行動ヲ再開セシムルカヲ待ツ、歩兵ハ最モ速ニ火網ノ編成

ヲ行ヒ土地ヲ掘開シ正確ナル狀況ヲ航空機ニ指示スル爲其戰線ヲ標示ス
砲兵ハ支阻射擊及攻撃準備妨碍射擊ヲ規正ス

攻撃ハ上級指揮官ノ命ニ依リ或ハ地區指揮官ノ獨斷ヲ以テ開始セラレ
失敗シタル攻撃ヲ更ニ開始スルニ先チ失敗ノ最大原因ヲ究ムルコト緊要ナリ、然ル
トキハ適當ナル條件ヲ以テ新攻撃ヲ實施スルヲ得ヘシ

師團若シ退却命令ヲ受領セハ第百六十八ニ規定シタル如ク實施ス

第五款 火力

各級指揮官ノ歩兵ヲ支援スル爲其有スル火力ヲ指導調和スルコトハ第一ニ專心スヘキ
事項ナリ

其一、砲兵火

百八十八、師團長ハ戰鬪各期ニ於ケル部下砲兵ノ戰鬪ヲ指導ス即チ左ノ如シ

攻撃前、障碍物ヲ破壊シ且敵ノ射擊機關ヲ絶滅シテ歩兵ノ前進ヲ準備ス

攻撃戰鬪間、歩兵ノ接近スル逐次ノ抵抗ヲ制壓シ且敵眼及敵ノ遠距離射擊ニ對シ

歩兵ヲ掩護シテ其ノ行動ヲ支援シ且ツ掩護ス

其他師團砲兵ハ戰鬪前及戰鬪間ヲ通シ若干ノ遮斷射擊ヲ實施シ且對砲兵射擊ニ參與
スルヲ得(釋者曰ク對砲兵射擊及遠距離遮斷射擊ハ軍團ヨリ以上ノ部隊ノ
砲兵ノ主任務トス、師團砲歩ハ若干ノ場合ニ之ヲ行フモノナリ)

準備砲擊

百八十九、準備砲擊ハ爲シ得ル限り猛烈ナル射擊ヲ行ヒ之カ繼續時間ハ奪取スヘキ支
撐點ノ狀態、敵ノ有形及無形上ノ狀態、戰車ノ有無及使用シ得ヘキ砲兵力ニ依リ若
干分ヨリ數時間ノ間ニ變化ス

準備砲擊ハ主トシテ敵ノ歩兵陣地及之ヲ掩蔽スル副防禦ニ對シテ實施ス

之等ノ位置ヲ正確ナラシムルコト能ハサルトキモ砲兵ハ尙攻撃ヲ準備シ其射擊ヲ以
テ奪取スヘキ目標、敵カ我攻撃ニ對シ活動シ得ル部分、豫想スル豫備隊ノ集合場及
敵砲兵陣地ヲ制壓ス

奇襲ノ利益ヲ確保セントスルトキ及多數ノ戰車ヲ有スルトキ或ハ敵兵既ニ動搖シ且
障碍物ヲ以テ良好ニ掩蔽セラレサルトキハ準備砲擊ハ至短ナラシメ或ハ省略スルヲ

得ヘシ

直接支援射撃（釋者曰ク主トシテ師團ノ野砲兵ヲ以テ行フ）

百九十、直接支援射撃ハ敵カ其ノ兵器ヲ有效ニ使用スルニ先テ歩兵ヲシテ敵ニ接近スルヲ得シム

本射撃ハ歩兵ノ運動ニ從ヒ變化シ且工事及地形ノ障礙ニ適合セシムルヲ要ス
 直接支援射撃ハ或ハ攻撃進歩上射撃ノ延伸ヲ餘儀ナクスルニ至ル迄最モ近接セル目標ヲ砲撃シ或ハ密度大ニシテ縦長深キ彈幕射撃ヲ行ヒ第一線歩兵ハ直接之ニ隨伴シ第一線停止シタルトキハ彈幕射撃モ其前方ニ固定シ或ハ上述二方法ヲ併用スル如ク實施スルモノトス（釋者曰ク上述二方法ヲ併用ストハ集中射撃ト彈幕射撃トヲ彼此併用スルノ意ナリ）

攻撃發進時ニ於ケル彈幕射撃ハ歩兵ノ前進運動ヲ誘發スル目的ヲ以テ使用スルヲ得
 攻撃若干進歩スルヤ直接支援砲兵ハ絶エス其任務ヲ遂行スル爲必要ニ應シ自ラ陣地變換ヲナス、此時ニ於テ射撃姿勢ニ在ル砲兵數ノ減少及彈藥補給ノ困難ハ一般ニ迅

速ナル集中射撃ニ依リテ歩兵ノ要求ニ應スル如ク指導セラレルヲ要ス

掩護射撃（釋者曰ク主トシテ師團ノ重砲兵及一部ノ野砲兵ヲ以テ行フ）

百九十一、掩護射撃ハ爲シ得ル限り深キ地帯ニ於テ直接支援射撃ノ效力ヲ延伸シ敵カ其火力ヲ以テ我攻撃地帯ニ活動シ得ル要點ヲ制壓ス

掩護射撃ハ戰鬥間現出スル瞬間目標特ニ逆襲部隊ヲ其集合間或ハ其發進ニ際シ捉ヘテ之ヲ射撃ス、又豫想スル敵ノ觀測所ヲ盲目トシ以テ攻撃ヲ遮蔽スルモノトス
 攻撃前進間指揮官カ我歩兵ノ正確ナル情況ヲ知ラサル時ハ掩護射撃ヲ極力發揚セシメテ歩兵ニ援助ヲ與フルコトニ努ム

歩砲兵ノ協同動作

百九十二、砲兵射撃ト歩兵ノ運動トノ協同ハ成功ノ絶對要件ナリ而シテ攻撃ノ初期ニ於テハ時刻ニ依リ之ヲ確定シ爾後歩砲兵及師團長相互ノ間ニ於ケル連絡及通信機關ノ整備ニ關スルモノトス

連絡ハ師團司令部及師團砲兵司令部ヲ絶エス同一地ニ配置スルコト及爲シ得ル限り屢々各歩、砲兵司令部ヲ合併シテ選定スルコトニ依リ得ラルヘシ、其他直接支援砲兵群ハ支援スヘキ歩兵部隊ニ連絡班ヲ差遣シ一方砲兵ニ歩兵ノ状態及要求ヲ報告シ他方歩兵ニ砲兵ノ實施スヘキ支援ニ關シ通報セシム

通信ハ各種手段特ニ飛行機、電話、無線電信（歩兵ニ裝甲無線電信車ヲ屬ス）信號及傳令ノ併用ニ依ル

百九十三、第九十八ニ述ヘタル如キ築城陣地ノ攻撃ニ際シテハ歩砲兵ノ協同動作ハ一般ニ時刻ニ依ル方法ヲ以テ實施ス

此ノ時刻ヲ以テスル方法ハ大ナル縦深陣地ノ攻撃或ハ長時間ニ亘リ實施スルコト困難ナルコト多シ

砲兵射撃ト歩兵部隊ノ前進ヲ協調セシムル爲歩兵ヲシテ築城及土地ノ状態ヨリ生スル困難ヲ打破スヘキ時間ノ餘裕ヲ與フルコト必要ナリ、此目的ヲ以テ十分明瞭ニシテ認識容易ナル逐次ノ線上ニ於テ適當ナル停止時間ヲ指定スルヲ可トス其他簡單明

瞭ナル小數ノ約束即視號通信、飛行機及無線電信ニ依ル連絡ハ戰線ノ要求ニ應シ緊急ナル場合必要ナル時刻ノ修正ヲ爲スコトヲ得セシム

其二、歩兵火

百九十四、歩兵ハ其射撃特ニ機關銃火ノ優勢ヲ圖ル

歩兵ハ火力ト戰車ノ行動トヲ調節シ以テ攻撃ヲ準備シ自ラ攻撃ヲ實施シ側面ヲ掩護シ、逆襲ヲ擊退シ、奪取シタル陣地ヲ確保ス

歩兵ハ火力ヲ梯次ニ移動シ其攻撃前進ニ不斷ノ支援ヲ與ヘ且突撃部隊ヲ最後迄推進ス

歩兵ハ十字火、斜射、側射ヲ行ヒ且地形之ヲ許セハ重疊射撃ヲ爲ス

第六款 指揮

命令

百九十五、師團ノ戰鬪命令ハ單簡ナルヘシ

蓋シ師團長カ上級指揮官ヨリ訓令ヲ受領シ部下カ實行ニ着手スル迄ノ間ハ短時間ナ

ルヲ通常トシ一方軍隊ハ適時所要ノ命令ヲ受領セサル可ラサレハナリ
 時間ノ餘裕ヲ得シカ爲師團長ハ屢、師團歩兵及砲兵指揮官ノ立會ノ許ニ主要ナル部
 署ヲ決定スヘシ、其他軍隊ヲ所要ノ期間内ニ行動ニ着手セシメ或ハ實施スヘキ作戰
 ニ關シ豫メ軍隊ヲシテ其概要ヲ知ラシムル爲師團長ハ準備命令ヲ使用スルコト多シ
 百九十六、師團ノ攻撃命令ハ主トシテ一般ノ狀況及師團ノ任務、攻撃ニ關スル一般ノ
 企圖、部署、攻撃目標並ニ砲兵及航空隊ノ任務ヲ示スヲ要ス
 其他攻撃命令ハ左記事項ニ關シ記述スルヲ要ス

攻撃戰團間諸兵種ニ課スヘキ任務(戰車隊、騎兵、工兵、鋏兵)

攻撃部隊ノ展開位置ニ就ク動作、攻撃準備ノ方法、攻撃開始時刻、隣接師團トノ
 連絡、時宜ニ依リ側面掩護ノ方法

司令所及報告收集所ノ位置、通信ノ編成

交通、補給、後送

時宜ニ依リ歩兵、砲兵ノ配置、準備砲撃ノ主ナル目標、直接支援及掩護射撃ヲ以テ

協力スヘキ攻撃前進ノ方法、現存シ若クハ實施スヘキ通信等ヲ記入シタル要圖ヲ以
 テ命令中ノ某事項ヲ明ニシ或ハ命令ニ代フルコトアリ

司令所

百九十七、近ク戰團ニ隨從スル爲師團長ハ戰團線、砲兵及師團豫備隊ト緊密ナル關係
 ヲ保持スル如ク其司令所ヲ定ム、其他師團長ハ軍團長及隣接師團長ト連絡シアラサ
 ルヘカラス、選定シタル司令所ハ近接容易ニシテ且爲シ得ル限り戰場ヲ展望シ得ル
 觀測所ノ附近ニテ且飛行機ノ着陸場ト連絡良好ナルヲ要ス
 師團長ハ直屬部下指揮官ノ司令所ノ位置ヲ決定シ或ハ認可ス
 師團司令所、師團歩兵及砲兵司令所ハ戰團間ニ於ケル指揮ヲ容易ナラシムル如ク移
 動ス、此移動間舊司令所ヲ依然存置シ通信ヲシテ一時タリトモ斷絶セシムヘカラス
 戰團間師團長及師團歩、砲兵指揮官ハ自ラ部下ノ近傍ニ至ル爲必要ナルトキハ隨意
 ニ移動スルヲ得、然ルトキハ此等指揮官不在ナルモ尙確實ニ戰團指導ヲ爲シ得ル如
 ク所要ノ處置ヲ爲ササルヘカラス

通信

百九十八 師團長ハ軍團長ノ通信ニ關シ命スル範圍内ニ於テ通信計畫ヲ定ム

通信網構成ノ原則ハ戰線ノ成ルヘク近傍ニ連絡軸ヲ設置、推進スルニ在リ部下諸隊ハ攻撃前進ニ伴ヒ該軸上ニ自ラ連絡ス、限定目標ノ攻撃ニ於テハ多數ノ連絡軸ヲ設置スルヲ得ヘシ

百九十九、前進報告收集所ハ連絡軸上ニ設置セラル師團ノ一參謀將校之ヲ指揮シ戰闘進捗、第一線部隊ノ狀況ニ關シ師團長ニ報告ス、時期ニ依リ後方ヨリ來ル通報又ハ命令ヲ第一線部隊ニ傳達スルコトヲ得

前進報告收集所ハ師團歩兵指揮官ノ近傍ニ屢々設置セラル步兵指揮官ハ之ヲ使用シ師團長ト連絡スルヲ有利トス、某場合ニ於テ收集所ハ戰場ヲ直接視察センカ爲一層前方ニ推進スルニトアリ前進報告收集所ニハ各種ノ傳達機關及人員ヲ豊富ニ配屬スルヲ要ス

第七款 行動スル敵ニ對スル場合(一)(釋者曰ク遭遇戰ノ意味ナリ)

二百、一般ニ前諸款ニ述ヘタル所ハ陣地ヲ占領セル敵ノ攻撃ニ特ニ適用スヘキ法則トス

行動中ノ敵殊ニ自ラ攻勢ノ目的ヲ以テ前進スル敵ニ會セハ師團長ハ豫メ計畫ノ大要ヲ決定シ之ニ依リテ師團ヲ戰闘セシムルヲ要ス師團長ハ特ニ戰闘ノ初期ニ關スル若干ノ部署ヲナス

師團長ハ前衛カ接敵行進間逐次占領スヘキ要點或ハ土地ノ起伏部ヲ豫メ指示ス砲兵ハ梯次ニ前進シ絶エス前衛ヲ支援シ得ル如クス、師團主力ハ師團長ノ決定シタル計畫ニ基キ有利ニ戰闘ヲ開始シ得ル如キ屈伸自在ナル隊形ヲ以テ躍進ス

二百一、前衛敵ト觸接スルヤ第七十七ニ述ヘシ如ク主方ヲシテ戰闘展開ヲ完了セシムル如ク動作ス

觸接後師團長ハ速ニ其砲兵ヲ戰闘ニ加入セシメ敵ノ動作ノ自由ヲ束縛シ且要スレハ爾後ノ師團ノ攻撃ニ有利ナル地點ヲ占領セシメ緒戰ニ依リテ得タル結果ハ逐次之ヲ報告ス

師團長ハ軍團長所命ノ時機ニ於テ有利ナル攻撃實施ヲ爲スヘク準備ヲ整フ、此攻撃ハ前款第七十六及其以下ニ述ヘタル如ク指導スルモノトス

其二 防禦戰團

第一款 防禦編成

二百二、師團長防禦ニ關スル命令ヲ受領セハ軍團長ノ決定シタル抵抗陣地全地帯ノ保全ヲ確實ニスルノ義務ヲ有ス
師團長ノ命令ハ率先躬行ニ依リ抵抗陣地ヲ最後迄保持スルノ確信ヲ全員ニ抱カシムルモノナリ

迅速ナル地形偵察ノ後師團長ハ命令ヲ與ヘ部下ヲシテ敵ノ即時攻撃ニ對抗ヒシムル如ク配置ス、軍隊ハ自己ノ占ムヘキ戰團線ノ近傍ニシテ且作業ノ實施ニ適當ナル如ク抵抗陣地上ニ位置ス、抵抗陣地ハ前哨ニ依リ掩蔽セラル

師團長ハ左記防禦計畫ヲ立案シ最初ノ部署ヲ正確且完全ナラシム

師團ノ任務

抵抗陣地時宜ニ依リ前哨陣地線ノ指示

師團ノ部署(戰團線、砲兵、師團豫備)

砲兵、工兵、航空隊ノ任務

敵攻撃ノ場合ノ指導法(前哨ノ任務、火力ヲ以テスル行動、逆襲準備)

實施スヘキ作業緊急順序ノ指示

彈藥及材料ノ補給、分配

隣接師團トノ連絡

主ナル司令所ノ位置

通信連絡

交通、補給及後送

陣地

二百三、抵抗陣地ハ地帯ヨリ成リ其全縱深ニ相應ニ發達セル築城ヲ有スルモノトス
(釋者曰ク佛國歩兵操典ノ主抵抗陣地ノコトナリ)

此陣地ノ主要ナル部分ハ主戰團線ト稱スル外縁ニシテ成ルヘク一連ノ障碍物ヲ以テ掩蔽ス、其前方ニ障碍物ト連繋シテ歩砲兵火ノ有力ナル火網ヲ編成シ敵ノ攻撃ヲ破碎ス、主戰團線ノ後方ニハ一般ニ支援線ヲ有シ第一梯隊ノ歩兵中隊ハ此ノ二線ヲ守備ス

後方ニ尙防禦工事ヲ有シ第一線聯隊及大隊ノ豫備ノ掩護ニ供ス該工事ハ豫備隊ヲ以テ第一線ヲ培養シ或ハ逆襲ノ實施ヲ容易ナラシムル如クス其他此ノ豫備隊ハ敵カ陣地内ニ侵入シ其内部ヲ占領シタル場合支阻線上ニ於テ敵ヲ拒止スヘキ先頭部隊ヲ形成ス

師團長ハ軍團長ノ指定シタル抵抗陣地ノ經始ヲ明確ナラシム

抵抗陣地ノ一般經始ハ遠距離ヲ展望シ得ル觀測所及砲兵ノ展開ニ便ナル土地ヲ一般ニ確保スルヲ要ス爲シ得ル限り大ナル天然ノ障碍ヲ利用シ敵ノ攻撃特ニ戰車ノ前進ヲ拒止ス

外縁ノ經始ハ最モ有效ニ火力ヲ發揚シ得ル如クナラサルヘカラス之カ爲敵ノ直視ニ

對シ射擊諸機關ヲ掩蔽スル爲屢、反對斜面ヲ利用シ、有效ナル側防ヲ爲シ得ル如ク經始ヲ屈折セシメ且敵カ至近距離ヨリ發進スルヲ得ル掩蔽物ヨリ離隔スヘシ

同時ニ陣地ハ豫備隊ノ行動ヲ有利ナラシムル爲其ノ位置及行動ヲ遮蔽スルニ缺クヘカラサル掩蔽物ヲ含有セシムヘシ

二百四、前哨陣地ハ爲シ得ル限り抵抗陣地ヲ掩護シ且抵抗陣地ヲシテ敵ノ塹壕砲兵ニ對シ掩蔽シ得ル如クスルヲ要ス

前哨陣地ハ抵抗陣地上ニ位置セル友軍砲兵ノ一部ヨリ支援セラレ且其後方ノ出口ハ抵抗陣地ノ火力ヲ以テ容易ニ制壓シ得ル如クスルコト緊要ナリ

前哨陣地ハ抵抗陣地ト同一ノ原則ニ依リテ構築ス然レトモ其ノ兵員少數ナルヲ以テ簡單ナル作業ヲ實施シ得ルニ過キス、又敵ヨリ圍繞セラレタル後ニ於テモ猛烈ナル抵抗ノ目的ヲ以テ屢、支撐點ヲ編成スルヲ得ヘシ

土地ノ編成

二百五、土地ノ編成ハ主トシテ射擊兵器ノ配置、障碍物ノ設置、指揮機關ノ設置及交

通路ノ整備ヨリ成ル

而シテ土地ノ編成ハ隨時防禦部隊ヲシテ有利ニ利用セシムル爲漸次ニ構築ス

歩兵ノ自動兵器ハ主戰團線ノ前地一帶ヲ制壓スルモノニシテ遮蔽シ、掩蔽シ、重疊シテ配置セラルル而シテ其ノ距離間隔ハ地形蔭蔽スルニ從ヒ益、小ナラシムルモノトス、戰鬪群ハ孤立セシメサル如ク配置スルモ之カ爲戰團線ノ密度ヲ大ニシ敵ノ視察ヲ容易ニシ損害ヲ大ナラシムルコトアルヘカラス又其ノ間隔ハ夜暗濃霧又ハ煙ヲ利用スル敵ノ如何ナル滲入ニ對シテモ十分監視シ得ル如クナルヘシ

障礙ハ攻者ヲ其防禦火ノ下ニ抑留スルモノニシテ之カ配置ハ此ノ趣旨ニ合セサルヘカラス

障礙ノ經始線ハ射擊兵器ノ陣地ヲ敵ニ察知セシメサル爲必スシモ之ト一致セシムル要ナシ射擊陣地ハ障礙物ヲ寧ロ有效ニ監視シ且敵ヲ壓倒シ得ル如ク相應ニ障礙物ト近接シアレハ可ナリトス

天然ノ障礙物ヲ有セサルトキ戰車ニ對スル防禦ハ輕砲及前進セル位置上ニ在ル小口

徑特種兵器之ニ任ス、若シ所要ノ時間ヲ有スルトキハ地雷及幅大ニシテ深キ壕ヲ構築ス

軍隊ハ自ラ其自動兵器ヲ以テ低空飛行ヲ爲ス敵機ニ對シ防禦スルヲ要ス

指揮ノ爲メノ諸機關ノ配置ハ司令所ノ建設及成ルヘク完全且掩護十分ナル通信網ヲ構築スルニ在リ

交通ハ後方ニ於ケル道路、小徑、各種ノ通過點ヲ整理シ豫備隊ノ行動及補給品ノ到着ヲ容易ナラシムルニ在リ、師團長ハ之ニ關シ師團工兵指揮官ニ命シ要スレハ所要ノ作業隊ヲ配置ス

爲シ得レハ諸機關ノ便益ノ爲前方ニ散兵壕、交通壕ヲ構築スルコトヲ計畫ス此ノ交通路ノ經始ニ依リ陣地ヲ暴露セシメサル爲遮蔽物ヲ利用シ且廣ク偽裝ヲ施スコトニ注意スヘシ土地ノ編成ハ掩蔽部ノ構築ニ依リ完成セラルルモノトス、掩蔽部ハ先ツ簡單ノモノトナシ所要材料ノ到着及時間ノ餘裕ニ應シ漸次之ヲ完成スヘシ

師團工兵指揮官ハ若干掩蔽部（司令所、觀測所、繃帶所）ノ建築及専門的ノ作業ノ

實施ニ任スルヲ得

陣地上ニ現存スル村落、森林ハ築城内ニ編成シ遮蔽或ハ掩蔽物トシテ利用ス村落森林ノ情況ニ依リ之ヲ支撐點ニ利用ス但シ敵方ニ突出スル緣端ハ其砲兵ヨリ破壊セラ
ルルヲ以テ緣端ヲ占領スルコトヲ避ケ單ニ之ヲ監視スルニ止ムヘシ、而シテ其内部
ニ障碍物ヲ有シ且十分掩蔽シタル交通路ヲ有スル防禦線ヲ編成スヘシ其他不意ノ事
變ノ爲後方ノ出口ヲ制壓シ得ルヲ可トス

部 署

師團ノ戰鬪部署ハ戰鬪線、前哨、砲兵及師團豫備ヨリ成ル

二百六、戰鬪線ハ主トシテ歩兵ノ大部ヨリ成リ抵抗陣地上ニ配置ス而シテ通常師團歩
兵指揮官ノ隷下ニ屬ス

第一線中隊ノ後方ニ在ル各部隊ハ陣地ノ内部ニ梯置シ狀況ニ應ジ主陣地ノ防者ヲ増
援シ、其火力ヲ以テ陣地ヲ突破シタル攻者ノ前進ヲ拒止シ或ハ逆襲ヲ以テ敵ヲ擊退
ス

前哨ハ一般ニ戰鬪線ニ在ル歩兵ヨリ出スモノトス而シテ其兵力ハ必要ノ最小限トス
前哨ノ戰鬪位置ハ爲シ得ル限リ一連ノ火網ヲ陣地ノ前方ニ構成スル如ク選定スルモ
ノトス

二百七、師團長ハ砲兵ヲ攻撃ニ於ケルカ如ク二個ニ區分ス

即チ直接支援砲兵及師團全般ノ爲ニ行動スル砲兵之ナリ師團長ハ任務ヲ命シ且師團
砲兵指揮官ノ意見具申ニ依リ其ノ陣地ヲ占ムヘキ地域ヲ定ム

師團砲兵ハ抵抗陣地ノ近傍ヲ完全ニ制壓シ又一部ノ砲兵ハ前哨陣地ヲ支援シ或ハ抵
抗陣地ノ内部ニ活動シ得ル如ク區分セラル尙全砲兵ハ第一線トノ離隔ノ度如何ニ拘
ハラス近接防禦ノ處置ヲ講セサルヘカラス

師團砲兵指揮官ハ砲兵集團ヲ編成シ任務、陣地及觀測所ヲ配當シ且彈藥補充ヲ指導
ス

二百八、師團豫備ハ主トシテ未タ戰鬪ニ參加セサル歩兵及時宜ニ依リ戰車隊ヨリ成ル
師團長ハ豫備隊ヲ編成スル爲或ハ第一線聯隊ヨリ若干大隊ヲ取り或ハ完全ナル一聯

隊ヲ抽出スルコトヲ得、第一ノ方法ハ聯隊ノ戰鬪正面ヲ減少シテ其ノ指揮ヲ容易ナラシメ且部隊ノ混淆ヲ減少スヘシ、第二ノ方法ハ逆襲實施ノ爲有利ナリ
 師團豫備ハ最初抵抗陣地ノ後方ニシテ或ハ第一線ヲ増援シ或ハ最モ起リ易キ情況ノ許ニ逆襲實施ヲ容易ナラシムル如ク位置ス

第二款 戰鬪指導

二百九、攻撃切迫セサル間戰鬪線ニ在ル諸隊ハ抵抗陣地ノ近傍ニ駐止シテ所命ノ作業ヲ實施シ且無益ノ疲勞ヲ避クル如クス

攻撃ノ徵アルヤ第一線諸隊ハ前哨ノ掩護下ニ戰鬪配置ニ就ク、前哨ハ師團長ノ命ニ依リ或ハ其陣地ヲ固守シ或ハ退却シテ主力ヲシテ戰鬪部署ニ就クノ時間ヲ得シム前哨其陣地ヲ固守スヘキ命ヲ受ケタルトキハ砲兵ハ其陣地附近及前哨ノ占領セル支撐點ノ間隙ヲ制壓シ以テ前哨ノ防禦ヲ援助スヘシ、前哨退却スヘキ場合ニ在リテハ砲兵ノ支阻射撃ニ依リテ其ノ退却ヲ掩護セラル、如ク所要ノ時間ニ退却シ且明示セラレタル退路ヲ經ルヲ要ス

戰鬪開始スルヤ師團長ハ抵抗陣地ノ完全ヲ保持スル爲火力ヲ指導シ且豫備隊ノ戰鬪加入ヲ規正シテ戰鬪ヲ指導スルモノトス

二百十、火力ハ主要ナル防禦戰鬪手段ナリ、指揮官ハ歩砲兵ノ火力ヲ緊密ニ連繫セシメテ射撃ノ效果ヲ最大ナラシム歩兵火ハ主陣地ノ前方ニ一連ノ火網ヲ構成シ、砲兵火ハ要點ニ對シテ歩兵火ヲ増援スルモノトス

射撃ノ效果ハ觀測、通信、射撃組織カ注意周到ニ準備セラレアルヤ否ヤニ關ス
 攻撃切迫スルヤ師團長ハ軍團長ノ命ニ依リ且所定ノ地域内ニ於テ遮斷射撃、攻撃準備妨碍射撃及時宜ニ依リ對砲兵射撃ヲ命ス、機關銃及歩兵隨伴兵器（釋者曰ク曲射及平射歩兵砲ナリ）ハ屢、遮斷射撃及攻撃準備妨碍射撃ニ有效ニ協力スルヲ得ヘシ
 敵攻撃ニ前進スルヤ砲兵及歩兵ハ協同動作ニ依リ攻撃ヲ打破スルコトヲ努ム、其射撃組織ハ緊密ニ協力セラレ相互補助セサルヘカラス即チ歩兵ノ彈幕射撃ハ特ニ砲兵ノ動作ニ便ナラサル地域内ニ密度ヲ大ナラシムヘク砲兵ノ支阻射撃ハ歩兵カ其彈道ノ關係上制壓困難ナル地形ニ對シ特ニ敵ヲ妨止スルヲ得ヘシ

砲兵ノ支阻射撃ハ一般ニ攻者ノ前方梯隊ニ指向スルモノトス、攻者ノ第一梯隊友軍歩兵ニ近接セハ砲兵ハ敵ノ支援部隊ニ射撃ヲ指向スヘシ
 敵若シ抵抗陣地内ニ侵入セハ歩砲兵ハ破口ノ周圍ニ一連ノ彈幕射撃ヲ實施シ以テ攻者ノ前進ヲ局限スルコトヲ努ム、歩兵砲兵ハ共ニ其射撃ヲ以テ陣地内ニ滲入シタル部隊ト豫備隊トヲ中斷スヘシ

二百十一、師團長ハ豫備隊ヲ使用シ或ハ第一線ノ損害ニ關セス尙射撃ノ優勢ヲ保持シ得ル如ク第一線ヲ培養シ或ハ敵若シ陣地内ニ侵入セハ逆襲ニ依リテ之ヲ陣地ヨリ擊退ス

師團豫備ヲ以テスル逆襲ハ一般ニ砲兵ノ準備砲撃ヲ行フ逆襲實施ノ爲師團長ハ歩兵部隊時宜ニ依リ戰車隊ヲ師團歩兵指揮官ニ屬ス、而シテ師團長ハ逆襲目標ヲ定メ師團砲兵ヲ以テスヘキ逆襲ノ準備射撃及之カ援助ノ要件ヲ規定ス、要スレハ逆襲開始時刻ヲ定ム、爲シ得レハ軍團砲兵ヲモ之ニ參加セシム、聯隊大隊ノ豫備隊等ヲ以テ瞬間的ニ實施スル逆襲ハ第四百十二述ヘタル要領ヲ以テス

二百十二、抵抗陣地ハ防者豫メ編成スルカ或ハ滯陣間ニ於テ編成スルカ何レヲ問ハス第九十八ニ於テ説明セシ如キ築城陣地ノ性質ヲ帶ハシムルヲ得ヘシ故ニ此時期ニ於テハ抵抗陣地ハ掩護、偽裝共ニ良好ナル射撃陣地、充分ナル障碍物、地下通信網、數多ノ確實ナル交通路、比頓及鐵板ヲ以テ裝甲セル堅固ナル掩蔽部ヨリ成ル

防禦編成ノ改良ハ陣地ノ占領法及防禦法ニ就キ大ナル影響ヲ及ホスモノトス防禦計畫ハ頗廣汎トナリ平靜時及戰鬥時ニ於ケル陣地ノ占領法及守備兵ノ後退及増援ニ關スル不時ノ部署ヲ規正スル命令ヲ含ムニ至ル、敵ノ攻撃ノ場合ニ於ケル守則ノ實行ハ警報演習ニ於テ充分訓練セラルルヲ要ス完全ナル築城作業ハ屢、土地ニ固著シ射撃陣地ヲ不動ナラシムルノ害アリ故ニ火炮、機關銃陣地ヲ過早ニ敵ニ暴露セサル爲若干ノ豫防手段ヲ講スルノ要アリ、此目的ヲ以テ指揮官ハ歩兵器及砲兵ノ大部ヲ戰鬥ノ時期迄沈靜セシメ且之ニ代フルニ遊動砲兵中隊若干又ハ若干門ヲ以テ情況ニ適スル陣地ヲ利用シ戰鬥前行ハサルヘカラサル射撃ヲ實施セシム戰鬥指導ハ曩ニ述ヘタル原則ニ基キ實施セラルヘシ、然レトモ通信ノ安全、多數ノ堅固ナル掩蔽部ハ

戦闘ノ初期ニ於テ防禦戦闘（火力ノ集中、増援、逆襲）ヲ迅速且正確ニ實施スルヲ得セシム

二百十三、永キ滞陣ノ結果戦線ハ一般ニ最モ堅固ナル陣地ノ性質ヲ保有スルニ至ルヘシ此場合ノ戦闘ハ前項第二百十二ニ述ヘタル如ク指導スルモノトス

戦闘交綏セル戦線ニ於テハ敵ハ戦闘ヲ交フルコトナク退却スル爲各種ノ便宜ヲ有ス然ルトキハ其退却ハ一ノ機動ナリ、此ノ初期ノ徵候ニ依リ飛行機ヲ活動セシメ且深ク小奇襲ヲ實施シテ敵ノ企圖ヲ知得スルニ努ムヘシ

敵退却ヲ開始スルヤ破壊ヲ完成セシメサル爲敵ニ尾追スルコト肝要ナリ但不意ノ攻勢移轉ニ對シ十分警戒セサルヘカラス

飛行隊ハ徵候（道路、鐵道、宿營地等ノ破壊）ヲ判定スルコトニ努ム之等ノ徵候ハ敵ノ撤退スヘキ縦深ヲ確ムルヲ得ヘシ、師團ハ陣地ヨリ陣地ニ躍進シ觸接ヲ保持ス

第三款 退却

二百十四、退却ノ已ムヲ得サルカ或ハ戦闘間師團長戦闘ヲ離脱シ退却スヘキ命令ニ接

スルヤ尙使用シ得ヘキ部隊ヲ以テ後衛ヲ編成シ軍團長ノ指示スル線ヲ占領セシム、師團長ハ使用シ得ヘキ全砲兵ヲ以テ此ノ後衛ヲ支援セシメ且ツ後衛カ隣接師團ノ後衛ト相連絡スル如ク監視ス

戦闘中ノ部隊ハ暗黒ヲ利用シ退却運動ヲ實施スル爲夜暗迄戦闘ヲ持久スヘシ若シ夜暗ヲ待ツ能ハサルトキハ陣地ニ在ル第一線ノ小部隊ノ掩護ニ依リ退却ヲ始メ後衛ノ正面ヲ避ケテ後退スヘシ

師團長ハ軍團長ノ指示スル退却方向ニ軍隊ヲ誘導シ且掌握スルヲ要スル部隊ニ集合點ヲ命シ且軍團長ノ命スル破壊實施ノ要件ヲ明確ニス

後衛ハ任務ヲ達成スルヤ順次退却ニ就ク

第四款

機動的退却

釋者曰ク隨意退却ノ意ニシテ一九一七年三月
ヒンデンブルグノ行ヒタル如キ退却ヲ云フ

二百十五、機動的退却ハ自由意思ヨリ出テタル作戰ナルコトニ於テ一般ノ退却ト異ナルモノニシテ屢、完全ナル部隊ヲ以テ行フコトアリ其目的トスル所ハ戦闘ヲ避ケツツ時間ノ餘裕ヲ得且敵ノ行進ヲ遲滯セシムルニ在リ而シテ之カ運動ハ重疊セル梯隊

ヲ以テ主トシテ砲兵及機關銃ノ火力ヲ利用シ行フモノナリ梯隊ノ各部ハ遠距離射撃ニ適スル陣地ヲ占領シ敵ヲシテ展開シ且路外ヲ前進スルノ餘儀ナキニ至ラシム而シテ近距離戦闘ノ起ルニ先チ後方ノ梯隊ノ正面ヲ避ケツツ退却ス各梯隊ハ友軍飛行隊ト連絡シ敵機ヲシテ退却部隊ノ行動ヲ偵察シ且觀測セシムルコトヲ妨ク

師團長ハ命令ニ依リ交通線ノ要點ノ破壞實施ヲ命ス

第八章 地形ノ作戰ニ及ホス影響

二百十六、攻撃、防禦ニ於テ火力ハ戰鬥ノ主要ナル要素ナリト雖土地ノ起伏及掩蔽ノ度大ナルトキハ獨リ戰鬥ノミナラス尙作戰指導ニ著大ナル影響ヲ及ホスモノトス前諸章ニ示シタル原則ハ一般ニ應用スルヲ得ヘシト雖モ土地ノ起伏大トナリ且掩蔽物多キトキハ若干ノ修正ヲ爲スヲ必要トスヘシ

二百十七 作戰指導ニ就テ

陰蔽斷絶地ハ天然ノ遮蔽物ヲ利用スルコトニ依リ晝間ト雖モ軍隊ノ行軍、駐軍ヲ掩蔽シ且材料ノ輸送ヲ秘匿スルヲ得シムヘシ故ニ陰蔽斷絶地ハ機動及奇襲ノ實施ニ適ス

然レトモ運動ノ實施ハ特別ノ困難ヲ生スヘク一般ニ路外ノ行動ヲ不可能ナラシムヘシ、而シテ縱隊間ニ於ケル横方向ノ交通ハ屢、不可能ナリ、指揮官ハ多クノ場合部隊ノ行進正面ヲ大ナラシメ且一般ニ其縱長ヲ短縮スルニ至ルヘシ指揮官ハ戰鬥ノ爲其兵力ヲ掌握スルニ相當ノ時日ヲ必要トスヘシ

指揮官カ適當ニ方向ヲ決定シ部下カ之ヲ維持スルハ陰蔽斷絶地ニ於ケル作戰ノ主要ナル事項ナリ

行進正面ニ平行セル大ナル斷絶部ハ障礙ヲ呈シ敵前ニ於ケルカ通過ハ困難ナル戰鬥ニシテ爲シ得ル限り廣正面ヲ以テ實施スルヲ有利トス

正面ニ直交セル大ナル斷絶地ハ前項ニ反シ進入路ヲ與フルモノナリ、某斜面ヨリ對岸ニ向ツテスル行動及兩斜面間ノ連繫ノ關係上此等斷絶部ヲ同一大部隊ノ作戰地境

内ニアラシムルヲ適當ナリトス

二百十八、戦闘ニ就テ

土地ノ起伏及掩蔽物ハ攻者ヲシテ少クモ所々ニ於テ其近接ヲ遮蔽スルヲ得シム、火力援助ハ開濶セル部分ノ通過ヲ掩護スル爲ニノミ必要ナリ特ニ陰蔽斷絶セル地形ハ機動ニ依リ敵ノ局地ノ抵抗ヲ擊破スルコト容易ナリ戦闘ハ此ノ如キ地形ニ於テハ多少異リタル形式ヲ取ルヘシ、局地ノ斷絶ノ度ニ應シ諸兵種ヨリ成ル集團ヲ編成シ、明確ニシテ適當ニ選定セラレタル方向ヲ指示シ且部分的成功ヲ擴張スル爲又斷絶セントスル連絡ヲ恢復シ或ハ適切ナル方向ニ主攻撃ヲ指導スル爲豫備隊ヲ控置シテ此等ノ戦闘ニ協力セシムルハ指揮官ノ任務ナリ

歩兵ハ逐次目標ヲ攻略シ且毎回秩序ヲ恢復スル爲若干時間停止シツツ躍進ヲナス直接支援砲兵大隊及中隊ハ一般ニ攻撃歩兵ヨリ其ノ射撃目標ノ指示ヲ受ケ狀況ニ適應シタル準備砲撃及隨伴射撃ニ任ス、明確ナル目標ナキトキハ砲兵ハ目標附近ヲ圍繞スル射撃或ハ組織的ノ射撃ヲ實施スルモノトス

大ナル斷絶地ニ於ケル行軍ハ困難ナリ、歩砲兵ノ連絡ニハ長時間ヲ要ス從テ攻撃前進ハ一般ニ極メテ緩慢ナリ

此種地形ニ於ケル防禦ハ敵ノ潛入シ得ヘキ間隙ヲ戰線ニ生セシメサル如ク注意スルヲ要ス歩兵ハ多クノ射撃部隊ヲ第一線ニ出スコト屢ナリ、火力ハ攻者ノ近接方面、前進路及交通線ニ對シ特ニ集中スヘシ

谷底ハ有毒瓦斯堆積スルヲ以テ之ヲ利用スルニ當リテハ攻防兩者慎重ニ動作スヘシ

森林及局地

二百十九、森林及局地ニシテ十分ノ廣袤ヲ有スルトキハ防禦ノ爲メ良支撐點ト爲スヲ得ヘシ、之ヲ占領スルトキハ敵飛行機ニ對シ容易ニ配備ヲ秘匿シ掩蔽整備セラレタル通路ヲ利用シテ機動ヲ準備シ得ヘク、且容易ニ前地ニ斷絶部ヲ設ケテ攻者ノ前進ヲ局限スルヲ得ヘシ

火線ハ一般ニ線端ニ選定セサルモノトス是殆ント常ニ正確ナル敵火ニ暴露スルヲ以テナリ而シテ其内部ニ於テハ重疊セル數線ノ陣地ヲ占領シ、複廓ヲ設ケテ後方ノ出

口ヲ制壓ス

小ナル森林及局地ハ砲兵ノ著明ナル目標トナリ戰鬪ニ際シテハ彈巢ト化シ之カ占領ハ得タル利益ニ比シ其蒙ル損害極メテ大ナリ

森林及局地内ノ攻撃ハ豫想セサリシ防禦線ニ遭遇スヘシ此ノ際歩砲兵ノ協同動作ハ特ニ困難ナリ、故ニ指揮官ハ森林及局地ハ之ヲ包圍シ次ヲ掃蕩スルノ方法ニ依リテ之ヲ攻略スルコトヲ努ムヘシ

若シ森林及局地ノ廣袤或ハ狀況ニ依リ攻者目標ヲ包圍攻撃スル能ハスシテ正面攻撃ノ已ムナキトキハ逐次區劃毎ニ之ヲ奪取スルコトヲ努ム之カ爲砲兵ハ目標包圍射撃ヲ行ヒ敵ノ第一線ト豫備隊トヲ分斷シ、歩兵ハ隊伍ヲ整頓シ且奪取シタル陣地ヲ掃蕩シタル後ニ非レハ次ノ地帯ヲ攻撃スルコトナシ、歩兵ハ進路ヲ誤マラサル爲道路ニ沿ヒテ前進シ爲シ得ル限り戰車ノ支援ヲ受ク

村落及森林ノ直接攻防ハ必要ノ最小限ノ兵力ヲ以テスヘシ此等ノ攻防ハ村落及森林外部ノ戰鬪ト連繫スルコト肝要ニシテ通常兵力ノ大部ハ外部ニ使用スルヲ有利トス

水流ノ通過

二百二十、水流ノ強行通過ハ敵ノ集中火ヲ避クル爲充分廣正面ニ於テ計畫スヘシ作戰ハ砲兵ノ掩護下ニ實施ス此砲兵ハ對岸ヲ有効ニ制壓シ又砲彈幕ヲ橋頭ニ成形スル如ク配置ス次テ歩兵ハ要スレハ煙幕ヲ以テ掩蔽セラレ水流ヲ通過シ堅固ナル防禦ヲ編成ス、次テ砲兵ノ一部ハ水流ヲ超エ歩兵及後岸ニ陣地ヲ占領セル砲兵ノ掩護下ニ陣地進入ヲナス茲ニ於テ有利ニ前進運動ヲ企圖スルヲ得ヘシ

通過點ノ整備ニ要スル所要材料ノ集結、橋梁ノ直接監視及保存ハ特種ノ手段ヲ要ス

第九章 山地戰

二百二十一、山地戰ハ作戰スヘキ山地ノ狀態ニ依リ差アリ「ジョージュ」或ハ「ジュラ」山ノ一部ノ如キ地方ニ於テハ地形ハ山地ノ性質ヲ有スルモ大部隊ノ爲過度ニ大ナル困難ヲ生スルコトナシ故ニ特別ノ原則ナシ、他ノ地方例ヘハ「アルプス」及「ピレネー」方面ニ於テ生スル地形上ノ困難ハ作戰指導ニ影響スルニ至ル、之等山脈ノ某